

平成 2 7 年 度

# 植 物 防 疫 事 業 年 報

平 成 2 8 年 3 月

京 都 府 病 害 虫 防 除 所

京 都 府 亀 岡 市 余 部 町 和 久 成 9

T E L 0 7 7 1 - 2 3 - 9 5 1 2

## はじめに

病虫害防除所の事業実施に当たりまして、農家や関係機関の皆様にはご指導、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。このたび、本年度に発表しました病虫害発生予報、注意報、防除所ニュース、月報や毎月の巡回調査結果等をまとめ、平成27年度病虫害防除所植物防疫年報として発行いたしましたので皆様の業務の資料となれば幸いです。

さて、27年の京都府内の気象ですが、概して変動が大きく、降雨の多い年でありました。1月から3月にかけては、寒気の影響で一時的に寒い時期もありましたが、冬型の気圧配置は長続きせず、暖冬傾向でありました。4月の上・中旬は、低気圧や前線の影響で降雨が多く、不安定な天気が続きましたが、4月下旬から5月にかけては、移動性高気圧に覆われて晴れの日が続き、高温少雨となりました。梅雨入りは6月3日で、平年（6月7日）よりやや早く、降水量は梅雨前線や台風の影響でかなり多くなりました。梅雨明け後は、太平洋高気圧に覆われて、晴れの日が続きましたが、大気の状態が不安定となり局地的な強雨となることがありました。そして8月中旬以降、太平洋高気圧の勢力が弱まり、低気圧や前線、台風の影響で降水量が多く、気温が平年より低くなりました。この傾向は9月中旬まで続きましたが、下旬は移動性高気圧に覆われて晴れの日が続きました。

次に、病虫害の発生状況ですが、多雨の影響で全般的に病気の発生が多く、水稻では穂いもち（9月）が、麦では一部地域ですが赤かび病（5月）が、茶では炭そ病（5月および9～10月）が、果樹ではナシの黒斑病および黒星病（6～10月）が多発しました。害虫関係では、ネギで、ネギアザミウマ（4～9月）が多発したため、同種が媒介するネギえそ条班病も含めた防除の注意喚起として、注意報（5月）を発表しました。また、トマト茎えそ病（仮称）およびトウガラシえそ輪点病の発生を府内で初めて確認し、特殊報（6月）を発表しました。

京都府では、「人と環境にやさしい農業推進プラン」で環境にやさしい農業の生産拡大を目指しており、病虫害発生予察事業の重要性が更に高くなっております。そのため、引き続き迅速な発生予察情報の提供と精度の向上に努めて参りたいと考えています。今後とも、防除所業務に対してご理解とご支援を関係者の皆様をお願いいたします。

京都府病虫害防除所長

吉川 正巳

# 目 次

## 病虫害防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
------------	---

## 業務の概要

I 農作物病虫害発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病虫害の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病虫害の発生予察と発生状況	
1 発生予察調査の結果	
1) 巡回調査の結果	10
(1)水稲 (2)麦類 (3)黒大豆 (4)小豆 (5)カンキツ (6)ナシ (7)ブドウ	
(8)カキ (9)茶樹 (10)キュウリ (11)トマト (12)ナス (13)トウガラシ	
(14)キャベツ (15)ダイコン (16)カブ (17)ミズナ・ミブナ	
(18)ハウレンソウ (19)ネギ	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	56
(1)予察灯の調査結果 (2)誘引剤トラップの調査結果 (3)黄色水盤の調査結果	
2 病虫害発生予察情報の内容	73
3 対象病虫害の発生状況	87
II 重要病虫害侵入警戒調査の実施	92
III 調査・試験の結果	
難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立	
(1)各種有色ネットに対するタバココナジラミの行動反応特性の解明	94
(2)各種有色ネットに対するトマトハモグリバエの行動反応特性の解明	96
(3)各種有色ネットに対するネギアザミウマの行動反応特性の解明	98
農作物の病虫害に関する現地対策調査	
(1)イネにおけるミナミアオカメムシの発消長調査	100
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	102
V 情報提供サービスの実施	102
VI 病虫害調査協力員の活動状況	104
VII 会議・講演・研修等の実施	105
VIII 普及センター等との連携の推進	107
参考資料	
平成26年の半旬別気象表・グラフ	108

# 病虫害防除所の概要

## I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日  
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日  
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。  
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日  
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日  
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日  
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。
- ◎ 平成21年4月1日  
農林水産業に係わる試験研究機関の統合・再編に伴い、農林水産技術センター農林センターの環境部植物防疫担当として再編、設置された。

## II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関する事。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関する事。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関する事。
- 4 情報提供サービスの実施に関する事。
- 5 農薬指導・取締に関する事。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関する事。
- 7 病虫害の診断・指導に関する事。

## III 体制

### (I) 京都府における調査機関等

職名	京都府病虫害防除所					協力機関名
	所長	主任研究員	主査	副主査	計	
人数	1人	3人	1人	1人	6人	農林センター、茶業研究所、丹後農業研究所、農業大学校、流通・ブランド戦略課、農産課

### (II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組合	農業共済組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

# 業 務 の 概 要

## I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

### (I) 発生予察事業の実施概要

#### 1 調査地点及び施設

##### 1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	〃	京田辺市薪	
	麦	亀岡市余部町（農林センター）	
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所 防除所 防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	カ キ	京都市西京区大枝	
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研 防除所
	〃	京丹後市大宮町口大野	
野 菜	キュウリ	京都市伏見区深草	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	
	ナ ス	京田辺市興戸	
	〃	京都市西京区大原野	
	キャベツ	京都市南区吉祥院、亀岡市余部町（農林センター）	
	ダイコン	木津川市梅谷	
	ホウレンソウ	久御山町坊之池	
	ネ ギ	京都市伏見区淀	

#### 2) 予察灯等の設置

##### (1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道ポンプ 場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹 カメムシ類、タバコガ、オオタ バコガ、ニカメイガ	防除所 防除所

設置場所	種類	対象病虫害	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ  黄色水盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、 オオタバコガ、カブラヤガ、 ニカメイガ アブラムシ類	防除所 防除所  農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町 黒部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果 樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、ニカメイガ	防除所 防除所
京丹後市大宮町 口大野	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W  (白熱灯)	ウンカ・ヨ コバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメム シ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカ メムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカ メムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミ カメ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト  (蛍光灯)	コガネムシ 類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメム シ、ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

### 3) 巡回調査地点

#### (1) 水稲 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北 下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野町 今西中 福知山市大江町河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町 芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

\* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

#### (2) 麦 (8地区/16か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 南丹市美山町鶴ヶ岡、八木町池上 福知山市半田 綾部市私市、西坂 (二条) 亀岡市河原林町、馬路町 亀岡市本梅町平松	—

#### (3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 6地区/11か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	福知山市夜久野町大油子 京丹波町富田、安栖里	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	舞鶴市久田美 福知山市半田 綾部市篠田 南丹市園部町若森 亀岡市河原林町、馬路町	—

\* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

#### (4) 果樹 (11地区/22か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市内里	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、箱石、三分、浦明、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	6	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町 一分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

\* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (16地区/32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町禅定寺、宇治田原町南 和東町石寺、和東町湯船、和東町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留 網野町郷

(6) 野菜 (30地区/57か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	9	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	8	京都市西京区大原野 八幡市野尻、岩田 京田辺市薪、宮津 久御山町坊之池、相島	—	—
トウガラシ (施設)	5	精華町祝園	舞鶴市三日市、地頭 南丹市園部町黒田	—
キャベツ	6	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ダイコン	5	木津川市梅谷	—	京丹後市弥栄町 久美浜町
カブ	6	—	京都市右京区 京北矢代中町	京丹後市弥栄町 久美浜町



			亀岡市篠町	
ミズナ (施設)	3	—	京都市右京区 京北町細野 京丹波町安栖里、角	—
ミブナ (施設)	2	—	南丹市日吉町田原、 殿田	—
ハウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市西京区牛ヶ瀬、 南区吉祥院、伏見区淀	—	—

\* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

## 2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	苗立枯病、馬鹿苗病、籾枯細菌病、白葉枯病、縞葉枯病、イネクロカメムシ、フタオビコヤガ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦類	赤かび病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、ハダニ類、フタスジヒメハムシ、サヤムシガ類
	小豆		モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、オオタバコガ
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、カメムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類、アブラムシ類	赤星病、うどんこ病
	ブドウ	べと病	ハダニ類、フタテンヒメヨコバイ
	カキ	カキノヘタムシガ、カメムシ類	炭そ病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ

作物		指定病虫害	指定外病虫害
茶 樹	茶 樹	炭そ病、ハダニ類、ハマキムシ類	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
	野		
菜	キュウリ	べと病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭そ病、褐斑病、モザイク病、ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
	トマト	疫病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	葉かび病、うどんこ病、モザイク病、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類
	トウガラシ		うどんこ病、斑点病、モザイク病、アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、タバコガ
	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	べと病、ヨトウガ、モンシロチョウウワバ類
	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病ハイマダラノメイガ
	カブ		軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、コナガ、ハモグリバエ類
	ミズナ ミブナ		コナガ、キスジノミハムシ
	ハウレンソウ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、ヨトウガ、シロオビノメイガ
	ネギ	さび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ

## 参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

### 1 指定有害動物（55種類）

- (1)いちご、きく、キャベツ、きゅうり、さといも、すいか、だいこん、大豆、たまねぎ、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、ばれいしょ及びほうれんそうのアブラムシ類
- (2)イネミズゾウムシ
- (3)カキノヘタムシガ
- (4)かき、かんきつ、キウイフルーツ、なし、びわ及びもものカメムシ類
- (5)カンシャコバネナガカメムシ
- (6)大豆の吸実性カメムシ類
- (7)コナガ
- (8)コブノメイガ
- (9)すもも、なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (10)セジロウンカ
- (11)ツマグロヨコバイ
- (12)トビイロウンカ
- (13)ニカメイガ
- (14)ハスモンヨトウ
- (15)おうとう、かき、かんきつ、茶、なし、もも及びりんごのハダニ類
- (16)かき、かんきつ、茶、なし、ぶどう、もも及びりんごのハマキムシ類
- (17)斑点米カメムシ類
- (18)ヒメトビウンカ

### 2 指定有害植物（30種類）

- (1)いちご、きゅうり、トマト、なす及びレタスのはいろいろかび病菌
- (2)いねいもち病菌
- (3)いねもんがれ病菌
- (4)かんきつかいよう病菌
- (5)かんきつこくてん病菌
- (6)かんきつそうか病菌
- (7)きくしろさび病菌
- (8)キャベツ及びレタスのきんかく病菌
- (9)キャベツくろぐされ病菌
- (10)きゅうり、なす及びピーマンのうどんこ病菌
- (11)きゅうりべと病菌
- (12)たまねぎ及びねぎのさび病菌
- (13)茶たんそ病菌
- (14)トマト及びばれいしょのえき病菌
- (15)なしくろほし病菌
- (16)なしこくはん病菌
- (17)ぶどうべと病菌
- (18)むぎあかかび病菌類
- (19)むぎうどんこ病菌類
- (20)ももせんこうさいきん病菌
- (21)りんごはんてんらくよう病菌

### 3 発生予察情報等の概要

種 類	発表時期	発表内容	主な提供方法・提供先 (提供数)
予 報	4月～10月、2月～3月の各月1回	本誌のⅠの(Ⅱ)の2に記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府行政支援ネット送信 (約30) 地方振興局・普及センター、研究機関</li> <li>・J P P ネット送信 (一) 国・他府県関係</li> <li>・F A X 送信 (約110) 市町村・農業協同組合・その他</li> <li>・冊子送付 (約100) 国出先機関、報道機関、定点農家</li> <li>・メール送信 (約5)</li> <li>・ホームページに掲載</li> </ul>
警 報	発表なし		
注意報	5月25日 6月23日	第1号：ネギ ネギアザミウマ・ネギ えそ条斑病 第2号：水稻 (早生) 斑点米カメムシ類	予報と同じ
特殊報	6月 5日 6月26日	第1号：トマト トマト茎えそ病 第2号：トウガラシ トウガラシえそ輪点病	
技 術 情 報 (防除新 ー ス)	4月21日 6月24日 8月10日 8月26日 11月16日 3月 9日	第1号：麦類 赤かび病情報 第2号：ナシ 黒星病情報 第3号：豆類 ハスモンヨトウ情報 第4号：水稻 (中晩生) ・ナス ミナミアオカメムシ情報 第5号：ネギ えそ条斑病・ ネギアザミウマ情報 第1号：果樹 カメムシ類情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府行政支援ネット送信 (約30)</li> <li>・F A X 送信 (約110)</li> <li>・ホームページに掲載</li> </ul>
月 報	4月～11月、2月～3月の各月1回	[病虫害発生予察巡回調査結果等に基づく発生病虫害全般の発生状況]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府行政支援ネット送信 (約10) 普及センター等</li> <li>・一部、ホームページに掲載</li> </ul>
年 報	3月末	防除所の病虫害発生予察事業等のまとめ	・ホームページに掲載

## (II) 病害虫の発生予察と発生状況

### 1 発生予察調査の結果

#### 1) 巡回調査の結果

##### (1) 水稲

##### 生育概要

早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月20日 移植期：5月11日）

普通植（コシヒカリ、日本晴 播種期：5月4日 移植期：5月25日）

##### ア. 生育

移植後5月末までは高温・多照であったため、早植のコシヒカリの初期生育は旺盛であったがその後やや緩慢となり6/15以降の茎数はほぼ平年並みに推移した。普通植のコシヒカリおよび日本晴の茎数は平年比やや少なく推移した。出穂期は早植、普通植のコシヒカリで平年比2日早くまったが、8月中旬以降の低温の影響で、成熟期は早植、普通植コシヒカリともに平年並みとなった。普通植の日本晴の出穂期は平年並であり、成熟期は1日遅くなった。

##### イ. 収量及び品質

早植のコシヒカリは、有効茎歩合が平年比12.0ポイント高くなったことから、穂数が多くなった（平年比121%）。1穂粒数はほぼ平年並であった（平年比97%）ことからm<sup>2</sup>当たりの粒数は多く（平年比118%）なったが、登熟歩合がやや低下（平年差-3.4ポイント）したため、精玄米重は平年並（平年比103%）なった。普通植のコシヒカリでは、穂数は平年並（平年比98%）であったが、1穂粒数が多く（平年比109%）、m<sup>2</sup>当たりの粒数も多く（平年比111%）なった。このため、登熟歩合が低下（平年差8.3ポイント）したものの、精玄米重はやや多く（平年比104%）なった。普通植の日本晴は穂数が多く（平年比110%）、1穂粒数が平年並であり（平年比100%）登熟歩合も平年並（平年差+0.2%）であったものの千粒重が低下（平年比89%）したため、精玄米重は平年並（平年比103%）となった。玄米品質は充実不足等により早植、普通植コシヒカリで平年より劣り、普通植日本晴では、平年を上回った。

（京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ）

## 病害虫発生状況

### ア 苗いもち（指定）

発生を認めなかった。

### イ 葉いもち（指定）

南丹地域で6月下旬に初めて発生を確認した。その後、7月中旬に中丹地域で平年比多い発生となったが、全体的に平年並～やや少ない発生で推移した。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
27年	山城	-	-	-	-
	南丹	5	12	0.0	0.0
	中丹	3	16	0.0	0.0
	丹後	7	20	0.0	0.0
26年	山城	1	5	0.0	0.0
	南丹	6	11	0.0	0.0
	中丹	3	12	0.0	0.0
	丹後	9	31	0.0	0.0

\* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 箇所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認率(%)	
			箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
27年	山城	6	4	11	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	0	0	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	1	3	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	0	0	0	0	0.0	0.0
26年	山城	5	4	25	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	4	15	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	3	9	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	1	2	0	0	0.0	0.0

\* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	0.0	—
		26年	5	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	27年	6	16.7	0.7	0.2	—
		26年	6	16.7	1.3	0.3	—
		平年	—	22.6	5.1	1.3	—
	*8・3～4	27年	6	0.0	0.0	—	0.00
		26年	6	50.0	13.3	—	0.33
		平年	—	31.0	5.7	—	0.08
南丹	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	0.0	—
		26年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	27年	9	11.1	7.1	1.8	—
		26年	9	33.3	28.0	10.0	—
		平年	—	37.0	18.8	5.7	—
	*8・3～4	27年	9	11.1	1.8	—	0.00
		26年	9	22.2	10.7	—	0.18
		平年	—	32.9	7.8	—	0.21
中丹	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	0.0	—
		26年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	4.8	0.4	0.1	—
	7・3～4	27年	6	50.0	16.7	5.0	—
		26年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	24.1	5.2	1.4	—
	*8・3～4	27年	6	33.3	2.0	—	1.00
		26年	6	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	15.0	2.4	—	0.05
丹後	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	0.0	—
		26年	9	11.1	1.8	0.4	—
		平年	—	1.1	0.2	0.0	—
	7・3～4	27年	9	0.0	0.0	0.0	—
		26年	9	11.1	0.4	0.1	—
		平年	—	8.7	1.9	0.5	—
	*8・3～4	27年	9	0.0	0.0	—	0.00
		26年	9	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	5.3	1.1	—	0.04

\* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	3.3	10.0	86.7

ウ 穂いもち（指定）

伝染源となる葉いもちの発生量は平年並～やや少ない発生であった。8月に南丹地域でのみ発生を確認したが（平年並）、9月には丹波（中丹及び南丹）地域で平年比多い発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	25	0.0	0.0	0.0	4.0	96.0
9・3～4	18	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

表6 本田における穂いもちの発病状況調査 (25株見取り)

地域	調査時期(月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病葉率(%)	被害籾率(%)
山城	8・3～4	27年	1	0.0	0.0	0.00	—
		26年	1	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	0.0	0.0	0.00	—
	9・3～4	27年	5	60.0	6.0	—	0.30
		26年	6	50.0	8.0	—	0.73
		平年	—	15.8	2.5	—	—
南丹	8・3～4	27年	9	11.1	1.3	0.07	—
		26年	9	22.2	6.7	0.42	—
		平年	—	10.9	3.4	0.12	—
	9・3～4	27年	5	80.0	44.0	—	3.70
		26年	0	—	—	—	—
		平年	—	15.7	5.6	—	—
中丹	8・3～4	27年	6	0.0	0.0	0.00	—
		26年	6	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	1.7	0.5	0.03	—
	9・3～4	27年	4	75.0	24.0	—	2.43
		26年	3	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	11.1	0.4	—	—
丹後	8・3～4	27年	9	0.0	0.0	0.00	—
		26年	9	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	3.2	0.3	0.01	—
	9・3～4	27年	4	25.0	3.0	—	0.35
		26年	1	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	14.6	1.0	—	—

エ 紋枯病 (指定)

7月から中丹地域で発生を認め、9月には中丹及び丹後地域で平年比多い発生となったが、全体的には平年並の発生に推移した。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
9・3～4	18	0.0	0.0	5.6	61.1	33.3

表8 本田における紋枯病の発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	
山城	7・3～4	27年	6	0.0	0.0	0.0	
		26年	6	0.0	0.0	0.0	
		平年	—	7.2	1.5	0.1	
	8・3～4	27年	6	6	33.3	5.3	2.2
		26年	6	6	50.0	4.7	1.3
		平年	—	44.5	6.9	2.0	
	9・3～4	27年	5	5	100.0	12.0	6.0
		26年	6	6	83.3	28.0	11.5
		平年	—	69.0	14.7	5.6	
南丹	7・3～4	27年	9	0.0	0.0	0.0	
		26年	9	0.0	0.0	0.0	
		平年	—	16.3	2.0	0.4	
	8・3～4	27年	9	9	44.4	7.1	2.0
		26年	9	9	77.8	10.2	3.8
		平年	—	49.8	8.5	3.2	
	9・3～4	27年	5	5	60.0	13.6	4.6
		26年	0	0	—	—	—
		平年	—	65.9	16.3	5.0	
中丹	7・3～4	27年	6	33.3	1.3	0.3	
		26年	6	0.0	0.0	0.0	
		平年	—	5.7	0.8	0.3	
	8・3～4	27年	6	6	0.0	0.0	0.0
		26年	6	6	16.7	2.0	0.5
		平年	—	27.4	3.3	1.1	
	9・3～4	27年	4	4	50.0	7.0	3.5
		26年	3	3	66.7	9.3	5.0
		平年	—	18.5	1.5	0.7	
丹後	7・3～4	27年	9	0.0	0.0	0.0	
		26年	9	9	11.1	0.0	0.0
		平年	—	9.1	0.2	0.0	
	8・3～4	27年	9	9	44.4	2.7	0.9
		26年	9	9	33.3	4.9	1.9
		平年	—	13.8	1.5	0.5	
	9・3～4	27年	4	4	50.0	8.0	4.3
		26年	1	1	0.0	0.0	0.0
		平年	—	27.1	2.0	0.4	

オ 苗立枯病  
発生を認めなかった。

カ 白葉枯病  
発生を認めなかった。

キ 靱枯細菌病  
発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病  
発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病  
7月に丹後地域の調査外ほ場で発生を認めた。



コ 縞葉枯病  
発生を認めなかった。

サ 稲こうじ病  
9月に山城地域で発生を認めた。

シ ヒメトビウンカ（指定）  
越冬密度は平年並であった。  
本田では6月～9月に発生を確認したが、平年並の発生に推移した。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	27年	4	0.0	0.0	-
	26年	4	50.0	0.8	100.0
南丹	27年	4	25.0	0.3	0.0
	26年	4	25.0	0.3	100.0
中丹	27年	4	25.0	0.3	100.0
	26年	4	50.0	0.8	100.0
丹後	27年	4	0.0	0.0	-
	26年	4	75.0	1.5	100.0

\* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		26年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		平年	—	3.1	0.03	—	0.0	0.0
	7・3～4	27年	6	33.3	0.7	6	16.7	0.2
		26年	6	50.0	1.0	6	50.0	0.8
		平年	—	44.1	1.8	—	36.2	1.1
	8・3～4	27年	6	83.3	4.7	6	50.0	9.7
		26年	6	100.0	5.7	6	66.7	9.3
		平年	—	45.2	3.0	—	75.5	8.4
南丹	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		26年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.3
		平年	—	1.0	0.0	—	8.9	0.1
	7・3～4	27年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		26年	9	33.3	0.6	9	11.1	0.1
		平年	—	16.0	0.2	—	15.1	0.2
	8・3～4	27年	9	22.2	3.0	9	77.8	10.7
		26年	9	44.4	1.1	9	88.9	6.0
		平年	—	28.7	1.4	—	71.9	14.1
中丹	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.0	—	6.2	0.1
	7・3～4	27年	6	50.0	0.5	6	16.7	0.2
		26年	6	33.3	0.3	6	50.0	0.8
		平年	—	21.0	0.4	—	15.0	0.3
	8・3～4	27年	6	16.7	0.2	6	50.0	2.2
		26年	6	66.7	3.2	6	83.3	13.8
		平年	—	29.3	1.0	—	71.9	33.9
丹後	6・3～4	27年	9	11.1	0.1	9	11.1	0.2
		26年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		平年	—	3.1	0.0	—	3.2	0.0
	7・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	44.4	0.6
		26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	23.3	0.5	—	23.4	0.8
	8・3～4	27年	9	55.6	1.3	9	77.8	14.1
		26年	9	44.4	1.3	9	77.8	19.2
		平年	—	46.3	1.4	—	76.2	24.2

表11 本田におけるヒメトビウシカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	3.4	96.6
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
8・3～4	30	0.0	13.3	26.7	26.7	33.3

ス ツマグロヨコバイ（指定）

越冬密度は平年比少なかった。

8月の巡回調査では、山城地域で平年比やや多い発生となったが、全体的に平年並の発生で推移した。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	27年	4	25.0	0.3	100.0
	26年	4	100.0	8.8	94.3
南丹	27年	4	0.0	0.0	-
	26年	4	0.0	0.0	-
中丹	27年	4	0.0	0.0	-
	26年	4	0.0	0.0	-
丹後	27年	4	0.0	0.0	-
	26年	4	25.0	1.3	100.0

\* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		26年	5	0.0	0.0	5	20.0	0.4
		平年	—	1.4	0.1	—	8.2	0.1
	7・3～4	27年	6	33.3	17.8	6	33.3	11.0
		26年	6	33.3	1.5	6	33.3	0.3
		平年	—	38.8	3.0	—	38.8	3.9
	8・3～4	27年	6	83.3	68.5	6	83.3	28.8
		26年	6	66.7	4.0	6	50.0	7.0
		平年	—	75.7	11.4	—	84.5	79.6
南丹	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	4.4	0.2	—	5.3	1.4
	7・3～4	27年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		26年	9	33.3	1.7	9	0.0	0.0
		平年	—	35.9	3.8	—	28.6	0.9
	8・3～4	27年	9	11.1	0.1	9	22.2	0.3
		26年	9	11.1	0.4	9	22.2	17.7
		平年	—	28.0	2.0	—	54.9	60.0
中丹	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	33.3	0.7
		平年	—	0.0	0.0	—	4.8	0.1
	7・3～4	27年	6	16.7	3.5	6	16.7	0.2
		26年	6	50.0	1.8	6	16.7	0.8
		平年	—	30.3	0.8	—	16.7	0.5
	8・3～4	27年	6	16.7	0.5	6	33.3	9.2
		26年	6	16.7	0.5	6	16.7	1.0
		平年	—	22.1	0.8	—	37.6	6.8
丹後	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		26年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		平年	—	4.1	0.2	—	4.2	0.0
	7・3～4	27年	9	11.1	0.1	9	11.1	0.1
		26年	9	66.7	2.8	9	22.2	0.2
		平年	—	44.8	1.8	—	30.0	1.2
	8・3～4	27年	9	22.2	0.2	9	33.3	4.8
		26年	9	22.2	0.9	9	55.6	9.1
		平年	—	43.6	2.6	—	63.3	36.5

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7
8・3～4	30	0.0	0.0	6.7	33.3	60.0

セ セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺（7月21日）、亀岡（7月17日）及び京丹後（7月22日）で平年比遅かった。

本田では6月から南丹及び丹後地域で発生を認めたが、7月～9月に平年並の発生に推移した。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
27年	7.21	7.17	7.22
26年	7.6	飛来なし	7.8
平年	7.6	7.1	7.2

平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		26年	5	0.0	0.0	5	20.0	0.4
		平年	—	0.0	0.0	—	2.0	0.0
	7・3～4	27年	6	100.0	34.0	6	66.7	5.5
		26年	6	83.3	4.7	6	50.0	1.3
		平年	—	73.8	13.1	—	73.6	21.8
8・3～4	27年	6	100.0	53.7	6	83.3	9.8	
	26年	6	83.3	5.8	6	50.0	14.2	
	平年	—	85.2	18.8	—	95.0	85.5	
南丹	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	7・3～4	27年	9	44.4	1.8	9	0.0	0.0
		26年	9	33.3	1.6	9	33.3	0.3
		平年	—	67.4	5.3	—	63.4	4.7
	8・3～4	27年	9	55.6	2.2	9	100.0	20.9
		26年	9	77.8	2.9	9	88.9	16.0
		平年	—	71.6	10.0	—	87.2	58.3
中丹	6・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		平年	—	1.4	0.0	—	1.7	0.0
	7・3～4	27年	6	66.7	2.7	6	16.7	0.3
		26年	6	83.3	4.3	6	33.3	0.5
		平年	—	57.6	3.6	—	44.0	3.2
	8・3～4	27年	6	50.0	2.2	6	16.7	0.8
		26年	6	83.3	2.3	6	16.7	5.0
		平年	—	74.3	5.3	—	86.0	45.1
丹後	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		26年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.2
		平年	—	0.0	0.0	—	1.1	0.0
	7・3～4	27年	9	33.3	1.3	9	22.2	0.3
		26年	9	44.4	1.4	9	0.0	0.0
		平年	—	70.1	5.2	—	62.1	15.0
	8・3～4	27年	9	33.3	1.7	9	88.9	33.7
		26年	9	77.8	6.2	9	66.7	29.8
		平年	—	75.7	7.3	—	92.7	46.8

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	6.9	93.1
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	23.3	76.7
8・3～4	30	0.0	0.0	3.3	73.3	23.3

ソ トビイロウンカ（指定）

府内3か所（丹後、丹波及び山城地域）に設置している予察灯（60W）への飛来を認めなかった。巡回調査でも発生を認めなかった。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
27年	飛来なし	飛来なし	飛来なし
26年	(9.1)	飛来なし	7.14
平年	7.16	-	7.13

\* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。  
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	7・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	27年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
南丹	7・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	27年	5	0.0	0.0	0	-	-
		26年	0	-	-	0	-	-
中丹	7・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	27年	4	0.0	0.0	0	0.0	0.0
		26年	3	0.0	0.0	0	0.0	0.0
丹後	7・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	27年	4	0.0	0.0	0	0.0	0.0
		26年	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回すくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

タ ニカメイガ (指定)

予察灯及び巡回調査では発生を認めなかった。

チ コブノメイガ (指定)

8～9月にかけて山城、南丹及び丹後地域で発生を確認した。全体的には平年並の発生に推移したが、9月には丹後地域で平年比やや多い発生となった。

ツ イネミズゾウムシ (指定)

予察灯への初飛来は京田辺 (5月1日) で平年比早く、亀岡 (5月2日) で平年並、京丹後 (5月14日) で平年比やや遅かった。

予察灯での誘殺数 (4月第1半旬～5月第2半旬) は、京田辺で平年比多く、亀岡で平年並、京丹後で平年比少なかった。

本田では平年比やや多い発生であった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)
27年	5.1	29	5.2	458	5.14	97
26年	5.31	84	5.7	429	5.4	184
平年	6.6	61.7	5.6	59.9	5.5	121.9

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査 (6月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率 (%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	27年	6	33.3	18.7	8.0	0.7
	26年	5	60.0	7.2	1.8	0.0
	平年	—	67.7	21.7	6.3	0.2
南丹	27年	9	88.9	75.1	21.1	1.2
	26年	9	100.0	54.2	13.8	0.2
	平年	—	92.5	62.6	20.6	1.7
中丹	27年	6	100.0	72.0	21.3	0.7
	26年	6	100.0	68.7	20.0	0.0
	平年	—	88.1	50.5	13.6	0.7
丹後	27年	9	88.9	51.1	12.8	1.1
	26年	9	77.8	40.9	11.4	1.1
	平年	—	85.2	41.4	11.2	0.8

\* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期 (月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
5・3～4	14	7.1	0.0	21.4	42.9	28.6
6・3～4	30	0.0	6.7	36.7	36.7	20.0

テ 斑点米カメムシ類 (指定)

本田及び畦畔雑草とも、平年並の発生となった。

予察灯 (60W) へのアカスジカスミカメ及びアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数は平年並であった。

優占種は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシであった。山城地域の一部ほ場ではミナミアオカメムシが9月に多発した。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	3.4	96.6
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
8・3～4	30	0.0	6.7	6.7	30.0	56.7
9・3～4	10	0.0	0.0	10.0	30.0	60.0

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤(%)	11～30頭(%)	4～10頭(%)	1～3頭(%)	0頭(%)
6・3～4	29	3.4	3.4	13.8	17.2	62.1
7・3～4	30	0.0	10.0	6.7	26.7	56.7
8・3～4	30	0.0	0.0	10.0	20.0	70.0

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期(月・半旬)	年次	本田			畦畔		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	27年	5	0.0	0.0	5	60.0	8.4
		26年	5	20.0	0.2	5	80.0	4.0
		平年	—	5.1	0.1	—	50.1	10.6
	7・3～4	27年	6	16.7	0.3	6	83.3	11.2
		26年	6	16.7	0.2	6	50.0	6.8
		平年	—	23.3	0.4	—	74.0	20.1
	8・3～4	27年	6	0.0	1.2	6	50.0	1.0
		26年	6	50.0	1.2	6	83.3	46.3
		平年	—	26.9	0.7	—	67.4	14.4
	9・3～4	27年	5	40.0	1.0	—	—	—
		26年	6	33.3	5.8	—	—	—
	南丹	6・3～4	27年	9	0.0	0.0	9	22.2
26年			9	11.1	0.3	9	44.4	2.3
平年			—	4.3	0.1	—	41.0	1.6
7・3～4		27年	9	0.0	0.0	9	33.3	1.7
		26年	9	44.4	1.0	9	77.8	1.2
		平年	—	15.9	0.4	—	48.3	4.1
8・3～4		27年	9	55.6	4.0	9	33.3	1.6
		26年	9	77.8	2.3	9	22.2	0.2
		平年	—	45.7	1.2	—	33.8	2.8
9・3～4		27年	0	—	—	—	—	—
		26年	0	—	—	—	—	—
中丹		6・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	33.3
	26年		6	0.0	0.0	6	50.0	11.2
	平年		—	8.1	0.2	—	40.0	3.9
	7・3～4	27年	6	0.0	0.0	6	66.7	0.7
		26年	6	0.0	0.0	6	66.7	8.3
		平年	—	19.8	0.4	—	51.7	3.6
	8・3～4	27年	6	33.3	1.0	6	33.3	1.2
		26年	6	33.3	2.3	6	16.7	0.2
		平年	—	52.6	1.4	—	45.7	1.3
	9・3～4	27年	0	—	—	—	—	—
		26年	3	33.3	2.0	—	—	—
	丹後	6・3～4	27年	9	11.1	0.1	9	44.4
26年			9	0.0	0.0	9	66.7	4.8
平年			—	6.7	0.1	—	53.3	2.6
7・3～4		27年	9	11.1	0.3	9	11.1	0.1
		26年	9	0.0	0.0	9	44.4	1.4
		平年	—	10.7	0.2	—	46.0	5.5
8・3～4		27年	9	66.7	1.2	9	11.1	0.1
		26年	9	55.6	1.1	9	22.2	0.4
		平年	—	38.7	1.0	—	29.6	1.0
9・3～4		27年	0	—	—	—	—	—
		26年	1	0.0	0.0	—	—	—

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種構成割合(%)							
	シラホシカメムシ	トゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	コハネヒョウタンナカカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカシツカスミカメ	その他
27年	2.5	9.9	12.3	39.5	0.0	7.4	22.2	6.2
26年	1.2	2.9	5.0	4.1	0.0	15.9	70.5	0.3
25年	1.3	3.8	18.3	9.4	1.3	8.7	53.7	3.6
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4
23年	4.3	24.5	21.3	3.2	0.0	29.8	16.0	1.0

- ト イネツトムシ（イチモンジセセリ）  
6～8月に丹後地域を中心に発生を確認した。6月には平年比多い発生となった。
- ナ フタオビコヤガ  
府内広域で、6月～8月に発生を認めた。
- ニ イネクロカメムシ  
本田では発生を認めなかった。
- ヌ スクミリンゴガイ  
山城及び南丹地域の一部で発生を認めた。

(2)麦類  
病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病名/麦種類	小麦	二条大麦
赤かび病	多い	並(-)

(-):発生を認めず

表2 麦類における赤かび病の発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	小麦			二条大麦		
		発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)	発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)
5・3～4	27年	0.4	0.1	10.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注)調査場所:(小麦)綾部市、福知山市、南丹市、(二条大麦)亀岡市



### (3)黒大豆 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	7月	8月	9月	10月(英)	全期間
モザイク病	やや多	—	—	—	多
べと病	—	やや少(-)	多	—	やや多
葉焼病	—	やや少	やや多	—	やや多
アブラムシ類	やや少(-)	並(-)	少	—	やや少
ハダニ類	並	多	やや少	—	やや多
フタジヒメハムシ	並(-)	やや少(-)	やや少	少	やや少
吸蜜性カメムシ類	—	並	並	—	並
ハスモンヨトウ	—	やや多	並	—	並
サヤムシガ類	やや少	多	並	—	やや多
チョウ目害虫	—	—	—	やや少	—

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(黒大豆、7~9月)

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			吸蜜性カメムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	寄生株確認ほ率(%)	白変葉箇所数/10a
7・3~4	27年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	26年	1.0	0.6	25.0	—	—	—	—	—	—	—
	平年	1.0	0.5	16.0	—	—	—	—	—	—	—
8・3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5	2.5	3.1	50.0	1.0
	26年	0.0	0.0	0.0	2.5	0.6	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	1.0	8.8	2.0	0.5	28.8	1.1	0.8	21.3	0.7
9・3~4	27年	5.0	8.5	50.0	2.0	1.3	25.0	2.0	0.6	50.0	4.4
	26年	5.0	5.0	50.0	2.5	0.9	62.5	0.5	0.1	12.5	1.6
	平年	20.1	41.8	81.3	2.0	0.7	28.8	4.7	2.3	38.8	3.4

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		べと病			葉焼病		
		発病株率(%)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	発病度(指数)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	発病度(指数)	確認ほ率(%)
7・3~4	27年	5.9	50.0	—	—	—	—	—	—
	26年	40.1	100.0	—	—	—	—	—	—
	平年	6.0	54.4	—	—	—	—	—	—
8・3~4	27年	—	—	0.0	0.00	0.0	7.5	1.88	25.0
	26年	—	—	6.0	1.50	37.5	19.0	5.00	87.5
	平年	—	—	4.6	0.53	20.0	12.2	2.61	58.8
9・3~4	27年	—	—	74.0	18.50	75.0	73.0	18.50	75.0
	26年	—	—	50.0	12.50	100.0	95.0	24.00	100.0
	平年	—	—	27.7	6.22	52.5	49.2	11.84	83.8

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			フタジヒメハムシ			サヤムシガ類			
		寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	200莢当虫数(頭)	確認ほ率(%)
7・3~4	27年	0.5	0.1	12.5	0.0	0.0	0.0	3.0	0.8	—	50.0
	26年	0.5	0.3	12.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.8	—	75.0
	平年	0.4	0.1	8.8	0.9	0.2	15.0	3.7	0.9	—	79.3
8・3~4	27年	25.5	87.6	62.5	0.0	0.0	0.0	9.5	2.6	—	100.0
	26年	10.0	17.1	37.5	0.0	0.0	0.0	3.0	0.9	—	75.0
	平年	5.9	18.8	33.8	2.1	0.7	23.8	2.3	0.6	—	80.0
9・3~4	27年	8.5	14.4	62.5	2.5	0.6	25.0	0.5	—	0.1	12.5
	26年	50.5	204.8	100.0	11.0	3.4	75.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	17.9	75.2	71.3	15.6	6.7	72.5	1.1	—	0.6	22.5

注：サヤムシガ類の確認ほ率は、7月中旬、8月中旬は被害株確認ほ場率、9月中旬は寄生株確認ほ場率

表3 巡回調査結果(黒大豆、10月)

調査時期 (月・半旬)	年次	フタジヒメハムシ		チョウ目害虫	
		食害莢率(%)	確認ほ率(%)	食害莢率(%)	確認ほ率(%)
10・3~4	27年	4.4	75.0	1.0	87.5
	26年	6.8	100.0	0.4	50.0
	平年	12.8	97.5	2.6	86.1

## (4)小豆

### 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	並	—	—	並
アブラムシ類	並(-)	やや少(-)	—	やや少
ハスモンヨトウ	やや多	やや少	—	やや少
うどんこ病	—	並(-)	—	並
炭そ病	多	やや多	—	多
さび病	並(-)	多	—	多
ハダニ類	並(-)	やや少	—	やや少
サヤムシガ類	やや多	並	—	やや多
アズキノメイガ	—	やや少(-)	—	やや少
マメノメイガ	—	並	—	並
チョウ目害虫	—	—	少	

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(アズキ、8～9月)

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		発病株率(%)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	寄生株確認ほ率(%)	白変葉箇所数/10a
8・3～4	27年	0.7	27.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	9.1	0.4
	26年	0.3	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	40.5	0.5	0.2	11.3	0.3	0.1	7.0	0.3
9・3～4	27年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	26年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2	16.7	0.1
	平年	—	—	0.6	0.3	12.9	4.8	2.2	50.7	1.1

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		炭そ病		さび病		ハダニ類		
		発病株率(%)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)
8・3～4	27年	—	—	0.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.1	1.3	0.3	2.5	0.1	0.0	3.3
9・3～4	27年	0.0	0.0	12.0	18.2	32.4	63.6	0.4	0.5	9.1
	26年	0.0	0.0	14.7	83.3	44.3	66.7	0.3	0.6	8.3
	平年	0.1	2.0	4.9	22.3	11.3	24.0	3.6	6.2	30.6

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類			アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	被害株確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	被害株確認ほ率(%)	寄生株率(%)	200花・莢当虫数(頭)	寄生株確認ほ率(%)
8・3～4	27年	1.1	0.3	27.3	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.5	0.1	7.0	—	—	—	—	—	—
9・3～4	27年	0.7	0.2	36.4	0.0	0.0	0.0	4.0	1.2	45.5
	26年	0.3	0.1	33.3	0.3	0.1	16.7	5.7	2.2	25.0
	平年	0.8	0.2	30.3	1.6	0.5	39.6	9.9	2.6	53.5

表3 巡回調査結果(アズキ、10月)

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害莢率(%)	確認ほ率(%)
10・3～4	27年	8.6	100.0
	26年	15.3	100.0
	平年	20.5	100.0

(5)ナシ  
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	やや少(-)	やや多	やや多	やや少	多	多	多
黒星病	並(-)	多	やや多	多	多	やや多	多
赤星病	並(-)	少(-)	少(-)	やや少(-)	やや少(-)	並(-)	やや少(-)
うどんこ病	—	—	—	やや多	やや多	多	やや多
ハダニ類	並(-)	並	並	多	やや少	少	やや少
シンクイムシ類	—	—	—	並(-)	—	—	並(-)

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(ナシ、5～10月) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	45.8	0.4	5.8	0.3	6.4
6・3～4	27年	2.7	50.0	8.2	80.0	0.0	0.0
	26年	4.5	66.7	0.2	20.0	0.3	16.7
	平年	2.7	64.6	1.1	20.3	1.2	35.0
7・3～4	27年	3.5	83.3	4.4	60.0	0.0	0.0
	26年	1.8	100.0	0.0	0.0	0.9	16.7
	平年	2.3	51.1	1.4	17.5	1.1	25.3
8・3～4	27年	3.0	60.0	1.2	40.0	0.0	0.0
	26年	8.2	83.3	0.0	0.0	0.2	16.7
	平年	8.1	82.6	0.1	5.0	0.5	20.1
9・3～4	27年	29.6	100.0	2.4	60.0	0.0	0.0
	26年	8.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	6.2	76.5	0.2	11.7	0.3	14.1
10・3～4	27年	30.6	100.0	0.8	20.0	0.0	0.0
	26年	11.8	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	6.5	76.6	0.5	14.2	0.2	11.2

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		ハダニ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	27年	—	—	0.0	0.0
	26年	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.8	17.5
6・3～4	27年	—	—	4.1	50.0
	26年	—	—	0.4	8.3
	平年	—	—	4.4	44.4
7・3～4	27年	1.6	16.7	15.2	66.7
	26年	1.4	16.7	1.3	33.3
	平年	0.5	6.3	20.9	63.8
8・3～4	27年	5.1	27.3	22.4	81.8
	26年	7.0	25.0	8.3	50.0
	平年	1.7	15.0	9.0	50.0
9・3～4	27年	17.6	36.4	2.0	63.6
	26年	9.4	50.0	18.4	83.3
	平年	4.3	29.5	9.8	50.1
10・3～4	27年	44.8	90.9	0.7	36.4
	26年	36.3	75.0	8.8	33.3
	平年	22.5	76.1	6.4	53.1

(6)ブドウ  
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	並(-)	多	やや多	やや多	やや少	やや多
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)

- : 調査せず、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果(ブドウ) (%)

調査時期 (月・半月)	年次	べと病		ハダニ類	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.0	0.0	0.0
6・3～4	27年	2.8	33.3	0.0	0.0
	26年	3.0	66.7	0.0	0.0
	平年	0.6	16.0	0.2	11.0
7・3～4	27年	6.3	33.3	0.0	0.0
	26年	1.7	50.0	0.0	0.0
	平年	4.8	37.0	0.3	7.0
8・3～4	27年	11.0	100.0	0.0	0.0
	26年	1.8	50.0	0.0	0.0
	平年	16.3	54.3	1.0	11.0
9・3～4	27年	15.7	83.3	0.0	0.0
	26年	4.7	50.0	0.0	0.0
	平年	24.9	62.2	0.4	11.1

**(7)カキ  
病害虫発生状況**

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	並	並	やや多	やや多	やや多	並	やや多
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	やや少(-)	少(-)	やや少(-)
炭そ病	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カメムシ類	—	—	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	やや多
チャノキイロアザミウマ	—	—	並(-)	多	多	やや多	多
カキクダアザミウマ	並(-)	並(-)	多	並(-)	やや多	並(-)	やや多
カイガラムシ類	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多	多	やや多

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(カキ、5～10月) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭そ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率
5・3～4	27年	0.3	33.3	—	—	—	—
	26年	2.0	66.7	—	—	—	—
	平年	0.6	27.3	—	—	—	—
6・3～4	27年	11.3	100.0	—	—	0.0	0.0
	26年	28.0	100.0	—	—	0.0	0.0
	平年	14.7	98.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	27年	31.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	35.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	24.7	100.0	0.1	4.0	0.0	0.0
8・3～4	27年	35.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	26.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	26.5	100.0	0.4	18.7	0.1	6.7
9・3～4	27年	34.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	32.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	26.6	96.0	2.1	28.7	0.3	17.3
10・3～4	27年	41.0	100.0	0.0	0.0	0.7	33.3
	26年	32.7	66.7	2.0	66.7	0.0	0.0
	平年	47.5	94.7	12.7	75.3	0.9	18.3

調査時期 (月・半旬)	年次	カキノヘタムシガ		カメムシ類		チャノキイロアザミウマ	
		被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
7・3～4	27年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	—	—	0.0	0.0	0.7	33.3
	平年	—	—	0.0	0.0	0.2	8.7
8・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	66.7
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3
	平年	0.0	0.0	0.3	8.7	1.6	30.0
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.7	33.3	16.7	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	100.0
	平年	0.2	8.7	0.3	8.7	3.4	43.3
10・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	100.0
	26年	0.0	0.0	0.7	33.3	6.7	100.0
	平年	0.00	0.0	1.1	28.3	6.3	56.7

調査時期 (月・半旬)	年次	カキクダアザミウマ				カイガラムシ類			
		被害葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	27年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	0.4	17.3	—	—	0.0	3.3	—	—
6・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.7	33.3
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	0.4	15.3	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	27年	—	—	5.3	66.7	—	—	0.0	0.0
	26年	—	—	0.0	0.0	—	—	2.7	100.0
	平年	—	—	0.5	11.3	—	—	0.7	17.3
8・3～4	27年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	26年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.5	13.3
9・3～4	27年	—	—	0.7	33.3	—	—	2.7	66.7
	26年	—	—	0.0	0.0	—	—	5.3	66.7
	平年	—	—	0.3	15.3	—	—	1.0	28.0
10・3～4	27年	—	—	0.0	0.0	—	—	8.0	66.7
	26年	—	—	0.7	33.3	—	—	2.0	66.7
	平年	—	—	1.6	13.3	—	—	1.9	38.3

## (8)カンキツ 病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	—	—	—	並(-)	多	並(-)	やや多
ハダニ類	並(-)	やや少	やや多	やや多	やや少	少	やや少
ヤノネカイガラムシ	やや少(-)	やや少(-)	やや多	並(-)	並	やや少(-)	並
ミカンハモグリガ	少(-)	やや少	並(-)	並	並	並(-)	並

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(カンキツ、4～9月)

(%)

調査時期 (月・半月)	年次	そうか病		ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ	
		寄生果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
4・3～4	27年	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
	26年	—	—	4.0	100.0	0.0	—	0.0	3.0	66.7
	平年	—	—	4.3	43.3	1.1	—	40.0	1.6	50.0
5・3～4	27年	—	—	0.7	33.3	0.0	—	0.0	0.3	33.3
	26年	—	—	9.0	100.0	0.0	—	0.0	1.7	66.7
	平年	—	—	11.7	80.0	1.6	—	33.3	2.2	46.7
6・3～4	27年	—	—	14.3	100.0	0.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	26年	—	—	37.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	12.9	76.7	0.4	0.0	20.0	0.7	16.7
7・3～4	27年	0.0	0.0	31.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3
	26年	0.0	0.0	12.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	11.1	76.7	0.3	0.0	16.7	0.5	23.3
8・3～4	27年	0.7	66.7	2.3	66.7	0.7	0.0	66.7	1.7	33.3
	26年	0.0	0.0	2.7	100.0	0.0	0.0	0.0	2.3	66.7
	平年	0.0	0.0	11.7	66.7	0.4	0.1	30.0	1.7	43.3
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0	1.3	66.7
	26年	0.0	0.0	25.1	90.0	1.3	0.1	50.0	3.0	56.7
	平年	0.0	0.0	9.0	100.0	1.0	0.0	66.7	7.3	100.0

## (9) 茶 樹

### 生育状況

本年の平均気温は1月から平年並に経過したが、3月中旬に高温が続いたため、新芽の始動が早まった。そのため、平成27年の一番茶萌芽日は、自然仕立て園で平年比2日早い4月3日となった。弧状仕立て園では平年比1日早い4月8日となった。

萌芽日以降の新芽の生育は、4月上旬及び4月下旬の平均気温が高かったことから、平年と比較して新芽の伸長は早まった。最終の生育調査日(4月30日)では、自然仕立て園では、新芽長は11.2cm、新葉数は4.4枚、弧状仕立て園では、新芽長は9.6cm、新葉数は3.5枚であった。

(宇治茶部発表の「平成27年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

### 病害虫発生状況

#### ア 炭そ病(指定)

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	やや多	少	並	やや多	やや多	多
丹波	やや多	並	やや多	やや多	多	やや多	やや多
丹後	多	やや多	並	並	並	やや多	多

表2 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3～4	27年	4.0	76.2	0.8	50.0	4.0	75.0
	26年	0.9	36.4	0.3	16.7	0.0	0.0
	平年	0.5	15.5	0.7	16.7	1.6	46.9
5. 3～4	27年	1.2	36.8	0.0	0.0	2.3	25.0
	26年	0.6	29.4	0.2	0.0	1.0	50.0
	平年	0.6	16.6	0.2	8.3	0.4	14.3
6. 3～4	27年	0.2	17.6	4.5	100.0	0.5	25.0
	26年	8.3	90.0	8.3	83.3	0.5	25.0
	平年	3.1	36.4	2.0	44.3	1.3	34.4
7. 3～4	27年	0.3	10.0	2.0	50.0	0.8	25.0
	26年	0.4	10.0	1.5	66.7	0.3	25.0
	平年	0.7	15.2	2.2	43.7	0.5	25.0
8. 3～4	27年	1.1	9.1	40.0	100.0	1.5	25.0
	26年	0.2	4.8	26.2	66.7	1.0	50.0
	平年	1.1	16.2	5.8	33.0	1.0	31.3
9. 3～4	27年	2.8	18.2	4.0	66.7	3.3	25.0
	26年	2.5	18.2	5.2	66.7	0.0	0.0
	平年	1.8	22.4	3.6	48.3	0.5	6.3
10. 3～4	27年	10.3	31.8	0.0	0.0	42.8	50.0
	26年	4.6	18.2	0.2	16.7	0.0	0.0
	平年	1.7	19.2	1.3	28.3	0.8	15.6

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	多	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表4 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
6. 3~4	27年	0.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	27年	0.0	0.0	0.5	16.7	0.3	25.0
	26年	0.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.8	0.4	9.2	0.1	6.3
8. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	1.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	2.3	2.7	18.7	0.1	3.1
9. 3~4	27年	0.05	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	1.8	2.3	13.3	0.0	0.0
10. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.3	33.3	0.0	0.0
	平年	0.1	1.4	0.5	13.3	0.0	0.0

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	5.5	0.0	3.3	0.0	0.0
5. 3~4	27年	0.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	やや多	並	多
丹波	並	並	並	並	並	並	多
丹後	並	並	並	並	並	並	多

表8 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.1	3.3	0.0	0.0
5. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	27年	1.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	2.3	0.1	5.0	0.1	3.1
9. 3~4	27年	0.1	9.1	1.2	50.0	0.0	0.0
	26年	1.6	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	10.9	0.6	20.0	0.0	0.0
10. 3~4	27年	1.2	18.2	0.5	33.3	1.0	50.0
	26年	0.6	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.1	0.1	6.7	0.0	0.0

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	多	多	多	多
丹波	並	並	並	並	並	並	多
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
5. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	平年	0.0	2.6	0.0	1.7	0.0	0.0
7. 3~4	27年	1.3	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	27年	8.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	27年	3.4	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.2	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	27年	16.3	9.1	15.5	33.3	0.0	0.0
	26年	0.0	9.1	0.3	33.3	0.0	0.0
	平年	0.0	0.9	0.4	6.7	0.0	0.0

カ 網もち病

表11 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	やや多	並	やや多	やや少	少
丹波	並	並	少	やや少	やや多	やや少	やや少
丹後	並	やや多	やや多	やや少	並	並	並

表14 越冬状況 平成27年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	27年	0.9	0.6	42.9	0.8	0.0	50.0	1.0	0.0	25.0
	26年	0.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	0.3	26.8	0.5	0.1	13.3	0.0	0.0	0.0
3.5	27年	3.0	0.4	47.6	4.3	0.3	50.0	3.0	0.0	25.0
	26年	1.5	1.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.0	1.1	33.8	1.6	1.0	31.7	0.9	0.3	3.6

表15 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3～4	27年	0.9	7.8	14.3	0.7	2.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	26年	0.6	3.7	22.7	0.0	0.0	0.0	3.5	26.5	50.0
	平年	1.8	14.0	29.6	1.8	5.0	28.3	0.4	3.3	6.3
5. 3～4	27年	0.8	1.9	21.1	0.0	0.0	0.0	2.5	3.5	25.0
	26年	1.2	7.3	19.0	0.7	1.0	16.7	4.0	34.5	50.0
	平年	1.2	4.6	20.8	0.2	0.4	5.0	0.9	5.6	21.4
6. 3～4	27年	3.7	30.6	33.3	0.0	0.0	0.0	12.5	71.0	75.0
	26年	9.7	68.1	72.7	10.0	41.0	66.7	26.0	99.0	75.0
	平年	9.9	66.0	57.9	6.8	41.0	46.7	5.2	17.8	34.4
7. 3～4	27年	2.3	5.8	35.0	0.7	1.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	26年	5.5	10.5	40.9	0.3	0.3	16.7	1.5	36.0	75.0
	平年	3.2	5.6	35.5	3.8	14.9	39.7	3.5	13.9	56.3
8. 3～4	27年	7.2	9.1	50.0	6.3	18.0	83.3	8.0	21.8	25.0
	26年	5.1	11.5	28.6	9.1	47.7	100.0	5.5	102.5	25.0
	平年	3.4	10.6	35.1	2.7	8.9	45.0	6.8	29.8	56.3
9. 3～4	27年	1.2	2.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0
	26年	4.8	9.5	54.5	6.3	20.5	66.7	4.5	29.8	75.0
	平年	6.3	24.5	43.7	3.6	11.1	43.3	8.8	88.3	37.5
10. 3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	3.6	8.6	31.8	0.7	1.7	33.3	3.0	8.5	75.0
	平年	1.7	6.9	23.7	1.5	4.7	33.3	0.5	1.2	15.6

(参考) 平成28年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	28年	1.0	0.1	31.8	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	50.0
	27年	0.9	0.6	42.9	0.8	0.0	50.0	1.0	0.0	25.0
	平年	1.0	0.3	28.4	0.6	0.1	18.3	0.2	0.0	4.2
3.5	28年	1.2	0.5	36.4	1.0	0.0	33.3	0.5	0.0	25.0
	27年	3.0	0.4	47.6	4.3	0.3	50.0	3.0	0.0	25.0
	平年	2.0	1.0	34.9	1.9	1.8	35.0	1.1	0.3	6.3

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	やや多	並	並
丹波	並	並	並	並	並	やや多	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表17 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.7	3.0	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.4	5.1	0.1	0.4	8.3	0.0	0.0	0.0
5. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	27年	0.0	0.4	11.8	0.7	2.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	26年	0.2	1.8	25.0	0.2	2.8	33.3	1.3	5.8	25.0
	平年	0.2	0.6	10.4	0.5	3.6	27.0	0.2	0.7	3.1
7. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	1.7	5.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.1	0.0	5.0	2.0	5.0	83.3	2.5	6.5	25.0
	平年	0.2	0.4	7.4	1.8	3.0	46.7	0.3	0.8	3.1
8. 3~4	27年	0.7	0.4	18.1	0.2	0.2	16.7	0.3	0.3	25.0
	26年	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	22.8	22.8	50.0
	平年	0.5	1.2	9.2	0.6	1.3	13.3	2.9	2.9	6.3
9. 3~4	27年	2.3	2.2	27.3	4.8	4.8	33.3	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	1.0	22.7	0.0	0.2	16.7	0.0	0.8	25.0
	平年	0.1	2.2	22.0	0.2	2.0	23.3	0.1	0.1	3.1
10. 3~4	27年	0.8	0.8	36.4	6.8	6.8	33.3	0.0	0.0	0.0
	26年	0.05	0.05	4.5	1.2	1.2	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	1.0	9.8	1.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0

ケ チャノホソガ

表18 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや少	やや少	やや少	少	少	並
丹波	並	やや多	並	並	やや少	やや少	やや多
丹後	やや多	並	並	並	並	やや多	並

表19 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻 数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	27年	0.8	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	25.0
	26年	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	平年	1.4	0.1	7.8	0.7	0.0	5.0	-	0.1	6.3
5. 3~4	27年	0.0	0.2	15.8	0.0	1.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	26年	5.4	0.7	35.3	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	2.5	0.4	23.0	0.1	0.8	10.3	1.0	0.0	14.3
6. 3~4	27年	3.1	0.0	63.6	-	1.2	16.7	19.0	1.8	50.0
	26年	4.0	0.0	10.0	34.0	0.3	33.3	26.0	0.0	25.0
	平年	10.7	0.1	22.1	1.5	0.4	25.3	36.3	0.0	21.9
7. 3~4	27年	1.0	0.1	30.0	4.5	0.0	33.3	5.5	3.0	100.0
	26年	1.7	0.1	20.0	1.5	0.2	33.3	7.5	1.5	100.0
	平年	10.6	0.9	46.8	2.3	0.8	48.5	17.8	6.2	57.1
8. 3~4	27年	0.2	0.1	4.5	0.0	0.0	0.0	2.5	2.0	75.0
	26年	0.3	0.4	19.0	0.3	0.0	16.7	1.5	2.5	75.0
	平年	9.3	2.0	43.0	12.1	0.4	25.0	17.6	1.4	75.0
9. 3~4	27年	2.5	0.4	50.0	0.0	0.7	33.3	1.5	0.3	75.0
	26年	14.1	3.6	63.6	1.3	1.3	100.0	0.5	2.3	75.0
	平年	17.7	5.9	63.6	3.4	0.7	50.7	0.6	0.4	28.1
10. 3~4	27年	5.1	14.0	40.9	9.0	5.2	66.7	2.0	0.0	25.0
	26年	12.5	5.4	7.0	19.3	2.8	66.7	0.0	11.3	75.0
	平年	12.1	11.1	52.8	20.0	2.6	40.0	6.5	4.0	37.5

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	少	並	やや少	やや少	並	少	少
丹波	-	少	-	並	やや少	並	並
丹後	-	並	やや多	並	やや多	並	やや多

表21 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	27年	2.0	2.3	27.3	0.0	0.0	0.0	28.0	0.0	-
	26年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	12.3	3.6	70.4	5.4	0.0	50.0	-	-	-
5. 3~4	27年	3.3	3.6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	1.9	1.1	31.3	2.0	1.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	平年	8.0	24.1	56.8	1.6	0.9	36.5	1.4	0.1	39.3
6. 3~4	27年	14.2	5.5	91.7	-	-	-	21.0	21.0	100.0
	26年	45.7	8.9	100.0	12.0	6.0	100.0	20.0	20.0	100.0
	平年	26.0	15.8	83.9	20.8	10.0	80.0	8.0	10.0	75.0
7. 3~4	27年	24.7	32.3	90.9	10.0	3.5	75.0	10.5	13.5	75.0
	26年	38.3	82.4	100.0	21.0	1.5	100.0	2.0	0.5	50.0
	平年	49.3	157.8	98.5	17.5	20.1	81.7	8.9	5.1	67.9
8. 3~4	27年	37.5	3.7	90.9	6.3	0.3	100.0	82.5	179.0	100.0
	26年	22.5	1.8	73.7	19.3	5.0	100.0	48.5	68.5	100.0
	平年	33.1	38.9	91.9	27.2	28.3	86.0	45.7	126.2	93.8
9. 3~4	27年	16.3	24.5	77.3	2.0	7.7	66.7	15.0	10.0	75.0
	26年	5.8	2.5	60.0	15.0	19.0	100.0	8.5	6.5	75.0
	平年	22.4	18.9	84.8	21.0	11.8	86.3	28.3	18.3	96.9
10. 3~4	27年	10.6	0.7	88.9	30.0	34.0	100.0	45.0	3.0	100.0
	26年	15.5	10.7	75.0	3.3	0.0	66.7	16.0	0.5	50.0
	平年	28.3	61.9	87.7	18.8	7.3	84.2	25.5	11.6	92.9

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	多	やや多	やや多	やや多	並
丹波	-	並	-	やや多	並	並	並
丹後	-	並	並	並	並	並	並

表23 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.6	0.0	12.3	0.4	0.0	16.7	-	-	-
5. 3~4	27年	0.2	0.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.2	7.4	0.2	0.2	8.3	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	27年	3.0	3.0	33.3	-	-	-	0.0	0.0	0.0
	26年	2.0	2.0	14.3	6.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	0.4	11.1	8.6	11.2	66.7	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	27年	8.2	6.0	58.3	8.0	12.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	26年	15.7	13.7	78.6	39.0	93.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.0	3.2	30.8	7.2	13.7	43.3	1.1	1.0	14.3
8. 3~4	27年	6.7	2.0	45.5	3.7	1.0	66.7	1.0	0.5	25.0
	26年	4.2	5.7	42.9	28.7	72.3	100.0	2.0	2.0	25.0
	平年	3.1	3.1	26.8	8.9	11.5	57.3	0.9	0.4	15.6
9. 3~4	27年	4.5	7.4	68.2	9.7	19.8	66.7	2.0	3.0	25.0
	26年	4.8	3.5	54.5	17.7	8.7	100.0	24.0	1.5	100.0
	平年	3.8	5.2	38.8	10.0	11.7	56.0	9.1	7.4	34.4
10. 3~4	27年	4.1	3.1	70.6	16.0	19.0	100.0	2.0	3.0	100.0
	26年	7.7	3.6	13.6	20.3	8.3	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	4.9	8.5	28.4	9.3	8.4	45.0	6.8	7.4	38.1

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	やや多	並	多	少	多	少
丹波	-	並	-	やや少	並	やや多	やや多
丹後	-	並	やや多	並	多	やや多	並

表25 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	27年	0.5	1.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.7	8.0	15.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-
5. 3~4	27年	1.8	10.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	1.3	5.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	6.9	14.2	0.1	1.0	3.3	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	27年	0.7	2.7	8.3	-	-	-	2.0	13.0	50.0
	26年	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	50.0	2.0	2.0	100.0
	平年	0.8	5.2	13.7	0.7	2.0	18.7	1.3	4.0	33.3
7. 3~4	27年	0.7	2.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	7.5	50.0
	平年	0.2	1.5	6.9	1.5	16.2	31.2	1.1	16.9	35.7
8. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	32.5	50.0
	26年	0.4	1.5	4.8	2.0	7.7	33.3	1.0	1.5	25.0
	平年	0.5	1.5	15.2	1.1	5.8	20.0	0.5	0.9	15.6
9. 3~4	27年	4.1	50.4	50.0	6.7	54.8	66.7	3.5	25.3	75.0
	26年	0.9	8.1	13.6	23.0	7.3	66.7	2.5	21.5	66.7
	平年	0.9	5.5	23.3	2.5	116.1	52.3	1.5	7.4	52.3
10. 3~4	27年	0.1	0.1	6.3	3.0	5.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.5	6.6	9.1	0.7	2.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	3.2	22.4	2.6	16.0	50.0	3.5	55.4	40.5

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	並	多	多	並	やや多
丹波	やや多	並	並	やや少	やや多	やや少	多
丹後	並	並	並	やや少	並	やや少	やや多

表27 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場 率 (%)
4. 3~4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	50.0	2.0	0.0	25.0
	26年	-	0.0	0.0	-	0.2	16.7	-	0.0	0.0
	平年	1.0	0.1	6.1	7.7	0.8	20.0	-	0.8	18.8
5. 3~4	27年	1.1	1.2	10.5	2.3	3.2	83.3	5.0	9.5	75.0
	26年	1.8	3.6	47.1	0.0	0.0	0.0	16.5	7.5	100.0
	平年	0.5	0.9	19.3	3.9	7.8	61.0	23.6	35.8	92.9
6. 3~4	27年	1.3	0.4	17.6	-	1.0	33.3	16.0	14.0	75.0
	26年	0.3	0.9	25.0	6.0	1.3	50.0	26.0	41.8	100.0
	平年	0.8	0.8	18.1	1.4	2.1	40.7	21.3	85.8	100.0
7. 3~4	27年	1.6	2.2	65.0	2.0	1.0	50.0	11.5	10.5	100.0
	26年	0.0	7.3	60.0	7.5	4.3	50.0	32.0	57.3	100.0
	平年	0.3	1.0	17.5	10.6	14.3	67.5	38.2	59.6	100.0
8. 3~4	27年	7.6	2.1	72.7	26.0	13.3	83.3	21.0	5.3	75.0
	26年	4.5	5.1	85.7	29.3	43.2	100.0	3.5	23.5	100.0
	平年	1.5	1.5	42.0	12.6	15.8	76.7	25.7	31.4	93.8
9. 3~4	27年	1.1	1.1	40.9	1.3	0.0	16.7	4.5	0.0	50.0
	26年	0.1	1.3	18.2	3.3	19.0	83.3	9.5	5.5	100.0
	平年	0.9	1.0	22.2	1.5	3.1	46.7	5.9	27.8	93.8
10. 3~4	27年	1.5	0.7	27.3	14.0	13.0	83.3	0.0	28.5	50.0
	26年	0.6	2.7	27.3	3.0	11.5	100.0	4.0	2.5	75.0
	平年	1.0	0.7	21.2	2.0	3.3	51.7	7.6	13.8	81.3

セ クワシロカイガラムシ  
表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや少	並	やや少	少	少	やや少
丹波	やや多	やや少	やや多	並	並	やや少	並
丹後	やや多	やや多	多	並	やや多	やや多	多

表29 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)
4. 3～4	27年	25.2	61.9	13.3	66.7	27.5	75.0
	26年	10.7	59.1	1.7	33.3	57.5	100.0
	平年	18.0	54.4	8.3	46.7	12.8	37.5
5. 3～4	27年	5.8	47.7	0.8	16.7	3.8	25.0
	26年	12.6	70.6	0.8	16.7	25.0	50.0
	平年	16.6	59.6	9.1	43.3	12.0	21.4
6. 3～4	27年	22.5	68.2	50.0	83.3	66.3	100.0
	26年	19.0	50.0	14.2	66.7	42.5	50.0
	平年	20.4	62.5	23.3	63.3	12.5	18.8
7. 3～4	27年	13.6	52.4	15.0	50.0	0.0	0.0
	26年	19.3	66.7	3.3	33.3	33.8	75.0
	平年	17.6	65.9	24.0	61.7	11.1	21.9
8. 3～4	27年	9.5	27.3	20.8	50.0	45.0	75.0
	26年	10.9	50.0	2.5	50.0	23.0	100.0
	平年	15.7	62.3	23.4	68.0	13.2	37.5
9. 3～4	27年	2.3	40.9	0.8	16.7	23.8	75.0
	26年	18.0	50.0	10.0	100.0	20.0	100.0
	平年	20.4	65.8	10.4	60.0	16.7	34.3
10. 3～4	27年	11.1	59.1	20.8	66.7	50.0	100.0
	26年	15.5	50.5	28.3	83.3	5.0	50.0
	平年	21.6	66.3	24.5	71.7	8.6	43.8

ソ チャトゲコナジラミ  
表30 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生葉率 (%)	発生ほ場 率	寄生葉率 (%)	発生ほ場 率	寄生葉率 (%)	発生ほ場 率
4. 3～4	27年	23.3	90.5	28.3	83.3	45.5	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-
5. 3～4	27年	37.3	73.7	33.7	83.3	49.0	100.0
	26年	-	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-
6. 3～4	27年	31.5	80.0	24.0	100.0	73.0	100.0
	26年	-	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-
7. 3～4	27年	44.6	85.7	63.7	100.0	55.0	100.0
	26年	-	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-
8. 3～4	27年	23.4	86.4	13.0	66.7	52.5	100.0
	26年	-	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-
9. 3～4	27年	22.3	86.4	62.5	33.3	52.5	100.0
	26年	-	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-
10. 3～4	27年	16.5	81.9	6.0	83.3	60.0	100.0
	26年	-	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-	-

## (10) キュウリ

### 病害虫の発生状況

#### ア ベと病

露地栽培:5月の発生は平年比やや多く、6月には平年比多い発生を認めた。

施設栽培:9月、10月は発生を認めず(例年並)、11月には例年比多い発生を認めた。

#### イ うどんこ病

露地栽培:5月～8月の期間を通じて平年並の発生であった。

施設栽培:9月、10月の発生は例年並、11月は例年比少ない発生であった。

#### ウ 炭そ病:7月に平年比やや多い発生を認めた。

#### エ 斑点細菌病

露地栽培:6月に平年比多い発生を認めた。それ以外の月は発生を認めなかった(平年並)。

施設栽培:9月、10月は発生を認めず(例年並)、11月には例年比多い発生を認めた。

#### オ 褐斑病

露地栽培:5月に発生を認めたが、6月、7月は発生を認めず(平年並)、8月には平年比やや少ない発生を認めた。

施設栽培:発生を認めなかった(例年並)。

#### カ アブラムシ類

露地栽培:5月～8月の期間を通じて平年並の発生であった。

施設栽培:9月の発生は例年比多く、10月は発生を認めず(例年並)、11月には例年比やや多い発生を認めた。

#### キ アザミウマ類

露地栽培:5月の発生は平年並、6月には平年比やや多い発生を認め、7月、8月は平年並の発生であった。

施設栽培:9月の発生は例年比多く、10月は発生を認めず(例年並)、11月には例年比やや多い発生を認めた。

#### ク ハダニ類

露地栽培:5月は発生を認めず(例年並)、6月、7月は平年比やや多く、8月の発生は平年並であった。

施設栽培:9月の発生は例年比多く、10月、11月は発生を認めなかった(例年並)。

#### ケ ハモグリバエ類

露地栽培:5月は発生を認めず(平年並)、6月の発生は平年並で、7月は平年比やや少ない発生となり、8月は平年比少なかった。

施設栽培:9月、10月の発生は例年並、11月は例年比少なかった。

#### コ ハスモンヨトウ:発生を認めなかった。



表1 ベと病、炭そ病及びうどんこ病の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ベと病			炭そ病			うどんこ病		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	27年	0.7	1.3	33.3	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	1.1	7.5	—	—	—	0.1	0.1	2.5
6・3～4	27年	22.5	33.0	75.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	26年	3.0	23.0	75.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	1.8	11.5	42.0	—	—	—	2.7	6.7	37.5
7・3～4	27年	24.7	38.7	66.7	0.7	6.0	33.3	16.3	16.7	16.7
	26年	23.3	52.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	20.1	33.0	66.2	0.2	1.3	9.5	13.0	21.1	43.4
8・3～4	27年	0.0	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	22.7	38.9	68.3	0.0	0.0	0.0	3.8	8.6	21.7

表2 斑点細菌病、褐斑病及びアブラムシ類の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	斑点細菌病			褐斑病			アブラムシ類		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.7	1.3	33.3	0.03	3.3	66.7
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.03	2.7	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.12	9.3	58.3
6・3～4	27年	5.5	14.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.02	1.5	25.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.05	1.5	50.0
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.02	1.1	34.0
7・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.35	1.0	33.3
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.94	1.3	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	10.0	0.69	1.9	21.8
8・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	3.0	12.0	50.0	0.00	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	12.5	54.0	100.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	17.6	38.2	66.7	4.57	6.1	28.3

表3 アザミウマ類、ハダニ類及びハモグリバエ類の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	27年	0.40	24.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.39	26.7	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.28	17.5	80.0	0.02	1.4	15.0	0.1	0.8	10.0
6・3～4	27年	2.46	57.5	100.0	0.01	1.0	25.0	3.5	11.0	75.0
	26年	1.43	39.5	75.0	0.07	3.5	50.0	6.0	36.0	100.0
	平年	1.14	34.6	78.0	0.01	0.6	14.3	4.5	18.7	71.2
7・3～4	27年	0.42	18.0	50.0	0.31	6.0	50.0	1.7	5.3	83.3
	26年	0.66	13.7	66.7	0.00	0.0	0.0	6.7	20.0	100.0
	平年	1.75	21.3	65.0	0.05	2.3	23.9	7.3	23.2	90.9
8・3～4	27年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	1.0	2.0	50.0
	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	13.0	52.0	100.0
	平年	0.00	0.3	6.7	0.10	1.1	10.0	13.5	38.9	86.7

表4 ベと病、うどんこ病及び斑点細菌病の発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病			うどんこ病			斑点細菌病		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生ほ 場率 (%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生ほ 場率 (%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・2	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	7.0	80.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.3	8.3	1.3	35.1	75.0	0.0	0.0	0.0
10・2	27年	0.0	0.0	0.0	33.3	84.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.7	1.3	33.3	2.7	54.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.3	5.6	16.7	29.0	63.3	88.9	0.0	0.0	0.0
11・2	27年	32.0	44.0	100.0	36.7	58.7	100.0	1.3	2.7	66.7
	26年	22.7	25.3	33.3	78.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	11.7	17.3	72.2	57.7	89.8	100.0	0.0	0.0	0.0

表5 褐斑病、アブラムシ類及びアザミウマ類の発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	褐斑病			アブラムシ類			アザミウマ類		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・2	27年	0.0	0.0	0.0	0.27	7.0	50.0	0.04	4.0	50.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.01	0.6	22.2
10・2	27年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.02	0.2	5.6	0.0	0.0	0.0
11・2	27年	0.0	0.0	0.0	0.01	0.7	33.3	0.05	2.0	33.3
	26年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	5.4	7.6	22.2	0.11	0.2	5.6	0.03	0.9	11.1

表6 アザミウマ類、ハダニ類及びハモグリバエ類の発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ	
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	発生 ほ場 率(%)
9・2	27年	0.01	1.0	50.0	1.0	66.0	100.0	0.0	0.0
	26年	0.00	0.0	0.0	7.0	26.0	100.0	0.0	0.0
	例年	0.00	0.3	13.9	5.2	55.6	94.5	0.0	0.0
10・2	27年	0.00	0.0	0.0	14.0	54.7	100.0	-	-
	26年	0.00	0.0	0.0	10.7	65.3	66.7	-	-
	平年	0.00	0.0	0.0	13.4	50.9	77.8	-	-
11・2	27年	0.00	0.0	0.0	2.0	5.3	66.7	-	-
	26年	0.00	0.0	0.0	26.0	66.7	66.7	-	-
	平年	0.00	0.0	0.0	16.2	44.2	88.9	-	-

(11)トマト  
病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	3月	4月	5月	6月	全期間
疫病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	-	並(-)	並	並(-)	並(-)
葉かび病	並(-)	多	多	多	多
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
うどんこ病	-	-	-	多	多
アブラムシ類	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	やや多
アザミウマ類	並(-)	並(-)	並	並	並
コナジラミ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	多	多	多

- : 調査せず、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果(トマト、3~6月)

(単位: %)

調査時期 (月・半 旬)	年次	疫病		灰色かび病		葉かび病			モザイク病		うどんこ病	
		発病 株率	発 生 ほ場率	発病 果率	発 生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発 生 ほ場率	発病 株率	発 生 ほ場率	発病 株率	発 生 ほ場率
3・3~4	27年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	26年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	例年*	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
4・1~2	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	24.0	50.0	0.0	0.0	-	-
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	例年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
5・1~2	27年	0.0	0.0	0.0	20.0	6.4	20.0	20.0	0.0	0.0	-	-
	26年	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	例年	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
6・1~2	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	20.0	20.0	0.0	0.0	13.6	60.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	例年	0.0	0.0	0.1	13.3	3.8	12.1	30.0	0.1	3.3	4.3	16.7

調査時期 (月・半 旬)	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	発 生 ほ場率
3・3~4	27年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.3	5.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・1~2	27年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.01	0.3	8.3	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・1~2	27年	0.03	0.8	20.0	0.00	0.4	0.0	0.00	0.0	0.0	2.0	8.0	20.0
	26年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.8	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.00	0.2	10.0	0.00	0.3	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.8	6.7
6・1~2	27年	0.00	0.0	0.0	0.03	1.6	20.0	0.00	0.0	20.0	28.0	57.6	80.0
	26年	0.00	0.0	0.0	0.05	1.2	20.0	0.00	0.4	20.0	0.0	12.8	20.0
	例年	0.05	1.1	16.7	0.02	0.6	13.3	0.00	0.1	3.3	0.5	8.4	26.7

\*3月: 22~26年の平均値、4~6月: 21~26年の平均値

## (12) ナス

### 病害虫の発生状況

- ア うどんこ病:5月～6月には発生を認めなかったが、7月、8月は平年並、9月には平年比やや多くなったが、10月には平年比やや少なくなった。
- イ 灰色かび病:発生を認めなかった(平年並)。
- ウ 褐色円星病:5月～6月は発生を認めなかったが、7月～10月は平年比やや多い～多い発生で推移した。
- エ アブラムシ類:5月、9月の発生は平年比やや多かったが、6月～8月、10月は発生を認めない～やや少ない発生で推移した。
- オ アザミウマ類:5月は平年比多く、6月～10月は平年並～やや多い発生で推移した。
- カ ハダニ類:5月は平年比多かったが、6月～10月は平年並～やや少ない発生で推移した。  
発生種は、ナミハダニ、カンザワハダニであった。
- キ ハモグリバエ類:5月は平年並、6月はやや少なく、7月～10月は平年比少ない発生で推移した。

表1 うどんこ病、褐色円星病及び灰色かび病の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病			褐色円星病			灰色かび病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
6・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	27年	0.5	1.5	12.5	0.6	2.0	25.0	0.0	0.0
	26年	0.5	1.3	12.5	2.3	13.8	25.0	0.0	0.0
	平年	1.2	4.8	16.5	0.5	3.8	15.3	0.0	0.0
8・3～4	27年	4.3	23.3	62.5	3.7	15.3	37.5	0.0	0.0
	26年	10.8	32.5	50.0	2.3	25.0	62.5	0.0	0.0
	平年	8.3	23.4	41.5	2.0	16.5	42.2	0.0	0.0
9・3～4	27年	16.3	50.0	85.7	8.4	27.1	57.1	0.00	0.0
	26年	16.0	46.3	75.0	24.3	71.3	87.5	0.00	0.0
	平年	15.9	42.1	67.2	9.2	38.9	67.6	0.02	1.1
10・3～4	27年	6.6	30.0	71.4	9.1	32.9	57.1	0.0	0.0
	26年	13.1	38.6	71.4	22.6	77.1	100.0	0.0	0.0
	平年	21.6	50.1	83.1	12.9	40.8	70.0	0.0	0.0

表2 巡回調査結果(虫害)

(10株(5葉・5果)調査(%))、害虫個体数は1葉当たり)

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	27年	0.17	12.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.43	21.7	83.3	0.17	4.0	66.7	5.7	20.0	66.7
	平年	0.35	18.5	95.4	0.03	0.9	15.9	5.1	17.6	56.1
6・3～4	27年	0.08	2.0	62.5	0.06	1.9	50.0	0.2	1.5	12.5
	26年	0.01	1.3	37.5	0.07	1.5	37.5	0.5	7.5	75.0
	平年	0.14	5.7	69.9	0.07	1.3	27.1	4.4	25.8	76.8
7・3～4	27年	0.01	0.4	50.0	0.04	2.1	62.5	0.0	0.0	0.0
	26年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.3	12.5	0.3	2.5	25.0
	平年	0.04	0.8	12.5	0.28	2.2	21.6	4.4	23.9	61.3
8・3～4	27年	0.00	0.0	0.0	0.39	3.9	37.5	3.0	3.0	37.5
	26年	0.00	0.0	0.0	0.01	1.0	25.0	0.3	6.3	25.0
	平年	0.04	1.2	21.2	0.79	3.9	23.3	9.5	42.9	79.2
9・3～4	27年	0.03	1.3	57.1	0.81	8.6	85.7	6.0	31.4	57.1
	26年	0.03	2.0	25.0	0.09	0.8	25.0	4.3	21.3	62.5
	平年	0.03	1.0	19.0	0.33	3.4	20.4	26.8	67.0	87.5
10・3～4	27年	0.00	0.0	0.0	0.11	1.1	42.9	4.6	21.4	71.4
	26年	0.00	0.0	0.0	0.03	1.1	28.6	3.1	17.1	42.9
	平年	0.25	3.6	22.6	2.26	5.3	26.2	37.7	72.7	83.9

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類					コナジラミ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	寄生 虫数 (/花)	寄生 花率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	27年	0.01	0.5	—	35.5	25.0	0.00	0.0	0.0
	26年	0.27	14.3	—	3.0	66.7	0.01	—	50.0
	平年	0.04	2.8	—	—	36.1	—	—	—
6・3～4	27年	0.24	12.4	—	40.6	100.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.18	12.0	—	63.8	87.5	—	—	—
	平年	0.27	12.5	—	—	72.5	—	—	—
7・3～4	27年	0.09	3.9	0.41	21.4	37.5	0.01	0.5	37.5
	26年	0.11	7.8	1.09	36.9	37.5	0.00	0.0	0.0
	平年	0.05	3.1	—	—	35.8	0.06	1.6	27.3
8・3～4	27年	0.00	0.2	0.63	30.7	37.5	0.01	1.1	37.5
	26年	0.01	1.0	1.29	43.8	37.5	0.01	1.0	25.0
	平年	0.01	1.1	—	—	26.8	0.13	4.3	36.9
9・3～4	27年	0.08	2.2	0.14	11.1	57.1	0.08	5.7	100.0
	26年	0.36	12.8	0.70	40.4	25.0	0.03	2.3	50.0
	平年	0.07	2.2	—	—	16.7	0.44	6.6	45.7
10・3～4	27年	0.01	0.6	0.08	8.0	57.1	0.06	4.6	100.0
	26年	0.03	0.9	0.70	33.0	28.6	0.03	0.6	28.6
	平年	0.01	0.6	—	—	16.7	0.32	6.2	46.2

注：アザミウマ類の花への寄生状況調査は50花(2花/株×25株)を調査。  
コナジラミ類は例年値。

(13)トウガラシ  
病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	やや多	並
斑点病	-	-	やや少	やや少	並(-)	やや少
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	並	やや少	やや少	多	やや少(-)	並
アザミウマ類	並(-)	やや多	並	並(-)	並(-)	並
ハダニ類	並(-)	並(-)	少(-)	少	並	やや少
タバコガ類	-	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
コナジラミ類	並(-)	並(-)	多	並(-)	やや多	やや多

- : 調査せず、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果(トウガラシ)

(単位：%、頭/葉)

調査時期 (月・半月)	年次	うどんこ病			斑点病			モザイク病		アブラムシ類		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・1～2	27年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	2.0	0.0	0.02	1.6	40.0
	26年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	2.0	20.0	0.00	0.0	0.0
	*例年	0.4	2.3	8.7	-	-	-	0.3	4.6	0.06	1.5	23.3
6・1～2	27年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.80	0.0	20.0
	26年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.40	0.0	20.0
	例年	3.4	6.4	10.3	-	-	-	0.6	0.2	1.91	0.0	37.5
7・1～2	27年	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	20.0	0.0	0.0	0.02	0.4	20.0
	26年	8.4	22.0	40.0	2.0	18.0	20.0	0.0	0.0	0.06	1.2	40.0
	例年	1.8	5.9	22.2	1.1	8.7	27.8	0.0	0.0	0.23	2.9	35.6
8・1～2	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	25.0	0.0	0.0	1.62	9.0	25.0
	26年	0.0	15.0	25.0	9.5	32.5	50.0	0.0	0.0	0.20	5.0	25.0
	例年	2.1	7.6	22.2	4.6	24.8	33.9	1.0	9.7	0.11	2.6	42.2
9・1～2	27年	2.7	16.7	33.3	20.0	36.7	66.7	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	26.7	66.7	66.7	0.0	0.0	0.01	0.7	33.3
	例年	8.4	18.8	29.2	13.3	31.7	41.7	0.0	0.0	0.79	5.9	27.8

調査時期 (月・半月)	年次	アザミウマ類			ハダニ類			タバコガ類		コナジラミ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 果率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・1～2	27年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	-	-	0.00	0.0	0.0
	26年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	-	-	0.02	1.6	20.0
	例年	0.001	0.13	7.29	0.03	1.3	12.9	-	-	0.00	0.4	10.9
6・1～2	27年	0.02	2.0	40.0	0.00	0.0	0.0	-	-	0.00	0.0	0.0
	26年	0.06	4.8	20.0	0.00	0.0	0.0	-	-	0.00	0.0	0.0
	例年	0.02	1.3	15.6	0.01	0.6	8.3	-	-	0.02	1.1	10.3
7・1～2	27年	0.00	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.04	3.6	20.0
	26年	0.04	3.2	20.0	0.00	0.0	0.0	0.4	0.0	0.02	2.4	20.0
	例年	0.02	1.8	27.8	0.06	2.4	21.1	0.1	0.0	0.02	1.7	18.9
8・1～2	27年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.5	25.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	26年	0.06	4.5	25.0	0.03	0.5	25.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	0.01	1.0	11.7	0.04	1.5	24.7	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
9・1～2	27年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.7	33.3	0.0	0.0	0.01	0.7	33.3
	26年	0.01	0.7	33.3	0.06	0.7	33.3	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	0.00	0.1	5.6	0.05	4.3	30.6	0.2	8.3	0.00	0.0	0.0

\*21～26年の平均値

## (14) キャベツ

### 病害虫の発生状況

- ア ベと病：春キャベツ、秋冬キャベツともに発生を認めなかった（平年並）。
- イ 黒腐病：5月に平年比やや多い発生を、9月に平年比多い発生を認めた。
- ウ 菌核病：11月に平年並の発生を認めた以外、調査圃場では発生を認めなかったが（平年並）、3月に周辺圃場で発生を認めた。
- エ アブラムシ類：3月は発生を認めず（平年比やや少ない）、4月、5月は平年並の発生であった。9月の発生は平年比やや多く、10月は平年並、11月は平年比やや多かった。
- オ モンシロチョウ：3月、5月は発生を認めず（平年並）、4月の発生は平年並であった。9月の発生は平年比やや少なく、10月は平年並、11月は平年比やや多かった。
- カ コナガ：3月は発生を認めず（平年並）、4月の発生は平年比やや少なく、5月は平年並であった。9月の発生は平年比やや多く、10月は平年並、11月は平年比やや少なかった。
- キ ハスモンヨトウ：9月、11月は発生を認めず（平年並）、10月は平年並の発生であった。
- ク ヨトウガ：5月は発生を認めなかった（平年並）。9月、11月は発生を認めず（平年並）、10月は平年並の発生であった。
- ケ ウワバ類：3月、5月は発生を認めず（平年並）、4月の発生は平年並であった。9月は発生を認めず（平年比やや少ない）、10月、11月の発生は平年並であった。
- コ アザミウマ類：3月は寄生を認めなかったが、それ以外の月には下葉にネギアザミウマの寄生を認めた。

表1 春キャベツにおける病害虫の発生状況

(25株/ほ場 見取り調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	8.0	66.7
	平年	0.1	1.7	0.0	0.0	1.1	8.3	0.5	2.3	33.7
4・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	6.0	75.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	30.7	100.0
	平年	0.3	5.0	0.0	0.0	0.3	5.0	2.4	15.4	72.0
5・3～4	27年	0.0	0.0	3.0	25.0	0.0	0.0	6.3	31.0	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	43.3	100.0
	平年	0.0	0.0	0.9	7.7	0.0	0.0	10.5	26.3	84.0

調査時期 (月・半旬)	年次	モンシロチョウ			コナガ			ウワバ類		
		幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.03	0.3	3.7	0.0	0.0	0.0
4・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.1	0.7	16.7	0.2	0.7	16.7	0.1	0.7	16.7
	平年	0.0	0.3	6.7	0.1	0.9	20.7	0.0	0.1	1.7
5・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.9	8.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	2.7	19.3	100.0	0.1	0.7	16.7
	平年	0.3	2.4	20.0	1.1	8.0	56.3	0.1	0.6	10.3



調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類	
		寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	27年	0.0	0.0
	26年	0.7	16.7
	平年	—	—
4・3～4	27年	10.0	75.0
	26年	34.0	100.0
	平年	—	—
5・3～4	27年	98.0	100.0
	26年	26.0	100.0
	平年	—	—

表2 秋冬キャベツにおける病害虫の発生状況

(25株/ほ場 見取り調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	27年	0.0	0.0	4.8	20.0	0.0	0.0	1.5	8.0	60.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	2.0	33.3
	平年	0.0	0.0	0.1	1.9	0.0	0.0	3.2	5.4	45.2
10・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.2	3.2	40.0
	26年	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	9.7	10.0	83.3
	平年	0.0	0.0	0.1	3.3	0.0	0.0	2.1	4.6	43.2
11・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	16.7	33.8	12.7	66.7
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	7.3	50.0
	平年	1.9	5.0	6.0	20.3	0.9	12.0	10.3	6.3	43.7

調査時期 (月・半旬)	年次	モンシロチョウ			コナガ			ハスモンヨトウ			
		幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	卵塊数 (/10株)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.3	2.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	2.5	27.0	0.2	1.3	11.9	0.1	1.8	2.3	21.1
10・3～4	27年	0.3	3.2	20.0	0.1	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	4.4	34.2	0.2	1.8	13.5	0.0	0.4	2.5	17.5
11・3～4	27年	1.7	12.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.4	0.0	0.0	0.5	5.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	9.1	44.0	0.5	3.6	26.7	0.0	0.2	1.6	10.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ヨトウガ				ウワバ類			アザミウマ類※	
		卵塊数 (/10株)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.6	80.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.0	83.3
	平年	0.0	0.0	0.1	4.2	0.8	6.0	29.2	—	—
10・3～4	27年	0.0	0.5	0.8	20.0	0.1	0.8	20.0	33.6	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	100.0
	平年	0.0	0.5	1.1	15.0	0.4	2.8	25.8	—	—
11・3～4	27年	0.0	0.00	0.0	0.0	0.2	2.0	16.7	57.3	100.0
	26年	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	平年	0.0	0.03	0.3	5.7	0.9	4.9	34.3	—	—

※ 11月のアザミウマ類は被害株率を調査

### (15) ダイコン

#### 病害虫の発生状況

- ア 黒斑細菌病：調査期間を通じて発生を認めなかった（平年並）。
- イ 白さび病：9月、10月は発生を認めず（平年並）、11月は平年並の発生を認めた。
- ウ モザイク病：10月に発生を認めなかった（平年並）。
- エ アブラムシ類：9月、10月の発生は平年並で、11月は平年比やや少なかった。
- オ コナガ：9月、10月は発生を認めず（平年並）、11月は平年並の発生を認めた。
- カ ハスモンヨトウ：9月に平年比やや多い発生を認めたが、10月、11月は発生を認めなかった（平年並）。
- キ ハイマダラノメイガ：調査期間を通じて発生を認めなかった（9月、10月：平年比やや少ない、11月：平年並）。

表 ダイコンにおける病害虫の発生状況 (25株／ほ場 見取り調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.3	3.0	25.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.3	2.7	66.7
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.4	3.2	43.3
10・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.5	22.0
11・3～4	27年	0.0	0.0	11.2	66.7	—	—	0.4	4.0	80.0
	26年	0.0	0.0	16.0	66.7	—	—	0.2	1.6	40.0
	平年	6.1	16.7	9.9	43.3	—	—	9.5	11.8	67.3

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ				ハイマダラノメイガ		
		幼虫・ 蛹数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	卵塊数 (/10葉)	幼虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.4	10.0	0.0	0.0	0.1	3.3	0.3	2.7	36.7
10・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	2.4	23.3	0.0	0.5	4.8	43.3	2.4	12.5	46.7
11・3～4	27年	0.6	5.6	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.2	1.6	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	平年	1.9	8.7	44.0	0.0	0.1	1.1	13.3	0.9	5.8	35.3

## (16) カブ

### 病害虫の発生状況

- ア ベと病：9月は発生を認めず（例年並）、10月は平年比少なく、11月は平年並の発生であった。
- イ 軟腐病：発生を認めなかった（9月：例年並、10月、11月：平年並）。
- ウ 黒斑病：発生を認めなかった（9月：例年並、10月、11月：平年並）。
- エ 白斑病：発生を認めなかった（9月：例年並、10月、11月：平年並）。
- オ 白さび病：発生を認めなかった（9月：例年並、10月、11月：平年並）。
- カ アブラムシ類：9月の発生は例年比多く、10月は平年並、11月は発生を認めなかった（平年並）。
- キ コナガ：9月、10月は発生を認めず（9月：例年並、10月：平年並）、11月は平年比多い発生を認めた。
- ク ハモグリバエ類：9月は発生を認めず（例年並）、10月は平年比やや少なく、11月は平年比多い発生を認めた。

表 カブにおける病害虫の発生状況

(25株／ほ場 見取り調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	6.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	12.5	0.0	0.0
10・3～4	27年	48.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	28.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7
	平年	45.0	53.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	7.5	0.5	4.2
11・3～4	27年	40.8	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	36.0	60.0	0.0	0.0	0.8	20.0	39.2	25.0	3.2	20.0
	平年	37.0	61.0	0.1	2.5	1.3	14.5	7.2	18.0	1.4	4.5

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	27年	1.1	10.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	2.3	37.5	0.0	0.0	0.0	1.8	25.0
10・3～4	27年	0.40	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7
	26年	0.01	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	2.0	33.3
	平年	0.82	3.3	36.7	0.0	0.2	5.0	5.2	25.8
11・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	2.7	18.4	40.0	34.4	80.0
	26年	0.2	1.6	40.0	0.1	0.0	0.0	21.6	80.0
	平年	7.2	5.9	49.0	0.04	0.4	12.7	14.8	53.0

**(17)ミズナ・ミブナ  
病害虫発生状況**

表1 発生量の例年比較

作物名	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ミズナ	並(-)	やや多	多	並	やや多	並
ミブナ	並	多	少	多	やや少	並
作物名	9月	10月	11月	全期間		
ミズナ	並	並	やや多	やや多		
ミブナ	やや少	多	やや少(-)	やや多		

-:例年比較できず、(-):発生を認めず

表2 ミズナ巡回調査結果 (キスジノミハムシ) (25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	被害 株率 (%)	被害 葉率 (%)	平均 食痕数 (個/葉)	寄生 虫数 (25株当 たり)	平均 葉数 (1株当 たり)	被害 ほ率 (%)
3・1～2	27年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	4.0	0.0
	例年*	1.9	0.6	0.01	0.0	4.0	26.7
4・1～2	27年	16.0	3.4	0.07	0.0	6.7	100.0
	26年	1.3	0.5	0.02	0.0	4.7	33.3
	例年	8.2	1.9	0.18	0.2	5.8	55.6
5・1～2	27年	16.0	4.6	0.05	0.0	4.5	100.0
	26年	4.0	1.0	0.01	0.0	3.7	50.0
	例年	8.2	1.7	0.02	0.0	5.5	61.1
6・1～2	27年	12.0	2.6	0.08	0.0	4.8	50.0
	26年	14.0	6.3	0.16	0.0	5.0	50.0
	例年	8.1	2.3	0.29	0.0	4.4	47.2
7・1～2	27年	32.0	15.0	0.48	0.0	3.7	50.0
	26年	42.0	15.8	0.34	0.0	4.6	50.0
	例年	25.7	8.6	0.72	0.0	4.9	72.2
8・1～2	27年	8.0	4.5	0.17	0.0	3.1	50.0
	26年	22.0	5.5	0.23	0.5	7.0	50.0
	例年	39.0	18.5	0.95	0.1	5.6	77.8
9・1～2	27年	16.0	6.3	0.15	0.0	4.4	50.0
	26年	8.0	2.1	0.07	0.0	4.4	50.0
	例年	32.0	13.1	0.78	0.3	5.2	75.0
10・1～2	27年	8.0	2.4	0.04	0.0	3.4	50.0
	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.2	0.0
	例年	6.8	2.2	0.27	0.0	4.5	66.7
11・1～2	27年	14.0	3.1	0.09	0.0	6.1	50.0
	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	3.2	0.0
	例年	3.3	2.7	0.06	0.0	4.3	16.7

\*3月:22～26年の平均値、4～11月:21～26年の平均値

表3 ミブナ巡回調査結果 (キスジノミハムシ) (25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	被害 株率 (%)	被害 葉率 (%)	平均 食痕数 (個/葉)	寄生 虫数 (25株当 たり)	平均 葉数 (1株当 たり)	被害 ほ率 (%)
3・1～2	27年	2.0	0.8	0.01	0.0	5.2	50.0
	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	4.5	0.0
	例年**	0.8	0.4	0.01	0.0	4.7	10.0
4・1～2	27年	30.0	7.8	0.11	0.0	5.3	100.0
	26年	28.0	6.0	0.09	0.0	7.3	50.0
	例年	16.0	3.4	0.05	0.0	5.8	75.0
5・1～2	27年	2.0	0.5	0.01	0.0	3.9	50.0
	26年	10.0	4.6	0.05	0.0	3.1	100.0
	例年	25.3	9.9	0.15	0.2	3.9	66.7
6・1～2	27年	8.0	5.3	0.07	0.0	2.3	100.0
	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	2.5	0.0
	例年	1.7	0.7	0.02	0.0	3.1	25.0
7・1～2	27年	8.0	5.3	0.05	0.0	3.0	100.0
	26年	6.0	1.5	0.03	0.0	3.6	50.0
	例年	22.4	10.8	0.70	0.2	4.0	60.0
8・1～2	27年	0.0	0.0	0.00	0.0	2.0	0.0
	26年	6.0	2.8	0.11	0.0	5.6	50.0
	例年	18.3	8.4	0.84	0.0	4.5	66.7
9・1～2	27年	4.0	2.4	0.04	0.0	3.3	100.0
	26年	8.0	2.5	0.06	0.0	3.3	100.0
	例年	23.0	10.5	0.70	0.2	3.9	83.3
10・1～2	27年	48.0	19.5	0.34	0.0	3.1	100.0
	26年	6.0	2.0	0.02	0.0	3.0	100.0
	例年	10.0	2.9	0.23	0.0	3.8	75.0
11・1～2	27年	0.0	0.0	0.00	0.0	2.0	0.0
	26年	40.0	14.1	0.26	0.0	3.6	100.0
	例年	14.0	6.6	0.12	0.0	3.7	41.7

\*\*3月:22～26年の平均値、4～11月:21～26年の平均値

**(18) ホウレンソウ****病害虫の発生状況**

ア ベと病：春期、秋期ともに発生を認めなかった（平年並）。

イ アブラムシ類：4月は平年並、10月、11月は発生を認めなかった（10月：平年並、11月：平年比やや少ない）。

ウ ヨトウガ：春期、秋期ともに発生を認めなかった（平年並）。

エ シロオビノメイガ：10月、11月ともに発生を認めなかった（平年並）。

表 巡回調査結果

〈25株調査（％）〉

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		シロオビノメイガ	
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3～4	27年	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	7.0	75.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.3	5.0	5.6	45.0	0.0	0.0	—	—
5・3～4	27年	—	—	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	43.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.3	4.3	32.4	87.4	0.1	1.4	—	—
10・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	平年	0.0	0.0	1.5	22.5	0.1	2.5	0.8	13.3
11・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	2.9	31.7	0.0	0.0	0.4	10.0

(19) ネギ

病害虫の発生状況

- ア さび病：4月は発生を認めず（平年並）、5月は平年比やや多い発生を認めた。6月以降11月までは発生を認めなかった（6月：平年比やや少ない、7～11月：平年並）が、7月には調査株外で発生を認めた。
- イ 黒斑病：4月、6月及び8月以降11月までは発生を認めなかった（いずれも平年並）が、6月、8月、9月、10月には調査ほ場外で発生を認めた。5月の発生は平年並で、7月には平年比多発を認めた。
- ウ アブラムシ類：4月は平年比多く、5月は平年並の発生であった。6月以降11月までは発生を認めなかった（いずれも平年並）。
- エ シロイチモジヨトウ：期間を通じて発生を認めなかった（いずれも平年並）。
- オ ネギハモグリバエ：4月の発生は平年並で、5月以降11月までは平年比少ない発生で推移した（7月のみ平年比やや少ない）。
- カ ネギアザミウマ：4月～6月までは平年比やや多く、7月は平年比多い発生を認め、8月の発生は平年並であった。9月、10月の発生は平年比多く、11月は平年比やや多かった。

表 巡回調査結果

〈25株調査（％）〉

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	虫数 ( 株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.82	7.2	60.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.04	4.0	50.0
	平年	0.6	5.4	0.0	0.0	0.02	1.5	23.8
5・3～4	27年	1.0	25.0	0.0	0.0	0.01	1.0	25.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.08	6.0	50.0
	平年	0.6	5.4	0.0	0.0	0.05	3.9	23.8
6・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	5.1	18.1	0.1	1.3	0.01	0.8	15.0
7・3～4	27年	0.0	0.0	34.0	75.0	0.00	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.1	2.2	0.7	6.0	0.00	0.0	0.0
8・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.4	0.00	0.0	0.0
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.2	2.5	0.002	0.2	2.9
10・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.001	0.1	1.3
11・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.3	0.001	0.1	2.9

調査時期 (月・半旬)	年次	シロイチモジヨトウ			ネギハモグリバエ			ネギアザミウマ		
		虫数 ( 株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	被害度	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	被害度	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2	20.0	36.0	9.6	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	12.0	3.0	75.0	54.0	15.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	5.0	1.3	37.5	11.3	3.1	43.8
5・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	4.0	1.0	75.0	98.0	27.0	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	94.0	45.0	100.0	82.0	48.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	56.2	18.7	40.0	55.2	21.9	43.8
6・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	10.4	3.0	100.0	89.6	57.6	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	52.0	15.5	100.0	81.0	37.5	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	53.4	18.2	85.0	77.2	35.6	96.3
7・3～4	27年	0.000	0.0	0.0	52.0	13.0	75.0	97.0	34.5	100.0
	26年	0.000	0.0	0.0	26.0	7.8	100.0	72.0	26.0	100.0
	平年	0.001	0.1	3.5	69.4	27.8	98.8	38.3	16.5	70.6
8・3～4	27年	0.000	0.0	0.0	24.0	6.0	40.0	8.0	2.0	60.0
	26年	0.000	0.0	0.0	60.0	20.0	100.0	54.0	28.8	100.0
	平年	0.001	0.1	1.3	64.6	23.8	98.6	11.8	5.4	41.9
9・3～4	27年	0.000	0.0	0.0	30.4	7.6	100.0	43.2	11.6	100.0
	26年	0.000	0.0	0.0	78.7	20.0	100.0	1.3	0.3	33.3
	平年	0.006	0.5	14.9	78.5	22.7	100.0	7.3	2.9	27.0
10・3～4	27年	0.000	0.0	0.0	32.8	8.6	80.0	48.8	14.6	80.0
	26年	0.000	0.0	0.0	40.0	10.0	100.0	32.0	8.0	100.0
	平年	0.003	0.3	4.6	71.5	20.4	100.0	13.0	3.5	41.8
11・3～4	27年	0.000	0.0	0.0	4.0	1.0	100.0	40.0	23.3	100.0
	26年	0.000	0.0	0.0	3.0	1.0	50.0	92.0	23.0	100.0
	平年	0.002	0.2	4.1	36.6	10.2	79.5	34.2	9.8	66.8



表 巡回調査結果(大株調査)

〈25株調査(%)〉

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		べと病		えそ条斑病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
5・3～4	27年	2.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
6・3～4	27年	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.3	100.0
	26年	26.0	50.0	52.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
7・3～4	27年	1.3	33.3	49.3	100.0	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	36.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
8・3～4	27年	0.0	0.0	4.0	50.0	2.0	25.0	23.0	100.0
	26年	0.0	0.0	29.0	50.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
9・3～4	27年	0.0	0.0	5.3	66.6	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	2.0	50.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
10・3～4	27年	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	1.0	25.0	35.0	75.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
11・3～4	27年	0.0	0.0	5.3	33.3	0.0	0.0	—	—
	26年	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	ハスモンヨトウ			ネギハモグリバエ			ネギアザミウマ		
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	被害度	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	被害度	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	61.3	16.3	100.0	66.7	19.3	66.6
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11・3～4	27年	0.0	0.0	0.0	34.7	8.7	66.6	96.0	49.0	100.0
	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## 2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

### (1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年値等	H27	平年値等	H27	平年値等
ヒメビウンカ (60W)	1	2.1	0	0.9	4	10.3
セジロウンカ (60W)	14	15.3	1	20.2	163	125.7
トビイロウンカ (60W)	0	8.7	0	10.6	0	53.9
ツマグロヨコバイ (60W)	28	111.5	0	1110.1	5	257.8
イネミズゾウムシ (60W)	29	61.7	458	59.9	97	121.9
アオクサカメムシ (60W)	1	2.1	3	2.9	0	1.7
チャバネアオカメムシ (60W)	3	30.7	3	7.8	8	37.2
チャバネアオカメムシ (BL)	5	169.1	7	23.1	85	194.9
クサキカメムシ (60W)	4	4.2	2	1.9	16	8.3
クサキカメムシ (BL)	5	20.8	1	3.2	87	52.1
イチモンジカメムシ (60W)	0	0.7	1	5.3	0	2.1
イネクロカメムシ (60W)	11	125.5	0	0.2	0	1.5
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.2	1	2.8	0	4.7
シラホシカメムシ (60W)	0	0.5	0	0.8	0	0.9
アカヒゲホリミドリカスミカメ (60W)	11	25.8	18	50.7	51	154.9
アカスジカスミカメ (60W)	3	3.6	40	95.8	66	194.9
ツマグロアオカスミカメ (60W)	24	29.1	2	12.9	10	29.0
フタオビコヤガ (60W)	18	33.0	17	37.0	62	162.2
ニカメイガ (60W)	0	0.4	0	0.6	1	2.5
コナガ (60W)	25	18.4	35	76.6	18	34.7
シロオビノメイガ (60W)	4	1.8	2	11.4	1	21.2
ドウガネブイブイ (BL)	433	369.1	121	80.5	178	529.2
クロコガネ (BL)	30	68.4	5	15.9	51	28.1
ヒメコガネ (BL)	4,454	3758.2	45	23.3	446	1559.7
アカビロウドコガネ(BL)	142	75.2	12	13.3	67	29.3

注：数字は調査期間内(4～10月)の総誘殺数(頭)

：平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ヒメビウナカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.1	0	0.0	0	0.2
8・1	0	0.3	0	0.0	0	2.5
2	0	0.2	0	0.0	0	0.2
3	0	0.1	0	0.1	0	2.1
4	0	0.2	0	0.0	1	1.2
5	1	0.4	0	0.2	0	0.9
6	0	0.0	0	0.2	0	1.2
9・1	0	0.2	0	0.1	1	0.2
2	0	0.3	0	0.1	1	0.1
3	0	0.0	0	0.0	1	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	2.1	0	0.9	4	10.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

セジロウナカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.5	0	0.0
5	0	0.5	0	0.3	0	0.0
6	0	0.0	0	1.1	0	1.7
7・1	0	0.9	0	1.9	0	3.7
2	0	0.4	0	0.3	0	1.3
3	0	0.7	0	0.9	0	4.2
4	0	0.2	1	0.8	0	1.6
5	1	0.9	0	2.2	1	10.9
6	2	1.3	0	1.2	0	2.2
8・1	5	1.3	0	1.1	0	7.1
2	1	0.8	0	0.9	0	3.6
3	0	0.5	0	2.7	5	13.2
4	1	0.5	0	1.7	2	4.7
5	0	2.5	0	1.2	3	10.9
6	1	2.7	0	0.7	1	24.5
9・1	0	0.6	0	0.7	4	4.6
2	1	0.0	0	0.6	123	5.7
3	0	0.3	0	0.2	16	8.5
4	1	0.2	0	0.3	6	6.9
5	1	0.5	0	0.4	2	4.3
6	0	0.0	0	0.2	0	3.3
10・1	0	0.1	0	0.2	0	1.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.7
3	0	0.1	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.1	0	0.0	0	0.3
計	14	15.3	1	20.2	163	125.7

トビイロウナカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0
5	0	0.3	0	0.4	0	0.9
6	0	0.8	0	0.3	0	1.1
9・1	0	0.1	0	0.2	0	1.1
2	0	0.5	0	0.3	0	0.5
3	0	2.3	0	1.2	0	7.7
4	0	0.2	0	1.0	0	9.5
5	0	2.1	0	1.1	0	6.4
6	0	0.1	0	0.8	0	9.3
10・1	0	0.2	0	2.4	0	7.3
2	0	0.7	0	2.8	0	4.5
3	0	0.6	0	0.4	0	3.6
4	0	0.4	0	0.0	0	1.2
5	0	0.1	0	0.0	0	0.5
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	8.7	0	10.6	0	53.9

ツマグロヨコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	1	0.7	0	0.1	0	0.2
3	0	0.6	0	0.2	0	4.2
4	0	0.2	0	0.5	0	1.4
5	0	0.1	0	0.8	0	0.8
6	0	0.1	0	3.2	0	5.4
7・1	0	0.2	0	3.0	0	11.5
2	0	0.3	0	3.6	0	16.1
3	0	1.4	0	1.4	0	5.0
4	7	2.4	0	2.1	0	3.9
5	2	4.4	0	4.6	0	5.1
6	1	6.7	0	3.1	0	15.1
8・1	0	6.2	0	2.6	2	76.3
2	2	4.6	0	1.7	1	9.8
3	3	5.0	0	1.1	0	2.7
4	1	4.8	0	0.5	0	0.9
5	5	3.7	0	0.3	0	0.1
6	4	5.5	0	1.2	0	0.8
9・1	2	11.0	0	6.0	1	4.5
2	0	15.3	0	25.4	1	67.1
3	0	19.7	0	496.6	0	15.0
4	0	9.4	0	543.3	0	10.3
5	0	8.3	0	5.7	0	1.2
6	0	0.2	0	1.1	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.3	0	0.0
2	0	0.2	0	0.4	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.3	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
計	28	111.5	0	1110.1	5	257.8

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	1.3	0	1.3
5・1	1	0.0	9	6.0	0	4.4
2	0	0.0	25	14.4	0	5.9
3	1	0.0	177	4.1	31	3.6
4	0	0.2	37	16.1	0	13.1
5	0	1.1	10	12.8	5	2.2
6	0	0.7	15	5.2	18	9.3
6・1	0	0.7	4	3.0	11	4.6
2	0	0.4	1	2.1	0	3.1
3	0	0.7	9	0.5	3	2.7
4	0	0.4	3	0.5	0	1.6
5	0	0.8	0	0.2	0	2.4
6	0	0.0	0	0.4	0	4.6
7・1	0	0.1	0	0.6	0	2.2
2	0	0.3	0	0.6	0	5.3
3	0	0.3	0	2.4	0	2.2
4	4	2.6	34	20.8	0	6.8
5	1	13.0	33	29.0	3	14.5
6	4	12.1	60	32.7	15	11.9
8・1	5	7.3	28	23.3	10	9.2
2	4	7.0	12	11.9	0	7.4
3	4	4.8	0	9.9	0	1.3
4	1	7.2	0	4.5	0	1.4
5	4	1.2	0	1.2	0	0.6
6	0	0.7	1	0.6	1	0.0
9・1	0	0.0	0	0.4	0	0.1
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	29	61.7	458	59.9	97	121.9

アオクサカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.4	0	0.3	0	0.0
8・1	0	0.2	2	0.3	0	0.0
2	0	0.1	1	0.0	0	0.3
3	0	0.3	0	0.2	0	0.3
4	0	0.0	0	0.2	0	0.3
5	1	0.0	0	0.2	0	0.3
6	0	0.0	0	0.2	0	0.1
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.3	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	2.1	3	2.9	0	1.7

チャパネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	1.9
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	1.3
3	0	0.0	0	0.3	0	0.0	1	0.0	1	0.3	4	0.5
4	0	0.3	0	0.7	0	0.0	0	0.0	0	1.1	0	12.2
5	0	1.7	0	2.8	0	0.3	0	0.1	0	0.9	0	2.2
6	0	0.4	0	4.2	0	0.0	1	0.2	1	0.2	1	1.5
6・1	0	0.0	0	2.6	0	0.0	0	0.2	0	0.2	1	1.8
2	0	0.2	0	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2	1	0.4
3	0	0.3	0	1.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	4	2.2
4	0	0.1	0	0.3	0	0.0	0	0.2	1	0.7	0	1.6
5	1	0.3	0	2.5	0	0.0	0	0.3	1	0.7	2	1.4
6	0	0.6	0	3.3	0	0.1	0	0.4	0	1.3	0	7.1
7・1	0	1.4	0	9.6	0	0.4	0	0.2	0	1.3	0	5.0
2	0	2.0	1	18.2	0	0.1	0	0.5	0	2.0	0	12.9
3	0	2.2	0	27.3	0	0.0	0	1.0	1	6.2	3	16.2
4	0	10.0	0	31.8	0	0.6	0	1.6	0	2.1	1	11.1
5	0	1.3	1	24.9	0	0.1	0	0.9	0	1.5	0	12.4
6	0	1.9	0	17.1	0	0.2	1	1.3	0	0.9	0	9.6
8・1	0	1.8	0	4.8	0	0.3	0	1.9	0	1.1	2	9.9
2	0	2.3	1	5.9	0	0.4	1	4.5	0	0.7	4	11.1
3	0	1.2	0	3.8	0	0.9	0	2.6	0	8.1	7	14.8
4	0	2.0	0	1.9	0	1.7	0	2.7	0	2.1	17	12.7
5	0	0.2	0	1.1	2	0.7	1	0.5	2	1.1	24	5.8
6	0	0.3	2	0.5	1	0.9	0	0.7	0	1.1	4	9.7
9・1	1	0.0	0	0.3	0	0.7	0	0.7	0	0.9	2	12.8
2	1	0.0	0	0.7	0	0.2	0	1.4	0	0.5	0	5.7
3	0	0.0	0	0.9	0	0.0	0	0.3	0	0.2	0	4.0
4	0	0.0	0	1.1	0	0.1	0	0.3	0	0.7	0	2.8
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.2	6	1.9
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.0	2	1.2
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.1	0	0.4
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.2	0	0.5
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3	30.7	5	169.1	3	7.8	7	23.1	8	37.2	85	194.9

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クサギカメシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	H27	平年	H27	例年	H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.2	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.3	0	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.8
7・1	0	0.1	0	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.5
2	0	0.1	0	0.6	0	0.0	0	0.1	2	0.0	1	2.4
3	0	1.0	1	2.6	0	0.0	0	0.3	0	0.4	3	4.0
4	0	0.5	1	3.1	0	0.4	0	0.1	0	0.6	2	2.5
5	0	0.4	0	1.8	0	0.1	0	0.1	3	0.6	1	2.9
6	0	0.2	0	2.8	0	0.0	1	0.3	1	1.0	3	5.4
8・1	1	0.5	0	1.8	0	0.3	0	0.7	1	1.1	8	6.8
2	0	0.0	1	0.6	0	0.3	0	0.7	1	0.8	12	4.0
3	0	0.3	1	1.4	0	0.1	0	0.1	1	0.8	11	5.4
4	0	0.2	0	1.7	0	0.6	0	0.1	1	0.5	17	4.1
5	0	0.1	0	0.9	1	0.0	0	0.1	3	0.6	22	2.5
6	3	0.0	1	0.5	1	0.0	0	0.4	2	0.5	1	4.4
9・1	0	0.0	0	0.4	0	0.0	0	0.0	1	0.2	2	2.1
2	0	0.1	0	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.6
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	2	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4	4.2	5	20.8	2	1.9	1	3.2	16	8.3	87	52.1

イチモンジカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.3	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.6	0	0.2
5	0	0.0	0	0.3	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.4
3	0	0.0	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.2	0	0.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.6	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.5	0	0.0
2	0	0.1	0	0.3	0	0.1
3	0	0.2	0	0.5	0	0.0
4	0	0.0	0	0.3	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.3	0	0.0
10・1	0	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.7	1	5.3	0	2.1

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネクロカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.6	0	0.0	0	0.0
6	1	2.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	3.3	0	0.0	0	0.0
2	0	10.9	0	0.0	0	0.1
3	2	12.2	0	0.0	0	0.2
4	1	9.0	0	0.1	0	0.1
5	1	9.7	0	0.0	0	0.1
6	0	4.1	0	0.1	0	0.2
7・1	0	3.4	0	0.0	0	0.1
2	0	2.1	0	0.0	0	0.0
3	1	1.3	0	0.0	0	0.0
4	0	2.6	0	0.0	0	0.0
5	0	4.0	0	0.0	0	0.0
6	0	4.6	0	0.0	0	0.0
8・1	0	2.9	0	0.0	0	0.2
2	0	4.3	0	0.0	0	0.2
3	0	2.0	0	0.0	0	0.1
4	0	1.1	0	0.0	0	0.2
5	0	0.4	0	0.0	0	0.0
6	0	4.6	0	0.0	0	0.0
9・1	0	5.0	0	0.0	0	0.0
2	1	5.8	0	0.0	0	0.0
3	0	10.7	0	0.0	0	0.0
4	0	12.4	0	0.0	0	0.0
5	4	4.3	0	0.0	0	0.0
6	0	1.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.6	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	11	125.5	0	0.2	0	1.5

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.3	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	1	0.1	0	0.3
2	0	0.0	0	0.3	0	0.7
3	0	0.0	0	0.3	0	1.0
4	0	0.0	0	0.4	0	0.6
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.1	0	0.1	0	0.3
9・1	0	0.0	0	0.4	0	0.2
2	0	0.0	0	0.2	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.3	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.2	1	2.8	0	4.7



シラホシカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.5	0	0.8	0	0.9

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

アカヒゲホソドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.6
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.5
6	0	0.3	0	0.0	0	0.3
6・1	0	0.3	1	0.0	0	0.3
2	0	2.9	1	1.5	0	2.0
3	0	1.6	8	3.5	16	6.8
4	3	2.0	4	7.0	17	17.1
5	0	2.1	0	7.1	6	22.0
6	0	1.0	0	5.9	1	29.0
7・1	1	1.7	0	5.4	3	16.8
2	0	3.8	1	7.4	1	11.0
3	2	3.4	0	4.4	2	9.8
4	0	2.3	2	2.4	0	8.4
5	2	1.1	0	1.9	1	6.1
6	0	0.7	0	0.2	0	4.0
8・1	0	0.8	0	0.0	0	1.8
2	0	0.4	0	0.0	0	2.7
3	0	0.1	1	0.1	0	1.8
4	0	0.0	0	1.0	2	1.7
5	0	0.1	0	0.3	1	1.2
6	1	0.3	0	0.6	0	2.0
9・1	0	0.0	0	0.3	0	1.4
2	1	0.0	0	0.4	0	1.2
3	0	0.2	0	0.2	1	1.5
4	0	0.0	0	0.0	0	1.7
5	1	0.0	0	0.3	0	0.8
6	0	0.1	0	0.0	0	0.3
10・1	0	0.2	0	0.0	0	0.6
2	0	0.1	0	0.0	0	0.6
3	0	0.2	0	0.2	0	0.4
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.2	0	0.1
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	11	25.8	18	50.7	51	154.9

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	4	0.0
4	0	0.0	0	0.4	0	0.1
5	0	0.0	0	0.8	2	0.6
6	0	0.0	3	1.1	5	1.8
6・1	0	0.0	1	0.9	3	4.8
2	0	0.0	1	2.2	0	3.6
3	0	0.2	15	1.3	1	4.0
4	0	0.1	8	3.3	4	6.9
5	0	0.0	0	3.0	7	11.0
6	0	0.2	1	9.5	1	25.8
7・1	0	0.2	4	8.1	5	22.4
2	0	0.2	1	9.1	0	21.4
3	1	0.4	3	4.4	3	12.0
4	1	0.1	0	2.6	2	7.2
5	1	0.2	0	1.8	2	7.4
6	0	0.6	0	1.4	1	8.6
8・1	0	0.4	0	1.8	4	8.3
2	0	0.1	1	1.0	0	7.6
3	0	0.2	1	2.0	2	3.7
4	0	0.1	0	4.3	0	5.2
5	0	0.0	0	4.0	0	4.0
6	0	0.0	0	4.2	5	3.8
9・1	0	0.0	0	3.8	0	3.7
2	0	0.0	0	5.6	2	3.4
3	0	0.1	0	5.7	1	4.9
4	0	0.1	0	5.9	3	3.8
5	0	0.1	1	3.5	8	2.2
6	0	0.2	0	0.7	0	1.8
10・1	0	0.0	0	1.7	0	2.3
2	0	0.0	0	1.2	1	1.4
3	0	0.0	0	0.1	0	0.9
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.2	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	3	3.6	40	95.8	66	194.9

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロアオカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	2	0.0
5	0	0.3	0	0.3	0	0.5
6	0	0.0	1	0.4	0	0.5
6・1	0	0.0	0	0.4	0	1.4
2	0	0.1	0	0.2	0	1.9
3	0	0.0	0	0.8	0	0.7
4	0	0.1	0	0.1	0	1.2
5	0	0.0	0	0.3	0	1.6
6	0	0.2	0	0.4	0	1.6
7・1	0	0.1	0	0.9	0	0.6
2	0	0.5	0	0.3	0	1.7
3	0	0.1	0	0.4	0	1.1
4	0	0.1	0	0.2	0	1.7
5	0	0.3	0	0.1	0	1.6
6	0	0.2	0	0.2	0	1.6
8・1	0	0.1	0	0.2	0	0.9
2	0	0.1	0	0.1	0	0.2
3	0	0.1	0	0.0	0	0.5
4	0	0.3	0	0.4	0	0.2
5	2	0.4	0	0.0	0	0.4
6	1	0.7	0	0.1	1	0.6
9・1	3	1.0	1	0.5	2	0.2
2	9	2.5	0	0.7	1	0.5
3	0	2.7	0	0.4	0	0.4
4	0	2.5	0	0.6	0	0.6
5	0	3.8	0	0.6	2	1.2
6	0	0.6	0	0.1	0	0.6
10・1	3	2.7	0	0.6	0	0.8
2	0	1.6	0	0.8	0	0.6
3	0	1.5	0	0.9	2	0.8
4	1	1.6	0	0.7	0	0.7
5	2	2.9	0	0.8	0	0.6
6	3	1.9	0	0.6	0	1.5
計	24	29.1	2	12.9	10	29.0

フタオビコヤガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	2	0.1	0	0.1
3	0	0.1	0	0.3	1	0.1
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	1	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.6	0	0.0	0	0.2
4	0	0.3	0	0.1	0	0.4
5	0	0.3	0	0.2	1	1.3
6	0	0.1	0	0.1	0	1.6
7・1	0	0.1	0	0.2	0	0.6
2	0	0.2	1	0.6	0	0.2
3	0	0.7	0	1.2	1	3.0
4	0	0.7	0	2.6	2	6.8
5	2	1.1	1	4.6	2	9.0
6	0	2.2	1	3.4	4	8.3
8・1	0	2.6	0	3.2	0	5.1
2	1	5.2	5	2.1	0	12.7
3	1	4.3	3	4.3	3	21.7
4	2	4.6	2	6.7	6	27.2
5	3	5.4	1	3.5	20	26.6
6	5	2.8	0	2.6	16	24.4
9・1	0	0.9	0	0.6	3	9.1
2	0	0.1	0	0.1	2	2.0
3	3	0.1	0	0.0	0	1.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.2	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	1	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	18	33.0	17	37.0	62	162.2

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	1	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.4	0	0.6	1	2.5

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	2	0.0	0	0.2	0	0.1
2	0	0.2	2	0.1	0	0.1
3	1	0.1	1	0.6	0	0.3
4	0	0.0	2	0.2	0	0.3
5	0	0.1	1	0.3	0	0.3
6	0	0.4	0	0.2	0	0.5
5・1	0	0.7	2	0.8	0	0.1
2	1	1.0	1	1.5	0	0.4
3	1	1.1	2	1.3	1	1.7
4	3	2.1	1	4.8	0	0.8
5	2	0.6	0	5.0	0	1.6
6	9	1.4	0	1.8	2	1.4
6・1	1	0.8	0	1.8	0	1.4
2	0	0.9	0	1.4	1	1.1
3	1	1.6	2	1.6	1	2.9
4	0	1.1	3	5.7	3	2.3
5	0	0.9	2	6.5	2	2.7
6	0	0.8	0	10.3	1	2.9
7・1	1	0.7	3	7.9	3	3.2
2	0	0.2	4	8.0	0	2.0
3	0	0.2	2	4.7	1	0.9
4	0	0.1	3	3.9	1	1.7
5	0	0.2	1	1.9	0	0.4
6	0	0.3	0	1.3	0	0.5
8・1	0	0.1	0	0.9	0	0.6
2	0	0.7	0	0.6	0	0.2
3	2	0.1	0	0.1	0	0.5
4	1	1.0	2	0.9	0	0.4
5	0	0.5	0	0.6	0	0.1
6	0	0.1	0	0.5	0	0.3
9・1	0	0.1	0	0.1	1	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	0	0.1	0	0.1	0	0.4
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	1	0.4
6	0	0.1	0	0.2	0	0.7
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	1	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.4
4	0	0.0	0	0.3	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	25	18.4	35	76.6	18	34.7

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.2	0	0.0
6	0	0.1	0	0.3	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.1	1	0.4	0	0.5
4	0	0.0	1	0.2	0	0.2
5	1	0.3	0	0.7	0	0.8
6	0	0.4	0	0.7	0	0.8
9・1	0	0.1	0	0.2	0	0.4
2	1	0.0	0	0.8	0	1.2
3	0	0.1	0	0.9	0	1.5
4	1	0.1	0	1.8	0	2.2
5	1	0.0	0	0.9	1	2.8
6	0	0.2	0	0.2	0	3.2
10・1	0	0.0	0	0.8	0	2.6
2	0	0.0	0	1.1	0	2.4
3	0	0.1	0	0.6	0	0.7
4	0	0.1	0	0.7	0	0.4
5	0	0.0	0	0.8	0	0.3
6	0	0.0	0	0.2	0	0.5
計	4	1.8	2	11.4	1	21.2

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	3	0.0	0	0.0	0	0.2
6	14	0.4	0	0.0	4	0.1
6・1	10	1.9	0	0.3	4	0.5
2	12	3.7	0	0.4	2	0.9
3	30	8.2	1	0.6	5	2.7
4	13	9.8	1	1.6	7	4.2
5	38	14.1	12	2.3	18	10.9
6	6	21.2	2	4.2	10	22.9
7・1	19	17.9	1	3.0	11	26.2
2	16	34.2	8	8.0	27	51.0
3	40	32.0	8	5.6	25	54.9
4	33	43.5	10	6.5	7	51.5
5	25	37.2	23	8.2	6	47.5
6	42	37.7	38	8.9	5	49.9
8・1	53	27.0	0	7.6	14	44.5
2	23	21.5	5	6.5	16	46.0
3	20	14.9	2	5.0	5	33.3
4	8	15.2	2	4.5	3	31.9
5	15	10.2	5	2.0	7	15.2
6	11	9.6	2	1.4	2	18.6
9・1	0	2.9	0	2.2	0	8.3
2	2	3.4	0	1.0	0	4.0
3	0	1.0	1	0.5	0	2.0
4	0	0.9	0	0.1	0	1.4
5	0	0.4	0	0.0	0	0.4
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	433	369.1	121	80.5	178	529.2

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クロコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	1	0.1
2	1	0.0	0	0.1	1	0.2
3	0	0.0	0	0.2	18	0.2
4	0	0.0	0	1.0	8	2.7
5	1	0.2	0	1.1	1	2.6
6	1	0.2	0	1.1	4	1.1
6・1	0	0.5	1	0.2	2	2.5
2	2	1.5	0	0.6	1	2.0
3	0	1.8	0	0.5	1	1.7
4	2	4.1	0	0.7	2	0.9
5	4	4.8	0	0.9	3	1.4
6	0	6.6	0	1.2	2	2.0
7・1	1	5.1	0	1.6	0	2.0
2	3	4.4	1	0.8	4	1.9
3	4	6.0	1	1.9	1	1.1
4	1	4.3	0	1.0	0	0.6
5	0	2.5	0	1.4	0	0.8
6	2	15.8	2	0.5	0	0.7
8・1	2	1.6	0	0.2	2	0.4
2	0	2.4	0	0.1	0	0.8
3	0	1.9	0	0.3	0	0.2
4	0	0.4	0	0.0	0	1.1
5	2	1.4	0	0.0	0	0.2
6	1	0.9	0	0.1	0	0.2
9・1	2	0.8	0	0.1	0	0.6
2	1	0.9	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	30	68.4	5	15.9	51	28.1

## ヒメコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.3	0	0.0	0	0.4
2	6	1.2	0	0.0	0	1.9
3	9	3.3	0	0.0	2	0.3
4	23	7.8	1	0.0	3	1.8
5	56	26.0	3	0.5	10	7.8
6	32	40.9	0	0.6	10	20.8
7・1	88	58.9	2	0.7	20	38.1
2	171	110.6	3	2.0	25	91.6
3	154	164.1	9	2.2	72	174.4
4	184	228.7	5	2.3	10	226.0
5	249	310.6	3	2.9	14	235.9
6	592	439.2	13	3.2	74	258.2
8・1	716	428.9	0	2.7	110	181.8
2	435	444.7	2	2.0	34	139.0
3	548	373.1	1	1.6	33	87.4
4	416	339.0	2	1.0	18	49.8
5	302	292.3	1	0.6	9	24.4
6	241	217.2	0	0.3	1	15.5
9・1	159	113.9	0	0.4	1	4.1
2	36	74.8	0	0.1	0	0.3
3	28	52.7	0	0.0	0	0.2
4	4	18.5	0	0.0	0	0.0
5	3	8.3	0	0.2	0	0.0
6	2	2.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.8	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4,454	3,758	45	23.3	446	1,560

## アカビロウドコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	2	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.2	1	0.3
6	0	0.0	2	0.0	0	0.4
6・1	0	0.1	0	0.0	0	1.1
2	1	0.4	0	0.1	0	0.5
3	0	0.2	0	0.2	0	0.1
4	5	0.9	0	0.0	2	0.6
5	8	1.6	1	0.6	13	0.6
6	1	3.7	0	0.8	9	2.6
7・1	9	4.7	2	1.0	0	2.5
2	20	10.0	0	1.9	19	3.7
3	24	9.7	0	2.5	15	4.0
4	19	7.4	0	1.2	3	3.9
5	11	7.1	3	1.2	0	2.2
6	15	7.1	1	0.9	1	3.2
8・1	3	5.1	0	0.5	1	0.9
2	2	2.4	0	0.2	1	0.3
3	3	2.3	0	0.3	0	0.2
4	2	1.9	0	0.2	0	0.7
5	4	1.3	0	0.4	0	0.3
6	2	3.3	0	0.3	0	0.5
9・1	2	0.9	0	0.4	0	0.2
2	2	0.6	0	0.1	1	0.0
3	4	0.7	1	0.1	0	0.2
4	0	0.9	0	0.0	0	0.1
5	5	1.5	0	0.1	0	0.1
6	0	0.7	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	142	75.2	12	13.3	67	29.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

(2) 誘引剤トラップの調査結果

	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
チャバネアオカメムシ	1.0	49.9	107.6	126.1	9.8	66.1
コナガ	—	—	150.4	495.2	26.6	162.5
ハスモンヨトウ	779.7	1550.6	1292.0	2229.0	826.0	1153.7
タバコガ	18.7	36.4	44.1	69.0	4.9	43.2
オオタバコガ	15.0	32.9	94.9	338.1	0.0	11.9

\* 5月～10月の総誘殺数、コナガは4月～10月の総誘殺数。

\* 平成22年に亀岡市のハスモンヨトウのフェロモントラップの種類及び設置場所を変更した。

	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
チャノコカクモンハマキ	2523.4	4634.5	3121.0	3450.1	32.1	—
チャノホソガ	6007.2	12444.3	17689.7	8192.4	4457.0	—

\* 4月～10月の総誘殺数。

\* 平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャバネアオカメムシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
5・1	0.0	0.0	6.4	0.6	0.7	0.1
2	0.0	0.1	3.0	1.0	0.7	0.1
3	0.0	0.1	2.4	1.1	0.4	0.7
4	0.0	0.4	2.9	1.5	0.0	1.8
5	0.0	0.7	4.2	3.2	0.0	1.6
6	0.7	0.7	5.1	2.1	0.0	0.5
6・1	0.3	0.9	2.1	2.4	0.0	0.5
2	0.0	0.2	1.0	1.9	0.0	0.3
3	0.0	0.5	2.1	1.1	0.0	1.3
4	0.0	1.1	2.1	1.0	0.6	1.1
5	0.0	0.7	3.6	1.0	0.7	0.5
6	0.0	1.3	5.7	2.5	0.7	0.7
7・1	0.0	3.2	4.2	4.1	0.8	1.6
2	0.0	4.6	5.4	6.1	0.7	2.4
3	0.0	6.0	3.4	9.0	0.4	3.4
4	0.0	3.5	0.7	8.7	0.7	6.4
5	0.0	3.8	1.1	8.3	0.3	3.2
6	0.0	5.3	1.1	8.2	0.0	5.1
8・1	0.0	3.1	0.0	11.3	0.0	5.3
2	0.0	4.7	6.4	9.3	0.0	4.6
3	0.0	4.5	4.7	8.9	0.0	3.9
4	0.0	2.3	3.9	9.9	0.0	5.9
5	0.0	1.4	5.0	6.8	0.0	7.1
6	0.0	0.5	2.7	3.6	0.0	2.1
9・1	0.0	0.1	3.7	2.8	0.0	1.5
2	0.0	0.0	1.7	2.0	0.0	0.7
3	0.0	0.1	1.7	1.0	0.0	1.1
4	0.0	0.0	3.2	1.1	0.6	0.6
5	0.0	0.0	3.3	0.9	0.7	0.2
6	0.0	0.0	2.9	0.6	0.7	0.3
10・1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.7	0.2
2	0.0	0.1	2.5	0.6	0.3	0.2
3	0.0	0.1	3.6	0.9	0.0	0.3
4	0.0	0.0	2.9	1.2	0.0	0.3
5	0.0	0.0	2.1	0.5	0.0	0.3
6	0.0	0.0	0.9	0.7	0.0	0.4
5～10月計	1.0	49.9	107.6	126.1	9.8	66.1

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

コナガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年
4・1	2.5	3.2	0.7	5.2
2	3.3	6.3	0.3	6.1
3	5.7	4.4	0.7	7.5
4	7.1	3.6	2.9	5.8
5	3.7	2.3	1.6	5.6
6	1.7	4.7	0.6	7.0
5・1	2.9	3.9	0.0	5.2
2	1.1	10.3	0.0	8.5
3	1.0	10.4	1.4	12.7
4	1.4	36.3	3.6	12.6
5	4.2	42.2	0.8	15.2
6	4.4	33.3	1.6	15.9
6・1	4.4	25.5	0.6	6.2
2	6.1	32.5	0.0	5.6
3	10.7	38.5	0.0	4.3
4	15.3	52.4	0.6	5.4
5	13.6	42.3	2.4	4.4
6	9.3	31.8	5.0	4.1
7・1	12.5	28.3	0.0	2.5
2	12.2	21.9	0.6	1.5
3	14.3	13.1	0.4	1.0
4	0.7	8.2	0.0	0.8
5	1.6	4.9	0.0	0.9
6	1.7	5.5	0.0	0.8
8・1	0.0	3.1	0.0	0.3
2	5.0	1.7	0.0	0.5
3	2.0	2.4	0.0	0.3
4	0.0	2.8	0.0	0.2
5	0.0	2.5	0.0	0.5
6	0.0	1.3	0.0	0.4
9・1	0.7	0.9	0.0	0.4
2	0.3	0.7	0.0	0.2
3	0.0	0.7	0.0	0.4
4	0.0	0.8	0.0	0.5
5	0.0	1.2	0.0	0.9
6	0.0	2.0	0.0	1.1
10・1	0.7	1.3	0.0	1.0
2	0.3	1.1	0.0	1.6
3	0.0	2.0	0.0	1.6
4	0.0	2.0	0.0	2.2
5	0.0	1.6	1.4	2.5
6	0.0	1.4	1.4	3.3
4～10月計	150.4	495.2	26.6	162.5

ハスモンヨトウ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年 (参考)	H27	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	4.3	-	0.0	-
5	0.4	-	14.1	-	0.4	-
6	1.3	-	18.6	-	0.6	-
5・1	3.6	2.4	10.0	0.2	0.0	0.5
2	2.4	2.2	3.7	1.5	2.9	0.8
3	1.9	1.8	2.1	1.5	3.3	0.9
4	1.4	3.4	2.1	1.5	2.9	1.4
5	3.3	4.1	3.3	6.8	0.8	3.1
6	5.7	6.5	5.7	6.6	2.3	3.2
6・1	4.1	5.8	8.4	4.2	8.6	3.0
2	3.6	6.3	10.6	5.2	12.3	3.8
3	3.6	8.4	10.0	9.0	10.0	5.7
4	4.1	11.4	6.0	15.0	3.7	6.7
5	15.1	12.6	27.3	6.9	27.6	10.1
6	31.4	14.9	60.7	6.5	65.7	17.3
7・1	15.8	18.5	43.3	9.0	57.5	22.0
2	7.2	18.4	20.1	16.6	21.8	23.4
3	11.0	19.7	17.6	22.5	10.7	26.0
4	12.1	27.2	23.6	33.4	15.7	26.9
5	10.0	25.7	28.7	37.1	19.6	24.1
6	12.9	40.0	54.3	42.9	28.9	27.7
8・1	15.0	27.2	71.4	29.6	27.9	27.6
2	53.6	29.8	130.7	34.4	44.3	26.6
3	41.1	27.0	80.1	38.5	37.9	32.5
4	29.7	31.7	37.6	35.5	31.0	41.3
5	17.1	51.1	2.1	67.8	20.7	40.1
6	30.9	63.4	3.8	91.1	20.8	43.9
9・1	41.5	71.9	75.3	87.3	29.3	35.0
2	73.0	68.8	103.3	115.1	59.5	46.1
3	38.3	71.1	98.3	127.0	69.1	60.8
4	19.7	76.3	23.1	152.7	30.0	63.3
5	18.4	76.0	5.7	205.8	21.3	61.3
6	23.6	78.1	7.9	179.3	22.1	60.3
10・1	48.6	81.2	27.1	126.7	29.3	72.3
2	37.9	97.3	58.4	125.5	27.2	70.9
3	27.6	114.3	67.5	176.9	20.6	78.5
4	22.9	113.6	50.0	177.4	12.9	60.7
5	39.3	99.0	47.1	106.3	13.6	56.1
6	52.3	143.6	65.1	125.3	14.2	69.9
5～10月計	779.7	1550.6	1292.0	2229.0	826.0	1153.7

平成22年に亀岡市のフェロモントラップの設置場所を変更した。



タバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0.7	—	0.0	—	0.0	—
2	0.0	—	0.0	—	0.0	—
3	0.0	—	0.0	—	0.0	—
4	0.0	—	0.0	—	0.0	—
5	0.0	—	0.0	—	0.0	—
6	0.0	—	0.0	—	0.1	—
5・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.7	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.2
5	0.8	0.1	2.5	1.0	0.0	0.1
6	0.2	0.1	0.5	1.0	0.7	0.1
6・1	0.0	0.2	0.0	0.7	0.3	0.1
2	0.0	0.1	0.0	0.9	0.0	0.0
3	0.0	0.3	0.0	0.8	0.0	0.1
4	0.0	0.5	0.6	1.2	0.6	0.1
5	0.0	0.3	0.4	1.6	0.4	0.0
6	0.0	0.3	0.0	1.2	0.0	0.1
7・1	0.0	0.2	0.0	0.9	0.0	0.2
2	0.6	0.4	0.6	1.0	0.0	0.4
3	0.4	0.9	0.4	1.0	0.0	0.2
4	0.7	1.0	0.7	1.2	0.0	0.4
5	0.3	0.7	1.6	1.6	0.0	0.5
6	0.3	1.4	2.9	3.2	0.0	0.6
8・1	0.7	1.0	2.9	3.0	0.0	0.4
2	2.1	1.0	2.1	1.6	0.0	0.4
3	2.1	1.3	1.7	2.6	0.0	1.2
4	1.9	3.2	2.0	4.3	0.0	3.2
5	0.7	4.4	4.3	4.5	0.0	6.0
6	1.8	5.4	2.5	7.5	0.0	8.2
9・1	1.7	3.7	5.7	5.5	0.7	5.1
2	0.7	2.7	4.7	4.2	1.1	3.1
3	1.7	1.4	1.7	2.9	0.3	3.1
4	0.3	1.3	1.5	4.9	0.0	4.3
5	0.3	1.3	1.4	3.8	0.0	2.3
6	0.7	0.8	1.4	2.0	0.0	1.1
10・1	0.0	1.0	0.7	1.0	0.0	0.7
2	0.0	0.6	0.8	1.2	0.0	0.4
3	0.0	0.4	0.5	0.4	0.0	0.2
4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3
5	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2
6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
5～10月計	18.7	36.4	44.1	69.0	4.9	43.2

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

オオタバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0.0	—	0.8	—	0.0	—
2	0.0	—	0.0	—	0.0	—
3	0.0	—	0.0	—	0.0	—
4	0.0	—	0.0	—	0.0	—
5	0.0	—	0.0	—	0.0	—
6	0.0	—	0.9	—	0.0	—
5・1	0.0	0.1	4.3	0.4	0.0	0.0
2	1.1	0.3	4.9	1.2	0.0	0.1
3	1.1	0.4	3.6	1.9	0.0	0.1
4	0.7	0.5	1.4	4.6	0.0	0.0
5	0.0	0.3	0.0	4.0	0.0	0.1
6	0.0	0.3	0.0	3.1	0.0	0.1
6・1	0.4	0.2	0.4	2.8	0.0	0.2
2	0.6	0.1	0.6	2.2	0.0	0.1
3	0.0	0.4	0.0	1.3	0.0	0.1
4	0.0	1.2	0.0	1.5	0.0	0.1
5	0.0	0.6	0.0	2.7	0.0	0.0
6	0.0	0.2	0.0	4.4	0.0	0.0
7・1	0.0	0.3	0.8	6.8	0.0	0.1
2	0.0	0.2	0.2	5.5	0.0	0.0
3	0.0	0.4	0.0	4.8	0.0	0.0
4	0.0	0.5	0.0	3.2	0.0	0.0
5	0.0	0.1	2.6	1.2	0.0	0.0
6	0.0	0.1	6.0	2.3	0.0	0.0
8・1	0.0	0.0	6.4	4.5	0.0	0.0
2	0.0	0.0	15.0	5.2	0.0	0.0
3	0.0	0.0	7.7	6.0	0.0	0.0
4	0.0	0.1	2.6	4.7	0.0	0.0
5	0.0	0.2	1.4	5.3	0.0	0.0
6	0.0	0.5	2.0	7.9	0.0	1.0
9・1	0.0	0.5	5.7	5.9	0.0	0.5
2	0.0	0.3	3.7	10.3	0.0	0.0
3	0.0	0.2	0.0	18.3	0.0	0.1
4	0.0	0.9	4.0	23.3	0.0	0.3
5	1.4	0.6	6.7	21.0	0.0	0.7
6	3.6	0.3	9.3	25.1	0.0	0.7
10・1	2.1	1.2	3.6	25.8	0.0	0.6
2	0.9	2.5	1.4	22.1	0.0	1.0
3	0.0	4.1	0.0	18.7	0.0	0.5
4	0.0	3.8	0.0	28.2	0.0	1.3
5	1.4	5.4	0.0	26.0	0.0	2.1
6	1.7	6.1	0.6	26.0	0.0	2.1
5～10月計	15.0	32.9	94.9	338.1	0.0	11.9

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノホソガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	335.8	121.5	53.9	210.8	58.6	—
2	132.0	244.5	395.2	204.4	33.7	—
3	38.0	264.5	907.1	286.7	110.0	—
4	82.0	206.4	627.9	357.6	111.1	—
5	84.7	181.2	453.9	361.2	104.6	—
6	27.3	67.1	336.5	190.1	94.3	—
5・1	2.0	56.0	331.1	59.5	0.0	—
2	2.0	33.9	365.5	13.3	0.4	—
3	0.0	13.0	417.1	2.6	0.6	—
4	2.0	3.5	110.0	0.8	0.0	—
5	111.0	7.8	347.1	0.6	8.7	—
6	234.0	300.9	416.6	81.2	642.6	—
6・1	152.0	1148.6	486.6	218.1	732.7	—
2	97.0	1314.0	695.7	503.9	635.0	—
3	21.0	1235.5	961.4	670.5	522.9	—
4	25.7	563.4	1060.0	734.7	256.7	—
5	3.3	177.5	1007.4	809.7	66.1	—
6	57.0	82.2	534.3	273.9	13.6	—
7・1	418.0	105.1	341.1	162.7	22.0	—
2	424.0	632.2	545.7	275.3	19.1	—
3	1090.0	1000.2	925.0	389.0	57.1	—
4	999.5	1063.0	1077.9	270.7	283.4	—
5	360.8	587.7	684.0	259.2	218.6	—
6	138.7	214.6	375.4	300.4	102.6	—
8・1	213.0	96.9	95.7	215.7	20.0	—
2	239.0	148.4	77.1	130.5	12.6	—
3	116.3	210.6	124.9	106.5	12.1	—
4	50.7	254.6	156.8	105.2	14.3	—
5	37.5	313.7	156.8	120.7	12.9	—
6	28.5	273.5	276.4	174.2	23.1	—
9・1	29.0	112.3	193.6	102.0	24.5	—
2	90.0	137.2	173.3	61.6	18.2	—
3	203.0	150.4	229.3	54.2	22.7	—
4	51.0	193.1	619.6	58.4	32.5	—
5	48.0	248.0	705.2	91.3	38.4	—
6	32.0	355.3	687.2	79.3	46.4	—
10・1	11.0	150.5	351.1	66.0	18.4	—
2	7.5	83.0	125.4	37.3	19.5	—
3	2.5	39.9	107.3	44.7	26.9	—
4	1.0	19.1	39.3	54.6	7.9	—
5	6.7	18.7	65.0	27.6	7.3	—
6	2.7	14.8	49.3	25.7	4.9	—
4～10月計	6007.2	12444.3	17689.7	8192.4	4457.0	—

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4・1	0.0	0.7	0.0	0.4	0.0	—
2	1.0	3.6	0.3	0.5	0.0	—
3	2.0	36.1	0.7	4.1	0.0	—
4	3.0	65.9	30.0	11.3	0.6	—
5	19.7	75.0	73.3	35.1	1.9	—
6	150.3	202.6	84.0	91.2	3.6	—
5・1	327.0	504.1	11.7	141.2	2.9	—
2	279.0	689.9	7.3	255.0	1.6	—
3	185.0	525.6	0.7	264.1	0.7	—
4	105.0	326.9	1.0	218.9	0.7	—
5	37.0	140.6	7.5	71.4	0.1	—
6	7.7	43.4	9.0	17.3	0.0	—
6・1	0.3	8.2	10.5	2.5	0.0	—
2	3.0	2.9	15.0	1.9	0.0	—
3	22.0	16.4	267.9	21.3	0.7	—
4	50.3	86.4	109.3	64.9	2.0	—
5	41.7	160.3	123.1	242.7	3.0	—
6	63.0	180.3	601.4	236.7	3.6	—
7・1	92.7	160.2	312.3	177.0	2.7	—
2	19.3	92.0	154.6	85.6	1.4	—
3	10.0	35.2	26.4	32.1	0.6	—
4	3.8	13.7	6.4	65.8	0.0	—
5	7.3	12.3	15.4	43.5	0.6	—
6	66.0	35.3	44.9	55.5	1.6	—
8・1	65.0	62.8	69.3	58.5	0.7	—
2	45.0	44.7	32.9	47.7	0.1	—
3	12.7	41.5	16.6	43.0	0.0	—
4	1.3	16.1	5.7	33.1	0.0	—
5	1.5	6.3	5.7	22.9	0.0	—
6	11.5	4.0	16.1	48.0	0.0	—
9・1	37.3	8.3	48.9	73.7	0.0	—
2	33.7	20.2	83.3	130.4	0.0	—
3	26.0	87.7	130.7	167.0	0.0	—
4	110.3	102.0	138.7	151.2	0.0	—
5	150.7	98.3	129.1	111.2	0.1	—
6	226.0	118.6	111.7	98.5	0.7	—
10・1	137.0	144.8	110.7	118.3	0.7	—
2	72.0	141.0	109.6	83.0	0.8	—
3	63.0	76.9	94.3	63.1	0.7	—
4	20.0	95.7	34.3	29.6	0.0	—
5	3.0	50.1	41.1	11.9	0.0	—
6	11.3	97.9	29.6	19.0	0.0	—
4～10月計	2523.4	4634.5	3121.0	3450.1	32.1	—

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

(3) 黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数(黄色水盤)  
調査場所: 亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月・半旬	H27	平年	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17
4・1	1.0	2.2	2.0	4.0	0.0	1.0	2.0	6.0	—	5.0	0.0	0.0
2	4.0	4.3	1.0	1.0	0.0	1.2	10.3	17.0	—	5.0	0.0	3.0
3	4.0	4.8	0.0	6.0	2.5	5.1	6.8	3.3	8.0	8.0	1.0	7.0
4	3.0	12.5	2.0	14.5	2.5	1.7	5.0	38.7	17.0	6.0	2.0	36.0
5	7.3	12.5	3.0	10.5	2.0	2.0	6.7	38.0	34.0	15.0	2.0	12.0
6	5.7	32.2	2.0	24.0	9.0	5.0	5.3	88.8	132.0	17.0	10.0	29.0
5・1	6.8	46.4	1.0	14.0	0.0	14.0	40.0	107.3	207.0	13.0	10.0	58.0
2	7.3	56.3	15.0	64.0	0.0	16.0	8.0	143.3	217.0	34.0	14.0	52.0
3	9.0	43.1	19.0	124.0	5.0	12.0	5.7	54.8	100.0	35.0	21.0	54.0
4	2.0	47.3	28.0	119.0	9.0	14.0	9.3	47.0	159.0	9.0	18.0	61.0
5	25.0	53.8	8.0	46.0	0.0	9.0	5.0	17.0	284.0	17.0	25.0	127.0
6	4.0	55.2	16.5	138.0	10.0	4.0	3.0	6.9	193.0	27.0	20.0	134.0
6・1	1.0	45.0	23.5	70.8	10.0	10.0	7.0	9.6	83.0	22.0	35.0	179.0
2	7.0	43.8	4.0	61.2	6.0	2.3	11.0	5.6	96.0	20.0	87.0	145.0
3	4.0	42.9	6.0	12.7	18.0	1.7	4.0	2.4	85.0	28.0	85.0	186.0
4	3.3	37.3	1.0	9.3	12.0	2.0	4.3	3.4	104.0	26.0	62.0	149.0
5	0.7	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	2.0	74.0	18.0	72.0	59.0
6	3.0	17.7	0.0	9.0	0.0	1.0	3.0	0.0	39.0	25.0	59.0	41.0
7・1	2.0	7.9	0.0	10.0	0.0	1.0	3.0	0.0	15.0	10.0	30.0	10.0
2	2.0	8.8	1.0	4.0	13.0	0.0	4.0	1.0	35.0	11.0	12.0	7.0
3	0.0	5.8	0.7	2.0	1.0	0.0	5.0	1.0	30.0	9.0	2.0	7.0
4	0.0	5.5	1.3	4.7	0.0	0.0	5.0	2.8	18.0	10.0	1.0	12.0
5	0.0	3.8	0.0	4.3	0.0	0.0	0.8	2.3	7.0	12.0	0.0	12.0
6	0.0	5.5	0.0	6.0	3.0	1.0	0.9	7.0	5.0	13.0	—	14.0
8・1	23.0	14.5	3.0	11.7	8.0	16.0	0.3	4.7	10.0	8.0	35.0	48.0
2	67.0	18.9	0.0	14.3	10.0	80.0	0.0	5.2	23.0	16.0	18.0	22.0
3	15.7	26.3	0.6	9.0	35.0	76.0	7.0	7.0	33.0	29.0	38.0	28.0
4	6.3	17.3	0.4	0.0	28.0	19.0	8.5	7.9	22.0	24.0	42.0	21.0
5	1.5	13.9	3.3	0.0	15.7	3.0	5.5	3.1	20.0	25.0	37.0	26.0
6	0.5	17.2	16.7	0.3	6.3	10.0	2.0	8.6	21.0	16.0	21.0	70.0
9・1	0.3	20.5	24.0	0.7	0.0	0.0	2.0	9.3	70.0	23.0	56.0	20.0
2	4.7	29.5	6.0	7.0	3.0	20.0	2.6	8.4	170.0	19.0	48.0	11.0
3	1.0	13.6	0.0	2.0	0.0	20.0	0.4	6.3	68.0	10.0	24.0	5.0
4	0.0	14.1	0.0	8.0	0.0	1.0	26.7	20.0	41.0	19.0	22.0	3.0
5	0.0	9.3	1.0	0.0	0.0	10.0	7.6	8.0	31.0	7.0	16.0	12.0
6	1.0	7.2	7.0	2.0	0.0	5.0	2.8	3.7	10.0	11.0	17.0	14.0
10・1	0.0	9.2	1.0	12.0	0.0	0.0	17.0	1.0	8.0	14.0	23.0	16.0
2	1.2	4.5	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	13.0	5.0	6.0	9.0
3	0.8	5.4	1.0	4.0	10.0	0.0	13.0	0.0	5.0	6.0	9.0	6.0
4	4.0	7.4	0.0	2.0	7.7	5.0	17.0	0.0	9.0	8.0	10.0	15.0
5	5.0	5.6	1.0	0.0	19.3	4.0	0.0	0.0	8.0	5.0	6.0	13.0
6	5.0	7.1	1.0	10.0	0.0	3.4	5.0	0.7	15.0	13.0	11.0	12.0
11・1	1.0	9.0	0.0	3.0	0.0	0.6	18.0	7.4	34.0			
2	0.0	11.8	2.0	10.0	15.7	10.0	10.0	4.7	30.0			
3	1.0	10.3	0.0	2.0	11.3	2.0	31.7	3.0	22.0			
4	2.0	7.7	1.0	21.7	10.0	0.0	6.3	2.6	12.0			
5	0.0	7.9	0.0	11.3	6.0	1.3	2.0	1.0	34.0			
6	0.0	6.7	1.0	5.0	3.0	6.7	0.0	0.0	31.0			
4~10月計	239.0	857.8	201.0	850.0	246.0	380.4	278.2	698.8	2519.0	653.0	1007.0	1745.0

## 2 病害虫発生予察情報の内容

### (1) 水稻

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
葉いもち	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2)前年の葉いもちの発生量は平年比やや多かった(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)病害虫調査協力員から発生が報告されている(+) (3)BLASTAM(いもち病発生予察システム)によると、感染好適条件が6月中旬以降に出現している(+) (4)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-) (5)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
穂いもち (中晩生水稲)	7月23日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、穂いもちの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並、日照時間は平年並または多い(-と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月中旬現在、穂いもちの発生は山城で平年比やや少なく(-)、南丹で平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並と予想されている。	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)前年8月の発生量は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めている(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並、日照時間は平年並または多い(-と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は山城及び南丹で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並と予想されている。	
ヒトビウンカ と縞葉枯病	4月21日(3号)	[ヒトビウンカ] 発生量 やや少 [縞葉枯病] 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒトビウンカの虫数は平年比少なく(-)、確認ほ場率は平年比やや低い(-) (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない(平年並)。	
	5月20日(4号)	[ヒトビウンカ] 発生量 やや少 [縞葉枯病] 発生量 並	(1)ヒトビウンカの越冬虫数は平年比少なく(-)、確認ほ場率は平年比やや低い(-) (2)昨年は、縞葉枯病の発生を認めていない(平年並)。	
セジロウンカ	6月23日(5号)	発生量 やや多(多)	(1)6月第3半旬現在、予察灯での誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生は平年比やや多い(+)	
	7月23日(6号)	発生量 並(多)	(1)7月中旬現在、本田見取り調査での発生量は平年並、本田すくい取り調査では平年比やや少ない(-)	
トビロウンカ (中晩生水稲) (晩生水稲)	7月23日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月15日現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)7月中旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年並)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月12日現在、予察灯への誘殺を認めていない(平年並)。 (2)8月中旬の巡回調査では発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高い(+と予想されている。	
	9月18日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、巡回及び予察灯調査ともに発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低い(-と予想されている。	
ツマグロ ヨコバイ	5月20日(4号)	発生量 少(少)	(1)ツマグロヨコバイの越冬虫数は平年比少なく(-)、確認ほ場率は平年比低い(-)。	
	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、本田で発生を認めていない(平年並)。	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、本田見取り及び本田すくい取り調査での発生量は平年並。	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)前年8月は第2世代幼虫の発生を認めておらず(平年並)、越冬量は平年並と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は平年並。	
イネミズ ゾウムシ	4月21日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年の新成虫の予察灯での誘殺数は平年比やや多い~多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並と予想されている。	

	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は平年比やや多い〜多い(+) (2)5月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多い(+) (3)5月第2半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年並、京丹後で平年比少ない(-)。
斑点米 カメムシ類	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、本田及び畦畔での発生量は平年並であるが、一部地域の畦畔雑草で多発している(+) (2)アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比やや多い(+) (3)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。
	7月23日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、本田及び畦畔での発生量は平年並。 (2)アカスジカスミカメ及びアカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高い(+と予想されている。
(中晩生水稲)	8月20日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城で平年並、南丹で平年比やや多い(+) (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は山城で平年比やや少なく(-)、南丹で平年並。
その他 (注意事項)			

## (2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
その他 (注意事項)				

## (3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月23日(5号)	発生量 やや少(少)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月23日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、発生量はやや多い(+) (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+) (3)普及指導員、病害虫調査協力員から一部地域での発生が報告されている(+)	
	9月18日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比やや多く(+)、アズキで平年比少ない(-) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
吸実性 カメムシ類	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺は認めていない(平年並)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。	
	9月18日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
サヤムシガ類	7月23日(6号)	発生量 やや少(少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。	
ハダニ類	7月23日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 多(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	

	9月18日(8号)	発生量 やや少	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆、アズキともに平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
その他 (注意事項)			

#### (4) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月24日(5号)	発生量 やや少(少)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月23日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、発生量平年比やや多い(+) (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)	
	9月18日(8号)	発生量 やや少	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比やや多く(+)、アズキで平年比やや少ない(-)。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
ハダニ類	7月23日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。 (3)黒大豆での発生量は平年比多い(+) (4)普及指導員、病害虫調査協力員から一部地域での発生が報告されている(+)	
	9月18日(8号)	発生量 やや少	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆、アズキとも平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
オオタバコガ	8月20日(7号)	発生量 丹波 やや多(多)	(1)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市、京丹後市で認めず(平年並)、亀岡市で平年比やや多い(+) (2)8月中旬の巡回調査で発生を認めている(+)	
その他 (注意事項)				

#### (5) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月27日(2号)	発生量 やや少	(1)越冬罹病枝率は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	4月21日(3号)	発生量 やや少(並)	(1)越冬罹病枝率は、平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+と)予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比はやや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月21日(3号)	発生量 並(並)	(1)前年10月は、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋	

	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	側で平年並または多い(+と予想されている。 (1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)丹後地域の一部のは場で発生が報告されている(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多い(+) と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。 (3)現地で発生が目立つ病害虫として、病害虫調査協力員から報告されている。
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。
カキクダアザミ ウマ(カキ)	3月27日(2号)	発生量 やや多	(1)前年秋期の被害は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
炭そ病(カキ)	4月21日(3号)	発生量 並	(1)前年10月の発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並または多い(+と予想されている。
落葉病(カキ)	5月20日(4号)	発生量 やや少	(1)前年10月の発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+) と予想されている。
うどんこ病 (カキ)	5月20日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬の発生量は平年並。 (2)前年10月の発生量は平年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+) と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。
べと病(ブドウ)	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや少)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+) と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。
ハダニ類 (カンキツ、ナシ、ブドウ)	5月20日(4号)	発生量 ナシ 並(やや多) カンキツ 並(やや少)	(1)5月中旬現在、ナシでは発生を認めず(平年比やや少ない(-)、カンキツでの発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-) と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 ナシ 並(多) カンキツ やや多(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシでは平年並、カンキツでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 ナシ 並(並) カンキツ やや多(多)	(1)7月中旬現在、発生量はナシで平年並、カンキツでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 ナシ 多(やや多) カンキツ 並(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量はナシで平年比多く(+)、カンキツでは平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並または多い(-) と予想されている。

カキグダアザ ミウマ(カキ)	3月27日(2号)	発生量 やや多	(1)前年10月の被害は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
カメムシ類	5月20日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)チャバネアオカメムシの越冬量調査での平均生存虫数は平年(例年)並。 (2)5月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺市、京丹後市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市で平年比多い(+) (3)5月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比やや多い(+)	
	6月23日(5号)	発生量 山城・丹後 並(やや少) 丹波 やや多(並)	(1)チャバネアオカメムシの予察灯での誘殺数は京田辺市、京丹後市で平年並、亀岡市で平年比やや多い(+) (2)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市では平年比少ない(-)	
	7月23日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月第3半旬現在、予察灯(BL)への誘殺数は平年並。 (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月第2半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数は平年並。 (2)8月第2半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は平年並。	
その他 (注意事項)				

### (6) 茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
もち病	3月27日(2号)	発生量 山城 やや多(やや多) 丹波 やや多(やや多) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で発生を認めていない(例年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 山城 やや多(やや多) 丹波 やや多(やや多) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年(例年)並) (2)前年10月の発生量は、山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では発生を認めていない(例年並) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と)予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 山城 やや多(並) 丹波 並(並) 丹後 やや少(並)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城で平年比多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並、日照時間は平年並または多い(-)と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 多(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(丹波:平年並、丹後:例年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
炭そ病	6月23日(5号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多(やや多) 丹後 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年並 (2)5月中旬の調査では感染源となる古葉での発生が山城、丹後で平年(例年)比やや多く(+)、丹波で平年並 (3)向こう1か月の気温は平年または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側で平年並と予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多(やや少) 丹後 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 やや多(やや多) 丹波 多(やや多) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比多く(+)、丹後では例年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
カンザワハダニ	3月2日(1号)	発生量 山城 やや多(やや多) 丹波 やや多(やや多)	(1)2月第5半旬現在、寄生葉率は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比やや多かった(+) (2)山城の一部の茶園で卵を確認したが、丹波、丹後では産卵は確認しなかった。産卵葉率は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年	



		丹後 やや多 (やや少)	並、丹後で例年並であった。 (3) 発生ほ場率は山城及び丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比多かった(+) (4) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は太平洋側で平年並または多く(-)、日本海側で平年並と予想されている。
	防除時期 3月上旬		
3月27日(2号)	発生量	山城 やや多 (多) 丹波 やや多 (多) 丹後 やや多 (やや少)	(1) 3月下旬の調査では、発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
4月21日(3号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並 (やや少) 丹後 並(少)	(1) 4月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で発生を認めず(例年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
5月20日(4号)	発生量	山城 並 (やや少) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや少)	(1) 5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-)と予想されている。
6月23日(5号)	発生量	山城 やや少 (少) 丹波 やや少 (やや多) 丹後 やや多 (並)	(1) 6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で発生を認めず(平年比少ない)、丹後で例年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
7月23日(6号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 並(少) 丹後 並 (やや少)	(1) 7月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で発生を認めなかった(平年比やや少ない) (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
8月20日(7号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 やや多 (並) 丹後 並 (やや少)	(1) 8月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
9月18日(8号)	発生量	山城 やや少 (少) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 並(少)	(1) 9月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後では例年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
10月20日(9号)	発生量	山城 やや多 丹波 並 丹後 多	(1) 10月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
チャノホソガ	3月27日(2号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1) 前年10月の発生量は山城、丹波は平年並、丹後では例年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	4月21日(3号)	発生量 山城 やや多 (並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 やや多 (やや多)	(1) 前年10月の発生量は、山城、丹波は平年並、丹後は例年並。 (2) 4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で発生を認めず(平年並)、丹後で例年比やや多い(+) (3) 4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市で平年比やや多く(+)、綾部市で例年比やや多い(+) (4) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 山城 やや少 (並) 丹波 やや多 (並) 丹後 並 (やや少)	(1) 5月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で発生を認めていない(例年並)。 (2) フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや多い(+) (3) フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市、綾部市ともに平年比やや早い。
	第2世代幼虫ふ化時期 山城 6月第2半旬～ 6月第3半旬 (やや早)		

		丹波 6月第3半旬～ 6月第4半旬 (やや早)		
6月23日(5号)	発生量	山城 やや少 (並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少なく(－)、丹波、丹後で平年(例年)並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市、綾部市ともに平年比やや多い(+)。 (3)フェロモントラップでの誘殺盛期は宇治市で平年比早く、綾部市で平年比やや早い。 (4)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。	
	第3世代幼虫ふ化時期	山城 7月第3半旬～ 7月第4半旬 (早)		
		丹波 7月第4半旬～ 7月第5半旬 (やや早)		
7月23日(6号)	発生量	山城 やや少 (並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(－)、丹波、丹後で平年(例年)並。 (2)第2世代成虫の発生時期は、宇治市で平年比やや早く、綾部市で平年並。	
	第4世代幼虫ふ化期	山城 8月第3半旬～ 8月第4半旬 (やや早)		
		丹波 8月第4半旬～ 8月第5半旬 (並)		
8月20日(7号)	発生量	山城 少(少) 丹波 やや少 (少) 丹後 並 (やや少)	(1)8月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比少なく(－)、丹波では平年比やや少なく(－)、丹後で例年並。 (2)第2世代成虫の発生時期は、宇治市で平年比やや早く、綾部市では平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	第4世代幼虫ふ化期	山城 8月第4半旬～ 8月第5半旬 (やや早)		
		丹波 8月第6半旬～ 9月第1半旬 (並)		
9月18日(8号)	発生量	山城 少(少) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや多)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(－)、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+)。	
10月20日(9号)	発生量	山城 並 丹波 並 丹後 並	(1)10月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で例年並。	
チャノコカクモンハマキ	3月27日(2号)	発生量	山城 並(少) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で発生を認めていない。(例年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	4月21日(3号)	発生量	山城 並 (やや少) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後での発生を認めていない(例年並)。 (2)4月中旬現在、発生を認めていない(平年(例年)並)。 (3)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市で平年並、綾部市で例年並。
	5月20日(4号)	発生量	山城 並 (やや少) 丹波 並(並) 丹後 並(少)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや多い(+)。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比やや早い。
		第1世代幼虫ふ化期		
		山城 5月第4半旬～ 5月第6半旬 (やや早)		
		丹波 5月第4半旬～ 5月第6半旬 (やや早)		
	6月23日(5号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 並 (やや少) 丹後 並(並)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は府内全域で平年(例年)並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市で平年並、綾部市で平年比少ない(－)。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比やや早く、綾部市で平年比早い。

		第2世代幼虫ふ化期 山城 7月第1半旬～ 7月第2半旬 (やや早) 丹波 6月第6半旬～ 7月第1半旬 (早)	(4) 向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側で平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並 (やや少)	(1) 7月中旬現在、第2世代幼虫の発生量は山城、丹後で発生を認めず(山城:平年並、丹後:例年並)、丹波で平年並であった。 (2) 第1世代成虫の発生時期は宇治市は平年並、綾部市では平年比やや遅い。
		第3世代幼虫ふ化期 山城 8月第2半旬～ 8月第4半旬 (並) 丹波 8月第3半旬～ 8月第5半旬 (やや遅)	
	8月20日(7号)	発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 並 (やや少)	(1) 8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で例年並。 (2) 第2世代成虫の発生時期は宇治市でやや早く、綾部市で平年並。 (3) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
		第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第4半旬～ 9月第5半旬 (やや早) 丹波 9月第4半旬～ 9月第5半旬 (並)	
	9月18日(8号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (並) 丹後 並(並)	(1) 9月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+)
クワシロ カイガラムシ	4月21日(3号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (多) 丹後 やや多 (並)	(1) 前年10月の発生量は、山城、丹波で平年並、丹後で例年並。 (2) 4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比やや多い(+)
	5月20日(4号)	発生量 山城 やや少 (やや少) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 やや多 (並)	(1) 5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年比やや多い(+)
	6月23日(5号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (多) 丹後 多 (やや多)	(1) 第1世代幼虫の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比多い(+)
	8月20日(7号)	発生量 山城 少(少) 丹波 並 (やや少) 丹後 やや多 (並)	(1) 8月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+)
チャノキイロ アザミウマ	5月20日(4号)	発生量 山城 並 (やや少) 丹波 やや少 (並) 丹後 並 (やや少)	(1) 5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比少なく(-)、丹後で例年並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-)と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 山城 やや少 (並) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや多)	(1) 6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹後で例年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 やや多 (やや多)	(1) 7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年(例年)並。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。

	8月20日(7号)	発生量	山城 並(多) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 やや多 (やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
チャノミドリヒメ ヨコバイ	5月20日(4号)	発生量	山城 並(少) 丹波 並(並) 丹後 並(少)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後ともに平年(例年)並。	
	6月23日(5号)	発生量	山城 多(並) 丹波 並(少) 丹後 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比多く(+)、丹後で例年並。	
	7月23日(6号)	発生量	山城 やや多 (並) 丹波 やや多 (やや少) 丹後 並 (やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で発生を認めていない(例年並)。	
	8月20日(7号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後では例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
その他 (注意事項)					

## (7) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
疫病・褐色腐敗病(果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+) と予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、ナスでは褐色腐敗病の発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく、太平洋側では平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。	
うどんこ病 (果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、ナスとキュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多いと予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリ及びナスで発生を認めていない(キュウリ:平年比やや少ない、ナス:平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリ、ナスともに平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、キュウリ、ナスともに発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多いと予想されている。	
べと病 (キュウリ) (ウリ類) (キュウリ)	5月20日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+) と予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側では平年並と予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並と予想されている。 (3)病害虫調査協力員及びJA、普及センターから、現地で発生が目立つ病害虫として情報が寄せられている。	
(アブラナ科)	9月18日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側では平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
(アブラナ科)	10月20日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツでは発生を認めず(平年並)、カブでは平年比やや少ない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	

炭そ病 (ウリ類)	6月23日(5号)	発生量	並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側では平年並と予想されている。
	(キュウリ) 7月23日(6号)	発生量	やや多 (やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。 (3)病害虫調査協力員及びJJA、普及センターから、現地で発生が目立つ病害虫として情報が寄せられている。
	(キュウリ) 8月20日(7号)	発生量	やや多	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。
褐斑病 (キュウリ)	7月23日(6号)	発生量	並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量	並	(1)8月中旬現在、発生量平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。
斑点細菌病 (キュウリ、 トウガラシ)	5月20日(4号)	発生量	並(並)	(1)5月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+) と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量	やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(-)、太平洋側では平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量	並(並)	(1)7月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
べと病(アブラ ナ科野菜)	9月18日(8号)	発生量	並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(+)、降水量は日本海側で平年並 または少なく(-)、太平洋側で平年並、日照時間は平年並と予想され ている。
	10月20日(9号)	発生量	並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツでは発生を認めず(平年並)、カブでは平 年比やや少ない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想され ている。
白斑病(アブラ ナ科野菜)	9月18日(8号)	発生量	並(並)	(1)9月中旬現在、カブで発生を認めていない(例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(+)、降水量は日本海側で平年並 または少なく(-)、太平洋側では平年並、日照時間は平年並と予想 されている。
	10月20日(9号)	発生量	並(やや少)	(1)10月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想され ている。
菌核病 (キャベツ)	3月27日(2号)	発生量	並(並)	(1)前年秋期の調査では発生を認めていない。(平年並)。 (2)3月下旬の調査では、発生を認めなかった(平年並)。周辺ほ場では 発病株を認めた。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されてい る。
	4月21日(3号)	発生量	並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋 側で平年並または多く(-)、日照時間は平年並と予想されている。
	9月18日(8号)	発生量	並(並)	(1)山城地域で、春期に発生を認めた。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(+)、降水量は日本海側で平年並 または少なく(-)、太平洋側では平年並、日照時間は平年並と予想 されている。
	10月20日(9号)	発生量	並(並)	(1)春期の発生量は、平年並。 (2)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予 想されている。
白さび病(アブ ラナ科野菜)	10月20日(9号)	発生量	並(並)	(1)10月中旬現在、ダイコンで発生を認めず(平年並)、カブで平年比や や多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想され ている。
黒腐病・黒斑 細菌病(アブラ ナ科野菜)	9月18日(8号)	発生量	やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、黒腐病はキャベツで平年比多く(+)、黒斑細菌病は ダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2)生育初期の8月下旬から9月中旬に掛けて降雨が続き、感染の可能 性が高まっている(+) (3)向こう1か月の気温は平年比低く(+)、降水量は日本海側で平年並 または少なく(-)、太平洋側では平年並、日照時間は平年並と予想 されている。

黒腐病 (キャベツ)	10月20日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
さび病(ネギ)	4月21日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)前年秋期は、発生を認めていない(平年並) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く、日照時間は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 やや多(多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(+) と予想されている。	
アブラムシ類 (アブラナ科野菜、野菜類)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)3月下旬の調査(キャベツ)では発生を認めていない(平年比やや少ない) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている(+)	
	4月21日(3号)	発生量 やや多(並)	(1)4月上旬現在、トマト(施設)で発生を認めていない(平年並)。一方、4月中旬現在、キャベツでの発生は平年並、ネギで平年比多い(+) (2)4月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年並 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く(-)、日照時間は平年並と予想されている。	
アブラムシ類とモザイク病	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量はナスで平年比やや少なく(-)、キュウリ、キャベツ、ネギで平年並 (2)5月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-) と予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類のナスでの発生は平年並～やや少なく(-)、キュウリでは平年並 (2)6月中旬現在、キュウリでのモザイク病の発生を認めていない(平年並) (3)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-) (4)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。	
アブラムシ類 (野菜全般)	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、キュウリ、ナスとも発生を認めていない(ナス:平年比やや少ない(-)、キュウリ:平年並) (2)8月第3半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(-) と予想されている。	
ハダニ類 (チャノホコリダニを含む) (果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、ナス、キュウリともに発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-) と予想されている。	
	(野菜全般)	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、ナスでの発生は平年並、キュウリでは平年比やや多い(+) (2)病害虫調査協力員から、ナス、トウガラシで発生が目立つとの情報が寄せられている (3)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
	(野菜全般)	7月23日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在の発生量はキュウリ、ナスともにやや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	(野菜全般)	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでの発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(-) と予想されている (3)病害虫調査協力員から各地での発生が報告されている(+)
アザミウマ類 (果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、ナス、キュウリでの発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-) と予想されている。	
	(果菜類)	6月23日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在、ナスでの発生は平年並、キュウリでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側で平年並と予想されている。
	(果菜類)	7月23日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。

(野菜全般)	8月20日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでの発生量は平年比やや少ない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
ハモグリバエ類(果菜類)	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、ナスでの発生は平年比少なく(-)、キュウリでは平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
(果菜類)	7月23日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年比やや少なく(-)、ナスで平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
(果菜類等)	8月20日(7号)	発生量 やや少(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量はキュウリで平年比少なく(-)、ナスでは平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
(野菜全般)	9月18日(8号)	発生量 やや少(やや少)	(1)9月中旬現在、発生量はナスで平年比やや少なく(-)、カブでは発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側では平年並と予想されている。
コナガ (アブラナ科野菜)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)3月下旬のキャベツの調査では、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
	4月21日(3号)	発生量 やや少(少)	(1)4月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比少ない(-)。
	5月20日(4号)	発生量 並	(1)5月中旬現在、キャベツでの発生量は平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多い(-)と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 やや少(やや少)	(1)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく(-)、亀岡市で平年並、京丹後市では平年比やや少ない(-)。 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡市では平年並、京丹後市で平年比少ない(-)。
	9月18日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツの発生は平年比やや多く(+)、ダイコン、カブでは発生を認めていない(平年並)。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺市、亀岡市、京丹後市ともに平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
	10月20日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツ、ダイコン及びカブで発生を認めていない(平年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市及び京丹後市で平年並。
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月23日(6号)	発生量 やや多	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+) (2)病害虫調査協力員から一部地域での発生が報告されている(+)
	9月18日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、ダイコンでの発生は平年比やや多く(+) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少ない(+) (4)予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市及び京丹後市で平年並
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ] (野菜全般)	9月18日(8号)	発生量 やや少	(1)9月第3半旬現在、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市、京丹後市で平年並、亀岡市で平年比やや少ない(-)。 (2)9月第3半旬現在、タバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市、京丹後市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
ハイマダラメイガ [ダイコンシンクイムシ](アブラナ科野菜)	9月18日(8号)	発生量 やや少(並)	(1)9月中旬現在、ダイコンで発生を認めていない(平年比やや少ない) (-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側では平年並と予想されている。

シロオビノメイ ガ (ホウレンソウ)	8月20日(7号)	発生量 並	(1)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺は京田辺市、亀岡市及び京丹後市でいずれも認めていない(平年並)。
	9月18日(8号)	発生量 並(やや少)	(1)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺は京田辺市、亀岡市、京丹後市ともに平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	4月21日(3号)	発生量 やや多(やや少)	(1)4月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く、日照時間は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-)と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	9月18日(8号)	発生量 多(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
	10月20日(9号)	発生量 多(並)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
ネギハモグリ バエ(ネギ)	4月21日(3号)	発生量 並(少)	(1)4月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く、日照時間は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在の発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-)と予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 やや少(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 少(少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	9月18日(8号)	発生量 少(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比低く(-)、降水量は日本海側で平年並または少なく(+)、太平洋側では平年並と予想されている。
	10月20日(9号)	発生量 やや少(やや少)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
その他 (注意事項)			



留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温	降水量	日照時間
第1号	3月	3月2日	2月26日	平年並または高い	(日本海側) 平年並 (太平洋側) 平年並または多い	(日本海側) 平年並 (太平洋側) 平年並または少ない
第2号	4月	3月27日	3月26日	平年比高い	平年並	平年並
第3号	5月	4月21日	4月16日	平年並	(日本海側) 平年並 (太平洋側) 平年並または多い	平年並
第4号	6月	5月20日	5月14日	平年比高い	平年比多い	平年並または少ない
第5号	7月	6月23日	6月18日	平年並または低い	(日本海側) 平年並または少ない (太平洋側) 平年並	平年並
第6号	8月	7月23日	7月16日	平年並または高い	平年並	平年並または多い
第7号	9月	8月20日	8月13日	平年比高い	平年並または多い	平年並
第8号	10月	9月18日	9月17日	平年比低い	(日本海側) 平年並または少ない (太平洋側) 平年並	平年並
第9号	11月	10月20日	10月16日	平年並または高い	平年並	平年並

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

### 3 対象病害虫の発生状況

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	15200ha	葉いもち	平年:並 前年:遅	平年:並 前年:やや少	2538ha	南丹地域で6月下旬に初めて発生を確認した。その後、7月中旬に中丹地域で平年比多い発生となったが、全体的に平年並～やや少ない発生で推移した。	6月から7月中旬まで曇雨天が多かったが、梅雨明け以降は晴れの日が続いたことにより、発病が抑えられた。	長期持続型箱施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
		穂いもち	平年:並 前年:並	平年:多 前年:多	9287ha	8月に南丹地域のみ発生を確認したが(平年並)、9月には丹波(中丹及び南丹)地域で平年比多い発生となった。	8月中旬から9月にかけて曇雨天が続いたため発生が多かった。	出穂期前後の防除を行っている。
		紋枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	10138ha	7月から中丹地域で発生を認め、9月には中丹及び丹後地域で平年比多い発生となったが、全体的には平年並の発生に推移した。	茎数は平年並であった。 8月中旬以降の平均気温は平年比低く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少なくて推移した。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
		白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。
		イネミズゾウムシ	平年:並 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	12160ha	予察灯への初飛来は京田辺(5月1日)で平年比早く、亀岡(5月2日)で平年並、京丹後(5月14日)で平年比やや遅かった。予察灯での誘殺数(4月第1半旬～5月第2半旬)は、京田辺で平年比多く、亀岡で平年並、京丹後で平年比少なかった。本田では平年比やや多い発生であった。	前年の新成虫の予察灯への誘殺数が平年比やや多かった。 4月下旬～5月にかけて平均気温は平年比高く推移した。	育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。
		ツマグロヨコバイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	6080ha	8月の巡回調査では、山城地域で平年比やや多い発生となったが、全体的に平年並の発生で推移した。	越冬密度は平年比少なかった。 6月～7月にかけて平均気温は平年並から高い範囲で推移したが、8月中旬以降の平均気温は平年比低く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ヒメビウンカ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	5072ha	6月～9月に発生を確認、平年並の発生となった。	越冬密度は平年並であった。 6月～7月にかけて気温は平年比高く推移したが、8月中旬以降の平均気温は平年比低く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		セジロウンカ	平年:遅 前年:遅	平年:並 前年:やや多	11658ha	予察灯への初飛来は、京田辺(7月21日)、亀岡(7月17日)及び京丹後(7月22日)で平年比遅かった。本田では6月から南丹及び丹後地域で発生を認めたが、7月～9月に平年並の発生に推移した。	飛来量は平年比やや少なかった。 6月～7月にかけて気温は平年比高く推移したが、8月中旬以降の平均気温は平年比低く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		トビイロウンカ	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:少	0ha	府内3か所(丹後、丹波及び山城地域)に設置している予察灯(60W)への飛来を認めなかった。巡回調査でも発生を認めなかった。	飛来量は平年並であった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行う。
		ニカメイガ	平年:－ 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	予察灯及び巡回調査では発生を認めなかった。		常発地では本田防除を実施。
		イチモンジセセリ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや少	3542ha	6～8月に丹後地域を中心に発生を確認した。6月には平年比多い発生となった。		常発地では本田防除を実施。
		コブノメイガ	平年:並 前年:やや早	平年:並 前年:やや多	3374ha	8～9月にかけて山城、南丹及び丹後地域で発生を確認した。全体的には平年並の発生に推移したが、9月には丹後地域で平年比やや多い発生となった。	飛来量は平年比やや少なかった。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。
斑点米カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	6582ha	本田及び畦畔雑草とも、平年並の発生となった。予察灯(60W)へのアサジカスミカメ及びアカヒゲホソドリカスミカメの誘殺数は平年並であった。優占種は、アサジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシであった。山城地域の一部ほ場ではミナミアオカメムシが9月に多発した。	カメムシ類増加の要因として、水田内外の雑草管理の不足、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草地)の増加、地域一斉防除の減少等が考えられる。ミナミアオカメムシの多発は、ほ場周辺雑草(カラシナ、ホナガイヌビユなど)の増加が考えられる。	出穂期前後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除(出穂期と傾穂期の2回)を行っている。		

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ムギ	245ha	赤かび病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	14ha	5月の巡回調査では、大麦では発生を認めなかったが、小麦で少程度の発生を認めた。	4月上中旬に降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	開花期以降の薬剤散布(2回)。 収穫前に降雨が続く時は薬剤の追散布。
ダイズ (黒大豆)	373ha	アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	187ha	巡回調査では、7、8月に発生を認めなかったが、9月に平年比やや少ない発生を認めた。 農林センター内の黄色水盤では、8月上旬は平年比やや多い発生であったが、その後平年比少ない発生であった。	7～9月の発生:降雨が続き、増殖が抑えられたため。	殺虫剤への種子浸漬または移植時粒剤施用。 カメムシ類、ハスモンヨトウの薬剤散布で同時防除。
		カメムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	94ha	巡回調査では、8、9月に平年並の発生を認めた。		開花期以降の薬剤散布(3回以上)。
		ハスモンヨトウ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	373ha	巡回調査では、8月に平年比やや多い発生を認めたが、9月は平年並の発生となった。 フェロモントラップ誘殺数は、8月は平年比やや多かったが、9月は平年並であった。	8月の発生:高温により増殖が促進されたため。	白変葉の除去。 カメムシ類との同時防除(3回以上)。
カンキツ	52ha	そうか病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	6ha	巡回調査では、8月に平年比多い発生を認めた。 過去10年間、発生を認めていなかったが、今年、初めて発生を確認した。	8月の発生:降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		黒点病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		かいよう病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	26ha	巡回調査では、6～7月に平年比やや多い発生を認めたが、8～9月は平年比やや少ない発生となった。	6、7月の発生:降雨が続き、一部の圃場で適切に防除ができなかったため。 8、9月の発生:降雨が続き、増殖が抑えられたため。	薬剤散布。
		ヤノネカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	15ha	巡回調査では、6月に平年比やや多い発生を、8、9月に平年並の発生を認めた。	6月の発生:降雨が続き、一部の圃場で適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		ミカンハモグリガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:多	15ha	巡回調査では、5月に平年比やや少ない発生を、7～9月に平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
ナシ	78ha	黒斑病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	-	巡回調査では、6～10月に平年比やや多い～多い発生を認めた。	降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		黒星病	平年:- 前年:-	平年:多 前年:並	-	巡回調査では、6～10月に概ね平年比多い発生を認めた。	降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		赤星病	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。	発生なし:原因不明。	薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:多	33ha	巡回調査では、7～10月に概ね平年比やや多い発生を認めた。	降雨が続き、防除が遅れた一部の圃場で多発生となった。	薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	40ha	巡回調査では、6～7月は平年並の発生であったが、8月に平年比多い発生を認め、9～10月は平年比やや少ない～少ない発生となった。	6、7、9、10月の発生:降雨が続き、増殖が抑えられたため。 8月の発生:上旬の高温(晴天)で増殖が進んだため。	薬剤のローテーション防除。
		シンクイムシ類	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		袋掛け。 薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ブドウ	83ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや少	40ha	巡回調査では、6～9月に概ね平年比やや多い発生を認めた。	降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
カキ	208ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	15ha	巡回調査では、10月に平年比やや多い発生を認めた。		薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	185ha	巡回調査では、5～6月、10月に平年並の発生を、7～9月に平年比やや多い発生を認めた。	7～9月の発生:降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		落葉病類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		カキノヘタムシガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		カイガラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	69ha	巡回調査では、9月に平年比やや多い発生、10月に平年比多い発生を認めた。	9～10月の発生:降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	17ha	巡回調査では、9月に平年比やや多い発生を認めた。	9月の発生:降雨が続き、一部の圃場で適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
		チャノキアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや多	139ha	巡回調査では、8～9月に平年比多い発生、10月に平年比やや多い発生を認めた。	加害時期の高温。 薬剤感受性の低下?	薬剤散布。
		カクダアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	45ha	巡回調査では、7月に平年比多い発生を、9月に平年比やや多い発生を認めた。	降雨が続き、適切に防除ができなかったため。	薬剤散布。
チャ	1618ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	1182ha	山城地域では、一番茶期と10月に発生が目立ったが、全体的に平年並の発生に推移した。丹波地域では一年を通じて平年比やや多い発生となった。丹後地域では、5及び9～10月に平年比多い発生となった。	昨年の発生が多かったため、菌密度が高まったと思われる。 6月から7月中旬ならびに8月中旬から9月まで曇雨天が続いたため発病が多くなった。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
		もち病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	217ha	近年は、ほとんど発生を認めなかったが、山城地域では8～10月、丹波地域では10月に平年比多い発生となった。	8月中旬から9月までの曇雨天が続いたため発病が多くなった。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
		チャノコカクモンハマキ	平年:やや早い 前年:早い	平年:並 前年:並	448ha	フェロモントラップへの誘殺数は、山城及び丹波地域とも平年並に推移した。巡回調査では7月に丹波地域の一部で中程度の発生を確認したが、全体的に平年並の発生に推移した。	降雨等によって、防除適期に薬剤散布ができなかったと思われる。	幼虫ふ化期の薬剤防除
		チャノミドリヒメコバイ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	1021ha	府全域で6月から発生を確認し、全体的に平年比やや多い発生に推移した。	一部薬剤に対する感受性の低下。	二番茶摘採後、新芽伸育時の薬剤防除 チャノキアザミウマと同時防除
		カンザワハダニ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	803ha	8月に府全域で平年比やや多い発生になったが、全体的に平年並の発生に推移した。	梅雨明けから8月上旬までは晴天が続いたため発生が助長されたと考えられる。	越冬前及び萌芽期前後の薬剤防除 一番茶、二番茶摘採後の薬剤防除 同一薬剤の連用を避ける
		チャノキアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	1400ha	府全域で平年比やや少ない発生に推移したが、発生程度は園によって差が大きい。	梅雨明けから8月上旬までは晴天が続いたため発生が助長されたと考えられる。 一部薬剤に対する感受性の低下。	二番茶摘採後、新芽伸育時の薬剤防除 チャノミドリヒメコバイと同時防除
		クワシロカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:少	1070ha	丹後地域では8～10月にかけて平年比やや多い発生になったが、全体的に平年並から少ない発生に推移した。 ピリプロキシフェンMC剤を導入している茶園では発生が少ない。	ピリプロキシフェンMC剤を導入している地域では発生が抑えられている。 適期防除(幼虫ふ化期)の未実施。	冬のピリプロキシフェンMC剤処理(使用可能な地域)。 他の地域では幼虫ふ化期の薬剤防除。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春トマト	29ha	疫病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		モザイク病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		育苗時における苗の選別。 定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	2ha	巡回調査では、5月に例年比多い発生を認めた。	5月の発生:高温により増殖が促進されたため。	定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。 薬剤散布。
夏秋ナス	177ha	うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	110ha	5月から8月までは平年並の発生で推移したが、9月には平年比やや多い発生を認めた。10月の発生は平年比少なかった。	8月下旬から9月中旬にかけての長雨により発病が助長され、また、長雨により防除ができなかったことが多発の要因と考えられる。	薬剤に対する感受性低下を防ぐため、ローテーション防除の実施
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	81ha	5月から6月までは平年比やや少ない発生で推移したが、7月には平年比やや多い発生を認めた。8月の発生量は平年比やや少なく、9月には平年比やや多い発生を認めた。10月の発生は平年比やや少なかった。	8月下旬から9月中旬にかけての長雨により防除ができなかったことが要因の一つと考えられる。	定植時の粒剤使用
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	91ha	5月から6月までは平年並の発生で推移し、7月は発生を認めず、平年比少なかった。8月は平年並の発生となり、9月は平年比やや多い発生を認めた。10月の発生は平年並であった。ナミハダニとカンザワハダニが発生していた。	8月下旬から9月中旬にかけての長雨により防除ができなかったことが要因の一つと考えられる。	発生初期からの茎葉散布 効果の高い薬剤による適期散布
		アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	96ha	5月から6月までは平年並の発生で推移し、7月には平年比やや多い発生を認めた。8月の発生量は平年比やや少なく、9月には平年比やや多い発生を認めた。10月の発生は平年並であった。	8月下旬から9月中旬にかけての長雨により防除ができなかったことが要因の一つと考えられる。	定植時における粒剤施用。 薬剤散布。
夏秋キュウリ	121ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	64ha	5月の発生量は平年比やや多く、6月には平年比多い発生を認めた。	4月に曇雨天が続いたため育苗が難しく、定植時後間もない時期から発病を認めたほ場も見られた。	発生初期からの茎葉散布
		炭そ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	30ha	7月に平年比やや多い発生を認めた。	6月下旬の多雨により発病が助長されたと考えられる。	発生初期からの茎葉散布
		疫病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		排水対策
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	8ha	発生量は平年並であった。		発生初期からの茎葉散布
		斑点細菌病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	16ha	6月に平年比多い発生を認めた。	苗による持ち込みが多発の要因の一つと考えられる。	
		モザイク病	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや多	24ha	7月に平年比やや多い発生を認めた。		定植時の粒剤施用 一部ほ場では弱毒ウイルス使用
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	40ha	発生量は平年並であった。		定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除
アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	113ha	5月の発生量は平年並で、6月には平年比やや多い発生を認めた。7月の発生量は平年並であった。	5月の高温乾燥天候が多発の要因と考えられる。	定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除		

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ダイコン	241ha	モザイク病	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		は種時の粒剤使用(アブラムシ類対策)
		アブラムシ類	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	60ha	9月、10月の発生は平年並で、11月は発生を認めなかった(平年並)。		は種時の粒剤使用
春キャベツ	140ha	菌核病	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	10ha	3月に巡回調査ほ場周辺で発生を認めた。		発生初期の薬剤防除
		黒腐病	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:やや多	10ha	5月に平年比やや多い発生を認めた。	4月上、中旬の長雨により、発病が助長されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除
		モンシロチョウ	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		他害虫との同時防除
		コナガ	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	40ha	発生量は平年並であった。	有効薬剤が増加しており、発生は減少傾向である。	定植時の粒剤施用 他害虫との同時防除
		ヨトウガ類	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤散布 他の害虫との同時防除
冬キャベツ	100ha	菌核病	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	10ha	9月、10月の巡回調査では発生を認めず、11月に調査株外で発生を認めた(発生量はいずれも平年並)。	11月の高温多雨により、発病が助長されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除
		黒腐病	平年:ー 前年:ー	平年:多 前年:多	20ha	9月は平年比多い発生を認めたが、10月、11月は発生を認めず、平年並の発生であった。	8月下旬から9月中旬にかけての長雨により、発病が助長されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除
		モンシロチョウ	平年:ー 前年:ー	平年:やや少 前年:やや少	33ha	9月は発生を認めず(平年比やや少)、10月の発生量は平年並、11月には平年比やや多い発生を認めた。	10月の少雨多照天候が、発生に好適であったと考えられる。	他害虫との同時防除
		コナガ	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	20ha	9月の発生量は平年比やや多く、10月の発生は平年並、11月は平年比やや少なかった。		定植時の粒剤施用 他害虫との同時防除
		ヨトウガ	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	20ha	9月、11月は発生を認めず(いずれも平年並)、10月の発生量は平年並であった。		発生初期の薬剤散布 他の害虫との同時防除
夏ネギ	57ha	さび病	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	14ha	5月に平年比やや多い発生を認めたが、それ以外の月は発病を認めず、平年並の発生であった。	4月上、中旬の長雨により、発病が助長されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除
		黒斑病	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	42ha	7月に平年比多い発生を認めたが、それ以外の月は発病を認めず、平年並の発生であった。 「大株」(草丈の長いネギ)ほ場(H26年から調査)では、6月、8月、9月に発病を認めた。	6月上旬、下旬の多雨により発病が助長されたと考えられる。	
		アブラムシ類	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	34ha	4月の発生量は平年比多かったが、5月は平年並、6月以降9月まで発生を認めなかった(平年並)。	3月中、下旬の高温により飛来数が増加したと考えられる。	他害虫との同時防除
		ネギハモグリバエ	平年:ー 前年:ー	平年:少 前年:少	57ha	4月の発生量は平年並であったが、5月以降9月までの発生は平年比やや少〜少で推移した。	4月、9月の長雨により発生量が少なくなったと考えられる。	
		ネギアザミウマ	平年:ー 前年:ー	平年:多 前年:やや多	57ha	発生量は、8月(平年並)以外、9月まで平年比やや多〜多発で推移した。 山城地域では、本種が媒介するネギえそ糸斑病の発生を広い範囲で確認した。		発生初期の薬剤防除 発生源となるほ場周辺の除草 防虫ネット利用による物理的防除

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
秋冬ネギ	184ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10月、11月は発生を認めず、発生は平年並であった。		発生初期の薬剤防除 発生源となるほ場周辺の除草 防虫ネット利用による物理的防除
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	23ha	10月、11月は発生を認めず、発生は平年並であった。 「大株」(草丈の長いネギ)ほ場(H26年から調査)で、10月に発病を認めた。		
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10月、11月は発生を認めず、発生量は平年並であった。		
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	147ha	10月、11月の発生量は平年比少なかった。		発生初期の薬剤防除 発生源となるほ場周辺の除草 防虫ネット利用による物理的防除
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	184ha	10月、11月の発生量は平年比多かった。	府南部地域では新系統(産雄性)が優占し、在来系統と薬剤感受性が異なる可能性が高い。	発生初期の薬剤防除 発生源となるほ場周辺の除草 防虫ネット利用による物理的防除
ホウレンソウ	327ha	アブラムシ類	平年：並 前年：－	平年：並 前年：並	82ha	春期の発生量は平年並であった。		他害虫との同時防除
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除

## II 重要病害虫侵入警戒調査の実施

### (I) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

#### 1 事業実施地区の概況

調査対象 病害虫	市町村	主要規制植物の栽培状況							
		カンキツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウリ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	-	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	-	96	33	43	15	23	14	224
火傷病	京丹後市		96						96

#### 2 実施状況及び結果

項目	調査概要	調査結果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査梨園3か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

### (II) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメにおいて、国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)によるウメ輪紋病の発生が確認された。

本ウイルスはアブラムシ類が媒介し、サクラ属のウメ、モモ、スモモ等の果樹が感染、発病する。発病樹は葉や花卉、外果皮に斑紋が現れるとともに、早期落果により収穫量が減少する。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するため、全国調査が実施された。

平成21年以降も毎年、全国的な調査が行われており、本府においてもウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

#### 1 全国調査

- 1) 調査対象植物      ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域    平成27年5月26日：福知山市、綾部市、京丹後市  
平成27年5月27日：京丹後市
- 3) 調査及び検定制度   調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所
- 4) 調査方法            ①調査園及び周辺園を見取り調査。  
②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。
- 5) 調査結果            ①発病を認めなかった。  
②LAMP法による検定で、全て陰性であった。



種 類	調査地域数	調査園数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウ メ	5	6	150	0
モ モ	4	5	125	0
合 計	9	11	275	0

### (Ⅲ) キウイフルーツかいよう病発生状況調査

平成26年5月に、国内の複数のキウイフルーツ生産県において、かいよう症状を呈した発病樹から国内で発生報告がなかったキウイフルーツかいよう病菌の新系統（Psa3）が確認された。

本系統の発病樹は、花蕾の褐変、腐敗や枝幹の枯死等の収穫量の減少に直結する被害をもたらし、国内のキウイフルーツ産業への影響が危惧されている。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するために緊急全国調査が実施され、本府においても調査を行った。

#### 1 全国調査

- 1) 調査対象植物      キウイフルーツ
- 2) 調査日時・地域    平成27年5月27日：宮津市    2園  
平成27年5月29日：亀岡市    1園
- 3) 調査及び検定体制   調査実施機関：京都府
- 4) 調査方法            調査園を見取り調査。
- 5) 調査結果            発病を認めなかった。

## Ⅲ 調査・試験結果

単年度試験研究成績(2016年3月作成)

近畿中国四国農業 > 生産環境 > 病害虫 > 虫害 > IV-12-d

実施課題名：1. 難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立

(1) 各種有色ネットに対するタバココナジラミの行動反応特性の解明

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋・上山 博・岡留和伸

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、農業生物資源研究所、京都農技セ・農林セ・園芸部

予算(期間)：SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(2015年度)

### 1. 目的

ネギ、トウガラシ類などの野菜生産現場では、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫が多発し、生産物の品質低下などの被害が生じている。また、アザミウマ類、コナジラミ類では殺虫剤感受性の低下が報告され、殺虫剤のみに頼った防除には限界が生じており、化学殺虫剤に頼らない物理的防除法や生物的防除法の開発が求められている。物理的防除法の一つとして期待される赤色防虫ネットは、これまでにネギアザミウマ及びミナミキイロアザミウマに対する防除効果が報告されているが、そのメカニズムや他の微小害虫に対する防除効果については明らかにされていない。そこでアザミウマ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類などの微小害虫を対象に様々な色及び目合いの防虫ネットに対する行動反応特性について明らかにする。

### 2. 方法

(1) 供試虫：タバココナジラミ(住化テクノサービス株式会社から購入、徳丸(2012)の方法によりキャベツを寄主に25℃長日条件下で累代飼育した系統)

(2) 供試ネット：赤系(赤白、赤赤、赤黒)、黒系(黒白、黒黒)及び白、0.8、1.0及び2.0mm目合い

(3) 実験場所：京都府農林水産技術センター農林センター内昆虫実験室(25℃15L9D)

(4) 実験方法

初生葉のみを残したインゲンマメ(品種：つるなしプラス菜豆)の苗を、0.8、1.0及び2.0mm目合いの赤系、黒系及び白色の防虫ネットでそれぞれ覆った。その後、苗を飼育ケージ(幅304mm×奥行250mm×高さ280mm;ツマグロヨコバイ類大量飼育箱)へ入れ、タバココナジラミの成虫(雌雄の比は1:1)を20匹放飼し、25℃長日条件下(15L9D)に設定した恒温器内に設置した。放飼24時間後にネット内への侵入成虫数及び産卵数を調査した。反復は5とした。

### 3. 結果の概要

(1) 2.0mm目合いの防虫ネットでは黒白が白に比べてタバココナジラミのネット内への侵入率を約1/3に有意に抑えた。1.0mm目合いの防虫ネットでは、赤白及び黒白が白の2/5~1/3に有意に抑えた(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定,  $p < 0.05$ ) (図1)。

(2) 0.8mm目合いの防虫ネットでは、赤赤を除く赤系及び黒系の防虫ネットが白に比べてタバココナジラミのネット内への侵入率を1/5~1/2に有意に抑えた(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定,  $p < 0.05$ )。特に、赤黒ネットの侵入率は最も低かった(以上、図1)。

(3) 2.0mm及び0.8mm目合いの防虫ネットでの産卵数は、色間で有意な差は見られなかったが、2.0mm目合いでは黒白、0.8mm目合いでは赤黒及び黒黒での産卵は比較的少なかった。1.0mm目合いの防虫ネットでは、黒白が白に比べて有意に産卵数を1/5に抑えた(Steel-Dwassの多重比較検定,  $p < 0.05$ ) (以上、図2)。

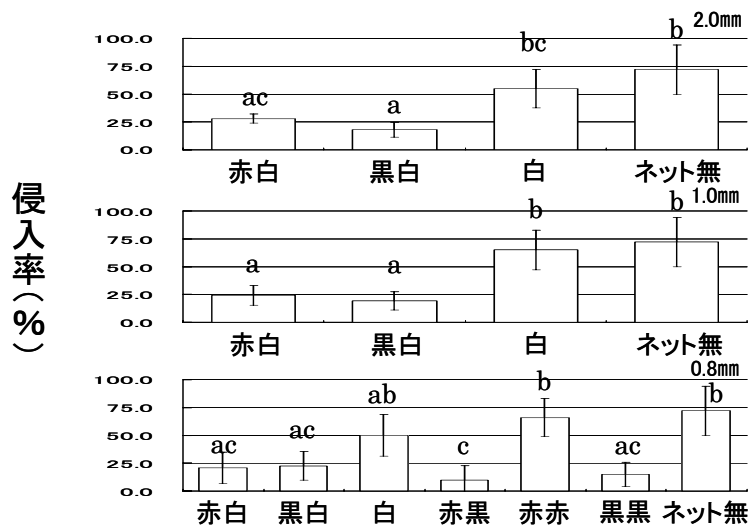


図1 タバココナジラミ成虫に対する各種防虫ネットの侵入抑制効果  
同一目合いにおいて異なる文字間で有意差あり  
(逆正弦変換値を用いた Tukey-Kramer の多重比較検定,  $p < 0.05$ )

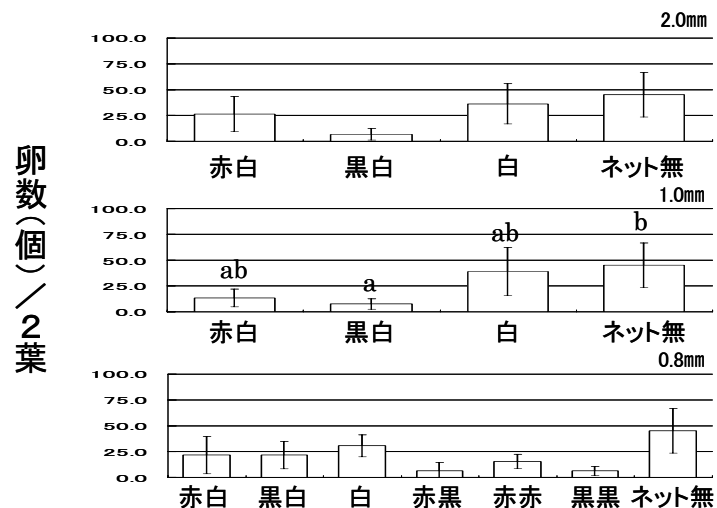


図2 タバココナジラミ成虫に対する各種防虫ネットの産卵抑制効果  
同一目合いにおいて異なる文字間で有意差あり  
(Steel-Dwass の多重比較検定,  $p < 0.05$ )

#### 4. 結果の要約

タバココナジラミでは、赤及び黒系の防虫ネットで成虫の侵入率を白色ネットの約5分の1から2分の1に、産卵数を約5分の1から3分の2にそれぞれ抑制し、0.8 mm目合いの赤黒ネットでは侵入を有意に抑えた

[キーワード]タバココナジラミ、赤、防虫ネット、侵入率、産卵

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

(1) ほ場試験の実施。

#### 6. 結果の発表、活用等

(1) 徳丸 晋 (2016) “色”による害虫管理：赤および黄系色を利用した微小害虫防除技術の開発、光と色を活用した病害虫防除研究ワークショップ

(2) 徳丸 晋・伊藤 俊・上山 博・吾郷泰三・阿部弘文 (2016) 赤系ネットに対するタバココナジラミ、トマトハモグリバエおよびネギアザミウマの行動反応特性、日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会

実施課題名：1. 難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立

(2)各種有色ネットに対するトマトハモグリバエの行動反応特性の解明

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋・上山 博・岡留和伸

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、農業生物資源研究所、京都農技セ・農林セ・園芸部

予算(期間)：SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(2015年度)

### 1. 目的

ネギ、トウガラシ類などの野菜生産現場では、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫が多発し、生産物の品質低下などの被害が生じている。また、アザミウマ類、コナジラミ類では殺虫剤感受性の低下が報告され、殺虫剤のみに頼った防除には限界が生じており、化学殺虫剤に頼らない物理的防除法や生物的防除法の開発が求められている。物理的防除法の一つとして期待される赤色防虫ネットは、これまでにネギアザミウマ及びミナミキイロアザミウマに対する防除効果が報告されているが、そのメカニズムや他の微小害虫に対する防除効果については明らかにされていない。そこでアザミウマ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類などの微小害虫を対象に様々な色及び目合いの防虫ネットに対する行動反応特性について明らかにする。

### 2. 方法

- (1) 供試虫：トマトハモグリバエ(2000年8月15日に京都府城陽市寺田のカボチャから採集、Abe(2001)の方法によりインゲンマメを寄主に25℃長日条件下で累代飼育した系統)
- (2) 供試ネット：赤系(赤白、赤赤、赤黒)、黒系(黒白、黒黒)及び白、0.8、1.0及び2.0mm目合い
- (3) 実験場所：京都府農林水産技術センター農林センター内昆虫実験室(25℃15L9D)
- (4) 実験方法  
初生葉のみを残したインゲンマメ(品種：つるなしプラス菜豆)の苗を、0.8、1.0及び2.0mm目合いの赤系、黒系及び白色の防虫ネットでそれぞれ覆った。その後、苗を飼育ケージ(幅304mm×奥行250mm×高さ280mm;ツマグロヨコバイ類大量飼育箱)へ入れ、トマトハモグリバエの雌成虫を10匹放飼し、25℃長日条件下(15L9D)に設定した恒温器内に設置した。放飼24時間後にネット内への侵入成虫数、産舐痕数及び潜行幼虫数を調査した。反復は5とした。

### 3. 結果の概要

- (1) 2.0mm及び1.0mm目合いの防虫ネットでは、黒白が白に比べてトマトハモグリバエのネット内への侵入率を約1/3~1/2に抑えたが、有意差は認められなかった(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定,  $p>0.05$ )(図1)。
- (2) 0.8mm目合いの防虫ネットでは、赤白及び黒白が白に比べてトマトハモグリバエのネット内への侵入率を約1/5~1/3に抑えたが、有意な差はなかった(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定,  $p>0.05$ )(図1)。
- (3) 2.0及び1.0mm目合いの防虫ネットにおける産卵数は、色間で顕著な差は見られなかった。0.8mm目合いでは赤白及び黒白が白に比べて産舐痕数を約50分の1から7分の1に抑えたが、有意な差は認められなかった(Steel-Dwassの多重比較検定,  $p>0.05$ )(以上、図2)。
- (4) 幼虫数は、赤系及び黒系の防虫ネットで白の約25分の1から6分の1に抑制したが有意な差は認められなかった(Steel-Dwassの多重比較検定,  $p>0.05$ )(図省略)。

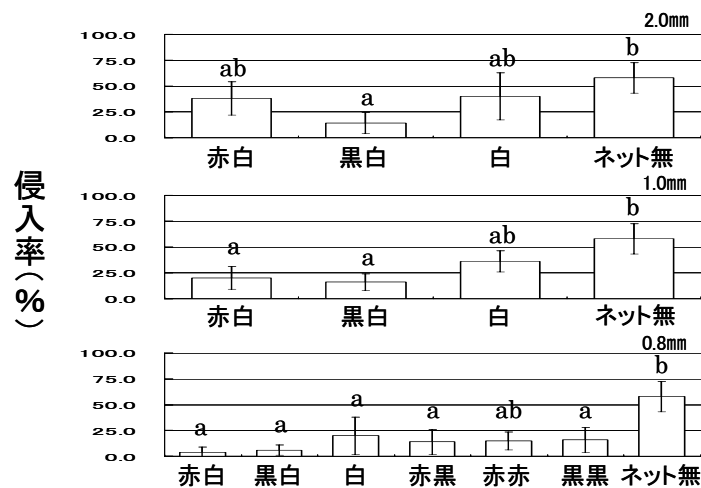


図1 トマトハモグリバエ雌成虫に対する各種防虫ネットの侵入抑制効果  
同一目合いにおいて異なる文字間で有意差あり  
(逆正弦変換値を用いた Tukey-Kramer の多重比較検定,  $p < 0.05$ )

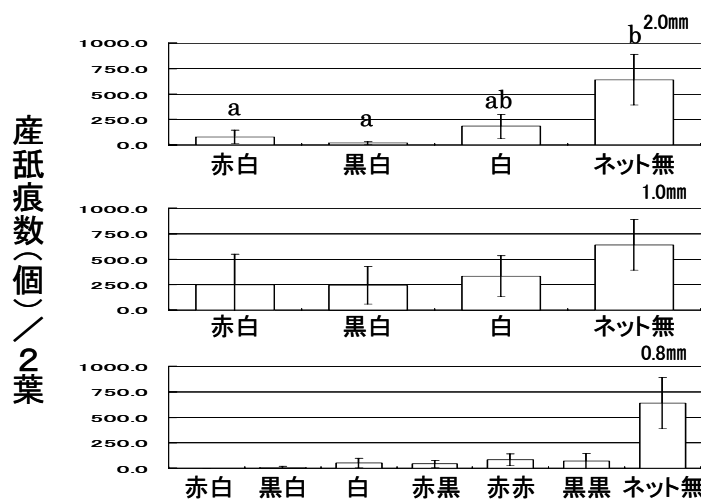


図2 トマトハモグリバエ雌成虫に対する各種防虫ネットの産卵抑制効果  
同一目合いにおいて異なる文字間で有意差あり  
(Steel-Dwass の多重比較検定,  $p < 0.05$ )

#### 4. 結果の要約

トマトハモグリバエでは赤及び黒系の防虫ネットで成虫の侵入率を白色ネットの約5分の1から3分の1に、産卵痕数を約50分の1から7分の1に、幼虫数を約25分の1から6分の1に抑制した

[キーワード] トマトハモグリバエ、赤、防虫ネット、侵入率、産卵

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

(1) ほ場試験の実施。

#### 6. 結果の発表、活用等

(1) 徳丸 晋 (2016) “色”による害虫管理：赤および黄系色を利用した微小害虫防除技術の開発、光と色を活用した病害虫防除研究ワークショップ

(2) 徳丸 晋・伊藤 俊・上山 博・吾郷泰三・阿部弘文 (2016) 赤系ネットに対するタバココナジラミ、トマトハモグリバエおよびネギアザミウマの行動反応特性、日本昆虫学会第76回大会・第60回日本応用動物昆虫学会大会合同大会

実施課題名：1. 難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立

(3)各種有色ネットに対するネギアザミウマの行動反応特性の解明

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋・上山 博・岡留和伸

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、農業生物資源研究所、京都農技セ・農林セ・園芸部

予算(期間)：SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(2015年度)

## 1. 目的

ネギ、トウガラシ類などの野菜生産現場では、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫が多発し、生産物の品質低下などの被害が生じている。また、アザミウマ類、コナジラミ類では殺虫剤感受性の低下が報告され、殺虫剤のみに頼った防除には限界が生じており、化学殺虫剤に頼らない物理的防除法や生物的防除法の開発が求められている。物理的防除法の一つとして期待される赤色防虫ネットは、これまでにネギアザミウマ及びミナミキイロアザミウマに対する防除効果が報告されているが、そのメカニズムや他の微小害虫に対する防除効果については明らかにされていない。そこでアザミウマ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類などの微小害虫を対象に様々な色及び目合いの防虫ネットに対する行動反応特性について明らかにする。

## 2. 方法

(1) 供試虫：ネギアザミウマ(2015年8月4日に京都府亀岡市余部町の京都府農林水産技術センター農林センター内のネギほ場から採集、ネギを寄主に25℃長日条件下で累代飼育した系統)

(2) 供試ネット：赤系(赤白、赤赤、赤黒)、黒系(黒白、黒黒)及び白、0.8及び2.0mm目合い

(3) 実験場所：京都府農林水産技術センター農林センター内昆虫実験室(25℃15L9D)

(4) 実験方法

アイスクリームカップ(直径10cm×高さ4.5cm)に植えたネギ(品種：九条太)の苗を、0.8及び2.0mm目合いの赤系、黒系及び白色の防虫ネットでそれぞれ覆った。その後、苗を飼育ケージ(幅304mm×奥行き250mm×高さ280mm;ツマグロヨコバイ類大量飼育箱)へ入れ、ネギアザミウマの成虫を20匹放飼し、25℃長日条件下(15L9D)に設定した恒温器内に設置した。放飼24時間後にネット内への侵入成虫数及び食害箇所数を調査した。反復は10とした。

## 3. 結果の概要

(1) 2.0mm目合いの防虫ネットでは、赤白が白に比べてネギアザミウマのネット内への侵入率を約1/3に有意に抑えた(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定,  $p < 0.05$ ) (図1)。

(2) 0.8mm目合いの防虫ネットでは、赤黒及び赤赤が白に比べてネギアザミウマのネット内への侵入率を約1/14~1/8に有意に抑えた(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定,  $p < 0.05$ ) (図1)。

(3) 2.0mm目合いの防虫ネットでは、赤白が白に比べてネギアザミウマの食害痕数は少なかったが有意な差は認められなかった。0.8mm目合いでは赤黒及び赤赤が白に比べて食害痕数を約9分の1から4分の1に有意に抑えた(Steel-Dwassの多重比較検定,  $p < 0.05$ ) (以上、図2)。

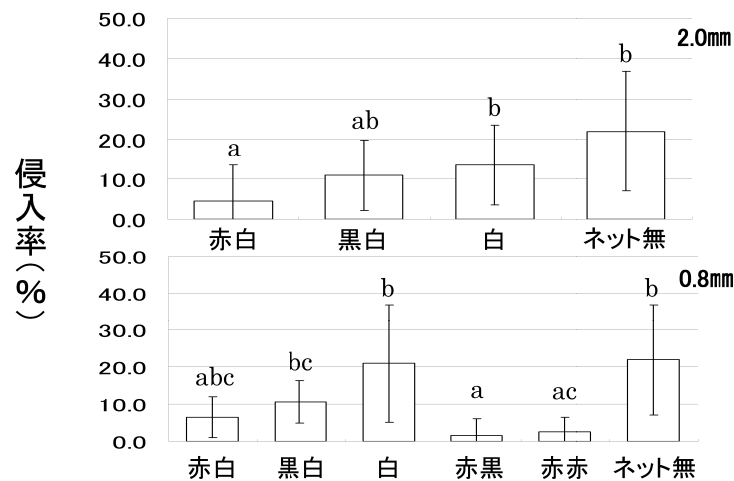


図1 ネギアザミウマ成虫に対する各種防虫ネットの侵入抑制効果  
同一目合いにおいて異なる文字間で有意差あり  
(逆正弦変換値を用いた Tukey-Kramer の多重比較検定,  $p < 0.05$ )

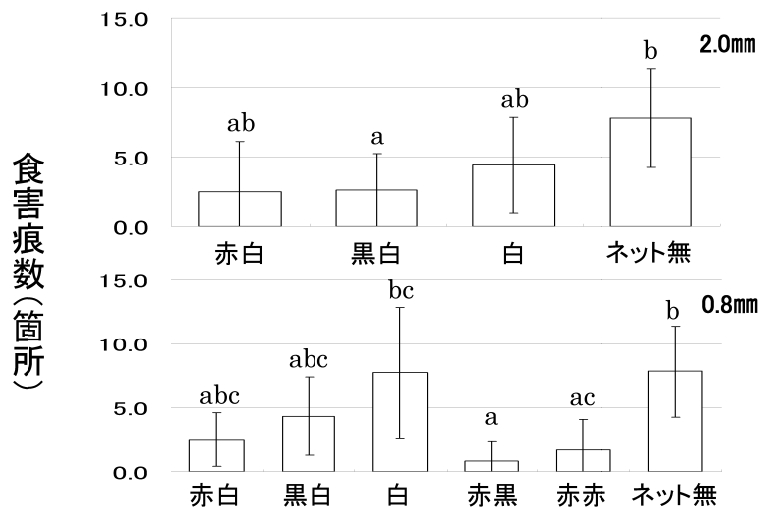


図2 ネギアザミウマ成虫に対する各種防虫ネットの食害抑制効果  
同一目合いにおいて異なる文字間で有意差あり  
(Steel-Dwass の多重比較検定,  $p < 0.05$ )

#### 4. 結果の要約

ネギアザミウマでは赤系で成虫の侵入を白色ネットに比べて約 14 分の 1 から 3 分の 1 に、食害箇所数を約 9 分の 1 から 3 分の 1 にそれぞれ抑制し、特に赤赤及び赤黒ネットの侵入抑制が高く、食害箇所数も少なかった。

[キーワード]ネギアザミウマ、赤、防虫ネット、侵入率、産卵

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

(1) ほ場試験の実施。

#### 6. 結果の発表、活用等

(1) 徳丸 晋 (2016) “色”による害虫管理：赤および黄系色を利用した微小害虫防除技術の開発、光と色を活用した病害虫防除研究ワークショップ

(2) 徳丸 晋・伊藤 俊・上山 博・吾郷泰三・阿部弘文 (2016) 赤系ネットに対するタバココナジラミ、トマトハモグリバエおよびネギアザミウマの行動反応特性、日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会

---

実施課題名：4. 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(1) イネにおけるミナミアオカメムシの発生消長調査

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋

協力分担：JA 京都中央、全農京都

予算(期間)：国庫(植防交付金) (2015年度)

---

## 1. 目的

ミナミアオカメムシは、成幼虫がイネ科、マメ科など広範囲の農作物を吸汁加害する。本種はこれまで沖縄、小笠原諸島、九州、四国および近畿の南部地域にのみ生息が確認されていたが、近年、地理的分布を北上させ、京都府では2010年に初めて発生を確認した。本種の京都府における発生生態は不明な点が多く、本種の季節的発生推移及び作型別の斑点米率を調べることは防除対策を構築する上で重要である。そこで、発生地域(山城地域)のイネにおける本種の季節的発生推移と斑点米率について作型別に調査する。

## 2. 方法

### (1) 調査地点

京都市伏見区向島1 (作型：普通、品種：京の輝き、面積：30a、以下、イネ①と略記)

〃 2 (作型：晩生、品種：ヒノヒカリ、面積：23a、以下、イネ②と略記)

〃 羽束師1 (作型：普通、品種：キヌヒカリ、面積：15a、以下、イネ③と略記)

〃 2 (作型：晩生、品種：ヒノヒカリ、面積：30a、以下イネ④と略記)

〃 西京区大原野 (作型：晩生、品種：ヒノヒカリ、面積：8a、以下、イネ⑤と略記)

### (2) 調査期間

2015年6~10月まで約7日間隔

### (3) 調査内容

25株見取り調査：全調査地点

20回振りすくい取り調査：本田(全ほ場)、畦畔(イネ②及び⑤)

斑点米調査：9月10日(イネ①及び③)、10月2日(イネ①、②、④及び⑤)

### (4) 調査方法

各ほ場でランダムにイネを25株選択し、ミナミアオカメムシおよび他の斑点米カメムシ類の成幼虫数を数えた。また同様に、本田もしくは畦畔雑草内で20回振りすくい取り調査を行った。ミナミアオカメムシと考えられる幼虫は実験室に持ち帰り、25℃長日条件下(15L9D)の恒温器内で成虫になるまで飼育後、外部形態の観察により種を同定した。9月10日及び10月2日には、各ほ場の4箇所(畦畔から4条目×2箇所および中央部×2箇所)のそれぞれ200~250株について、各株から1穂を採取した。約1か月間、実験室内で乾燥させた後、脱穀、籾摺りを行い、斑点米粒について調査を行った。斑点米調査は簡易的に大型カメムシ類と小型カメムシ類による被害粒にそれぞれ分けて行った。

## 3. 結果の概要

(1) イネ①では、幼虫の発生を9月中旬に本田のすくい取り調査で1匹のみ確認した。イネ②では、出穂期の8月下旬から収穫期まで成虫及び幼虫が断続的に発生し、優占的であった(図1)。イネ③では、7月上旬から小型カメムシ類(アカヒゲホソミドリカスミカメ)の発生を確認したが、登熟期の9月中旬からはミナミアオカメムシの発生が優占した(図2)。イネ④では、出穂期の9月上旬からミナミアオカメムシの成虫及び幼虫が断続的に発生したが、本田のすくい取り調査では小型カメムシ(アカスジカスミカメ)の発生も見られた。イネ⑤では、



小型カメムシ類（アカスジカスミカメ）が畦畔雑草で6月下旬、本田で7月上旬から始まり、10月下旬まで断続的に発生した。ミナミアオカメムシの発生は登熟期の10月上旬から収穫期まで見られた。

(2) イネ①では、小型カメムシ類による斑点米被害粒が多く10月収穫の斑点米率は9月収穫の約3倍になった。イネ②では、ミナミアオカメムシを中心とした大型カメムシ類による斑点米粒と小型カメムシ類による斑点米粒の割合が同等であった。また、斑点米率は畦畔際が比較的高かった（表1）。イネ③では、小型カメムシ類による斑点米粒の割合が高かった（表2）。イネ④では、大型カメムシ類による斑点米粒が小型カメムシ類による斑点米粒の割合より比較的高かった。イネ⑤では、大型カメムシ類による斑点米粒と小型カメムシ類による斑点米粒の割合が同等であった。

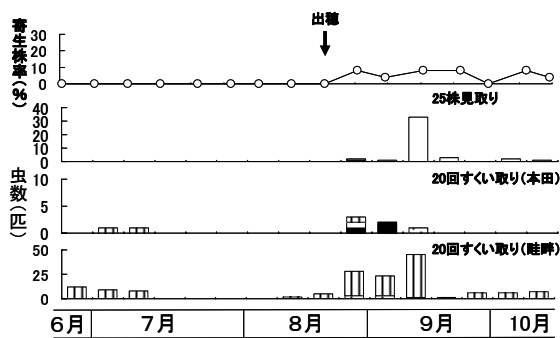


図1 ミナミアオカメムシの季節的発生推移(イネ②)

■:ミナミアオカメムシ成虫 □:同幼虫 ▨:他大型カメムシ □:他小型カメムシ

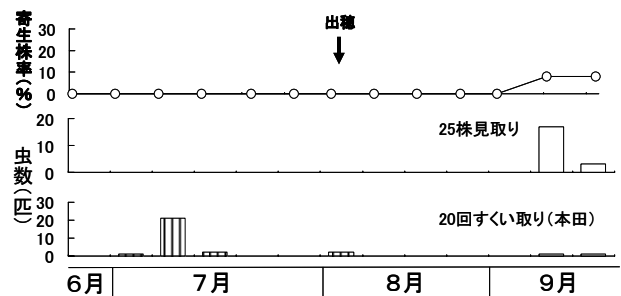


図2 ミナミアオカメムシの季節的発生推移(イネ③)

■:ミナミアオカメムシ成虫 □:同幼虫 ▨:他大型カメムシ □:他小型カメムシ

表1 イネ②における斑点米粒と斑点米率

調査場所	採穂日	調査粒数 a	大型 斑点米粒 b	小型 斑点米粒 c	斑点米率 (b+c)/a×100
畦畔1	10月2日	13,470	19	32	0.38
畦畔2	10月2日	15,271	37	21	0.38
中央1	10月2日	13,883	10	22	0.23
中央2	10月2日	15,241	22	9	0.20
合計	10月2日	57,865	88	84	0.30

表2 イネ③における斑点米粒と斑点米率

調査場所	採穂日	調査粒数 a	大型 斑点米粒 b	小型 斑点米粒 c	斑点米率 (b+c)/a×100
畦畔1	9月10日	17,519	11	45	0.32
畦畔2	9月10日	17,524	8	53	0.35
中央1	9月10日	18,421	3	61	0.35
中央2	9月10日	16,784	10	57	0.40
合計	9月10日	70,248	32	216	0.35

#### 4. 結果の要約

京都市内で栽培されている普通及び晩生栽培イネにおけるミナミアオカメムシの発生消長を調べた結果、本種は、普通栽培では登熟期の9月中旬から収穫期まで、晩生栽培では8月下旬の出穂期から10月上旬の収穫期まで発生し、晩生栽培で斑点米被害が高いことを明らかにした。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、斑点米、イネ、発生消長

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- (1) 越冬量調査。
- (2) 府内の地理的分布調査。

#### 6. 結果の発表、活用等

- (1) 徳丸 晋・新谷雅敏・上田由里子・齊藤 篤・藤ノ井 愛 (2016) 京都府におけるミナミアオカメムシの季節的発生推移と作型別の斑点米率、平成 27 年度ミナミアオカメムシの発生状況と防除対策に関する検討会

## IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

(I) 国の行う緊急防除（法第17条）への協力	本年度該当なし
(II) 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導	本年度該当なし
(III) 府の行う防除（法第29条）の指導等	本年度該当なし

## V 情報提供サービスの実施

### (I) 病害虫防除所ホームページ（アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>）

1 京都府ホームページの防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・載日等は表のとおり。

#### ①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

#### ②病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）

- ・宇治市、綾部市に設置しているチャノコカクモンハマキ、チャノホソガのフェロモントラップによる誘殺数（グラフ）を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置しているコナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数（グラフ）を更新

#### ③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、キュウリ、ネギ、ハウレンソウ、ダイコン、カブの調査結果をPDFファイルで掲載

#### ④水稻いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果

- ・JPP-NET（日本植物防疫協会が運営する農作物の病害虫防除情報サービス）内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

#### ⑤防除所ってナニ？

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

#### ⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

#### ⑦家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

2 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

#### ①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

#### ②「各種データ（巡回調査結果、フェロモン誘殺数等）」のコンテンツでは、病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）、巡回調査結果、水稻いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果の各データとリンク

#### ③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第1号	平成27年3月2日
	病害虫発生予報第2号	平成27年3月27日
	病害虫発生予報第3号	平成27年4月21日
	病害虫発生予報第4号	平成27年5月20日
	病害虫発生予報第5号	平成27年6月23日
	病害虫発生予報第6号	平成27年7月23日
	病害虫発生予報第7号	平成27年8月20日
	病害虫発生予報第8号	平成27年9月18日
	病害虫発生予報第9号	平成27年10月20日
注意報	発生予察注意報第1号：ネギアザミウマ・ネギえそ条斑病	平成27年5月25日
	発生予察注意報第2号：斑点米カメムシ類	平成27年6月23日
特殊報	発生予察特殊報第1号：トマト茎えそ病（仮称）	平成27年6月5日
	発生予察特殊報第2号：トウガラシ・ピーマンえそ輪点病	平成27年6月26日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号（麦類赤かび病情報）	平成27年4月21日
	防除所ニュース第2号（ナシ黒星病情報）	平成27年6月24日
	防除所ニュース第3号（ハスモンヨトウ情報）	平成27年8月10日
	防除所ニュース第4号（水稲ミナミアオカメムシ情報）	平成27年8月26日
	防除所ニュース第5号（ネギえそ条斑病とネギアザミウマ新系統情報）	平成27年11月16日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	平成27年4月21日
5月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成27年5月20日
6月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成27年6月23日
7月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成27年7月23日
8月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成27年8月20日
9月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成27年9月18日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成27年10月20日

【その他】

種類	更新月（更新回数）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	平成27年4月～10月 （7回）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	平成27年5月～10月 （6回）
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果	平成27年6月～7月 （5回）

## VI 病害虫調査協力員の活動状況

### (I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

### (II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月11日	①水稲の品種 ②水稲の苗、田植について ③いもち病の発生（補植用苗と本田） ④イネミズゾウムシの発生状況について ⑤その他作物の目立つ病害虫	19
7月8日	①水稲の生育状況 ②葉いもちについて ③主に使用している箱粒剤の商品名について ④斑点米カメムシ類について ⑤その他作物の目立つ病害虫	17
8月10日	①水稲の生育状況 ②いもち病、紋枯病について ③斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ウンカ、コブノメイガ、フタオビコヤガの情報 ⑤その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生及び目立つ病害虫	17
9月10日	①水稲の生育状況 ②水稲の倒伏について ③穂いもちの発生状況 ④水稲での目立った病害虫 ⑤豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑥その他作物の目立つ病害虫	17
11月5日	①水稲について（1等米比率、斑点米の発生状況等） ②今年度地域で問題となった病害虫及び指導・対応状況	16

### (III) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 平成28年2月26日
- (2) 参加者 3名
- (3) 内 容 植物防疫セミナーのページ参照

## Ⅶ 会議、打合せ・研修の実施等

### 1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
植物防疫企画会議	4月20日	京都府農林センター
植物防疫及び農薬関係業務担当者会議	5月15日	近畿農政局
全国病害虫防除所長会議	9月10日	農林水産省
新規発生病害対策に係る担当者会議	6月30日	京都乙訓農業改良普及センター
水稻共済見回り調査	9月 1日	中丹・南丹地域
農研機構「バンカー法による天敵利用の新展開について」	10月19～ 20日	今池ガスビル (名古屋市)
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	12月 3 ～ 4日	ルビノ堀川
都道府県防疫及び農薬行政担当者会議	10月30日	農林水産省
農業環境研究所公開セミナー	11月26日	秋葉原コンベンションホール
S I P 事業中間検討会	6月 3～ 2日	大阪府立環境農林水産総合研究所
第21回農作物病害虫防除フォーラム	12月 9日	農林水産省
平成27年度農薬展示ほ成績検討会	12月14日	京都 J A 会館
農薬適正使用に係る情報交換会	12月17日	京都 J A 会館
平成27年度LED光源を利用した予察灯実用化委託事業成績検討会	12月18日	通運会館
S I P 事業年度末成績計画検討会	12月24日	品川レンタルセミナー室 パドム (東京都品川区)
平成27年度 I P M 推進検討会	2月10日	農林水産省
平成27年度発生予察事業検討会	2月24日	農林水産省
農作物病害虫セミナー	2月26日	農林センター
近畿ブロック病害虫防除所長会議	1月19日	神戸植物防疫所
農薬現地適応性試験展示ほ試験設計検討会	3月 9日	京都 J A 会館
ネギアザミウマ防除対策研修会	3月10日	J A 京都中央事業センター

## 2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開催日	開催場所	講師等
第97回関西病虫害研究会	5月20日	奈良県社会福祉総合センター (橿原市)	徳丸主研
ミナミアオカメムシ研修会	7月27日	J A 京都中央向島支店	徳丸主研
ネギアザミウマ防除対策研修会 (於：南穂研究会)	11月10日	京都乙訓農業改良普及センター	徳丸主研
農業大学校1年生講義	5月22日 6月4日 8月7日 9月4日 〃 9月7日 11月17日 1月15日	農業大学校	橋本主研 〃 徳丸主研 檜垣主研 橋本主研 徳丸主研 檜垣主研 檜垣主研
農薬管理指導士養成研修会講師	1月28日	京都府庁	檜垣主研
農作物病害虫セミナー	2月26日	農林センター	檜垣主研 上山主査 徳丸主研
近畿中国四国農業試験研究問題別研究会(病害虫分科会)	3月2～4日	福山市生涯学習プラザ(広島県)	檜垣主研 徳丸主研
第60回日本応用動物昆虫学会大会	3月25日～29日	大阪府立大学	徳丸主研

## 3 職員の研修、視察

月日	研修名	主催	開催場所	受講者
10月8～9日	ネギアザミウマの累代飼育法及び薬剤感受性検定法、微小昆虫の色に対する反応特性について、香川県におけるネギえそ条斑病の発生状況	—	香川県農業試験場	徳丸主研
12月8～11日	平成27年度病害虫防除職員等中央研修	農林水産省	横浜植物防疫所	檜垣主研
1月19～20日	植物防疫全国協議会近畿地区研修会	近畿農政局	神戸植物防疫所	檜垣主研

## Ⅷ 普及センター等との連携の推進

### 1 植物防疫セミナーの開催

環境にやさしい農業技術として、近年、急速に開発が進む微生物農薬について、その活用事例と普及上の課題に関する報告により環境にやさしい農業技術の普及拡大につなげるため、植物防疫セミナーを開催した。

- ① 開催日 平成28年2月26日
- ② 参加者 80名（うち普及センター職員19名）
- ③ 内容
  - ア 開発・普及が進む微生物農薬の現状と課題
    - ・微生物農薬の活用事例と課題
    - ・弱毒ウイルスワクチン剤の普及状況と課題
  - イ 平成27年度農作物病虫害発生状況報告
  - ウ 農薬の残留基準への短期暴露評価導入について

### 2 病虫害情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、流通・ブランド戦略課及び防除所等が病虫害発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病虫害情報共有化シートを設置した。27年度の書き込み件数は下表のとおりである。

月	農業改良普及センター							計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後	
4月	0	0	0	1	0	2	2	5
5月	1	1	0	4	0	4	6	16
6月	1	0	0	11	0	1	8	21
7月	0	1	0	14	0	0	12	27
8月	0	1	0	9	0	0	10	20
9月	1	0	0	8	0	0	11	20
10月	2	0	0	8	0	0	7	17
11月	0	0	0	0	0	0	2	2
12～3月	0	1	0	0	0	0	0	1
計	5	4	0	55	0	7	58	129

# 平成27(2015)年半旬別気象集計表・グラフ

平年値 最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

” 平均気温 …1993～2010年の平均値

京都府農林センター(亀岡市余部町) ” 日照時間 …2005～2010年の平均値

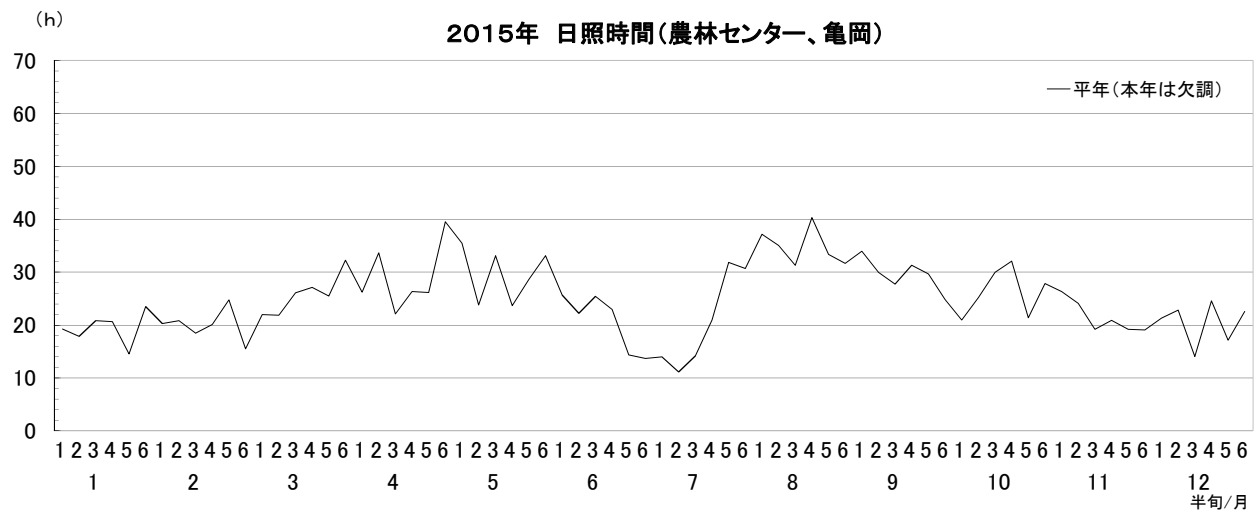
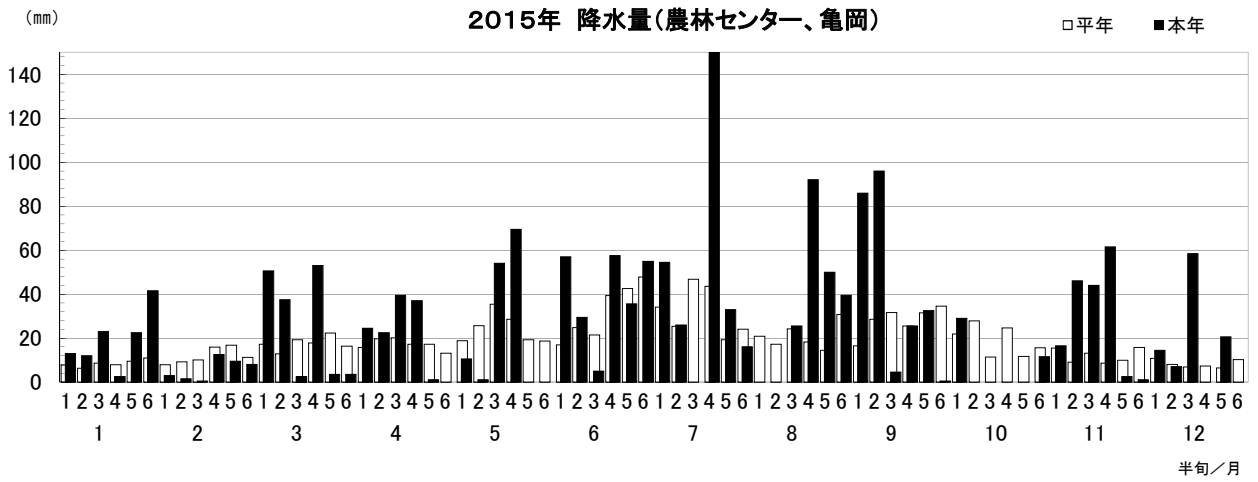
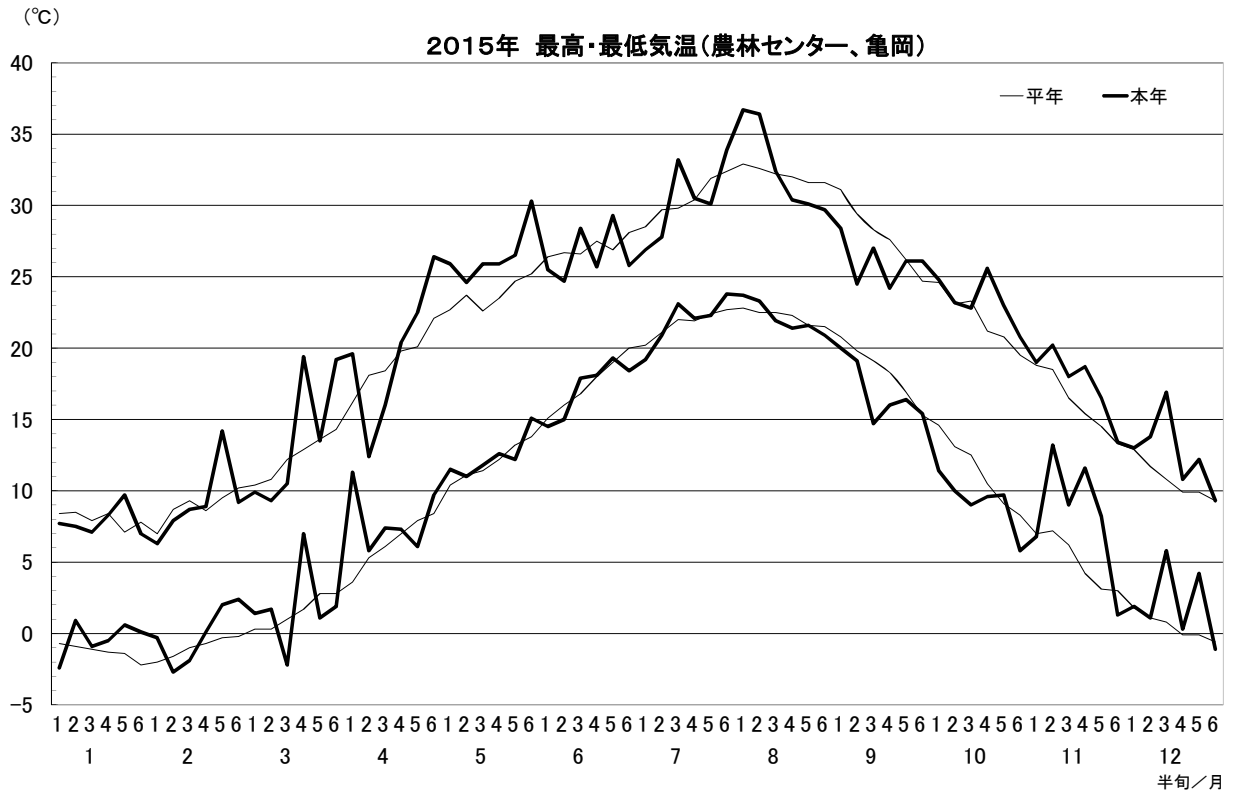
月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	7.7	8.4	-2.4	-0.7	1.4	3.5	13.0	7.8	欠調	19.2	166%	欠調	-0.7	-1.7
	2	7.5	8.5	0.9	-0.9	3.6	3.2	12.0	6.3	”	17.8	190%	”	-1.0	1.8
	3	7.1	7.9	-0.9	-1.1	3.0	3.5	23.0	8.6	”	20.8	266%	”	-0.8	0.2
	4	8.3	8.4	-0.5	-1.3	3.5	3.5	2.5	7.9	”	20.6	32%	”	-0.1	0.8
	5	9.7	7.1	0.6	-1.4	4.8	2.6	22.5	9.5	”	14.6	237%	”	2.6	2.0
	6	7.0	7.8	0.1	-2.2	3.3	2.7	41.5	11.0	”	23.5	377%	”	-0.8	2.3
	平均・計		<b>7.9</b>	<b>8.0</b>	<b>-0.4</b>	<b>-1.3</b>	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	<b>114.5</b>	<b>51.2</b>	<b>”</b>	<b>116.6</b>	<b>224%</b>	<b>”</b>	<b>-0.1</b>
2	1	6.3	7.0	-0.3	-2.0	2.5	2.2	3.0	7.9	”	20.3	38%	”	-0.7	1.7
	2	7.9	8.7	-2.7	-1.6	2.0	3.4	1.5	9.2	”	20.8	16%	”	-0.8	-1.1
	3	8.7	9.3	-1.9	-1.0	2.5	3.8	0.5	10.1	”	18.5	5%	”	-0.6	-0.9
	4	8.9	8.6	0.1	-0.7	4.0	3.7	12.5	16.0	”	20.1	78%	”	0.3	0.8
	5	14.2	9.5	2.0	-0.3	7.8	4.9	9.5	16.8	”	24.8	56%	”	4.7	2.3
	6	9.2	10.2	2.4	-0.2	5.5	5.1	8.0	11.2	”	15.5	71%	”	-1.0	2.6
	平均・計		<b>9.2</b>	<b>8.8</b>	<b>-0.2</b>	<b>-1.0</b>	<b>3.9</b>	<b>3.8</b>	<b>35.0</b>	<b>71.3</b>	<b>”</b>	<b>119.9</b>	<b>49%</b>	<b>”</b>	<b>0.4</b>
3	1	9.9	10.4	1.4	0.3	5.3	5.3	50.5	17.2	”	22.0	293%	”	-0.5	1.1
	2	9.3	10.8	1.7	0.3	5.4	5.8	37.5	12.8	”	21.8	292%	”	-1.5	1.4
	3	10.5	12.2	-2.2	1.0	4.1	6.3	2.5	19.2	”	26.1	13%	”	-1.7	-3.2
	4	19.4	12.9	7.0	1.7	12.8	7.5	53.0	17.8	”	27.1	298%	”	6.5	5.3
	5	13.5	13.6	1.1	2.8	6.5	8.0	3.5	22.3	”	25.5	16%	”	-0.1	-1.7
	6	19.2	14.3	1.9	2.8	10.1	8.6	3.5	16.4	”	32.3	21%	”	4.9	-0.9
	平均・計		<b>13.8</b>	<b>12.4</b>	<b>1.8</b>	<b>1.5</b>	<b>7.5</b>	<b>7.0</b>	<b>150.5</b>	<b>105.8</b>	<b>”</b>	<b>154.8</b>	<b>142%</b>	<b>”</b>	<b>1.4</b>
4	1	19.6	16.2	11.3	3.6	15.2	9.4	24.5	15.8	”	26.2	155%	”	3.4	7.7
	2	12.4	18.1	5.8	5.3	9.3	11.5	22.5	19.6	”	33.6	115%	”	-5.7	0.5
	3	16.0	18.4	7.4	6.1	12.1	12.2	39.5	20.2	”	22.1	196%	”	-2.4	1.3
	4	20.4	19.8	7.3	7.0	14.5	13.8	37.0	17.2	”	26.4	215%	”	0.6	0.3
	5	22.5	20.1	6.1	7.9	14.3	14.4	1.0	17.2	”	26.1	6%	”	2.4	-1.8
	6	26.4	22.1	9.7	8.4	17.9	14.9	0.0	13.1	”	39.5	0%	”	4.3	1.3
	平均・計		<b>19.6</b>	<b>19.1</b>	<b>7.9</b>	<b>6.4</b>	<b>13.9</b>	<b>12.7</b>	<b>124.5</b>	<b>103.1</b>	<b>”</b>	<b>173.9</b>	<b>121%</b>	<b>”</b>	<b>0.5</b>
5	1	25.9	22.7	11.5	10.4	18.6	17.3	10.5	18.9	”	35.5	56%	”	3.2	1.1
	2	24.6	23.7	11.0	11.1	17.6	17.6	1.0	25.6	”	23.8	4%	”	0.9	-0.1
	3	25.9	22.6	11.8	11.4	18.6	16.9	54.0	35.5	”	33.1	152%	”	3.3	0.4
	4	25.9	23.5	12.6	12.2	18.5	18.0	69.5	28.6	”	23.7	243%	”	2.4	0.4
	5	26.5	24.7	12.2	13.2	19.0	19.0	0.0	19.3	”	28.7	0%	”	1.8	-1.0
	6	30.3	25.2	15.1	13.8	22.3	19.5	0.0	18.7	”	33.1	0%	”	5.1	1.3
	平均・計		<b>26.6</b>	<b>23.8</b>	<b>12.5</b>	<b>12.1</b>	<b>19.2</b>	<b>18.1</b>	<b>135.0</b>	<b>146.5</b>	<b>”</b>	<b>177.9</b>	<b>92%</b>	<b>”</b>	<b>2.8</b>
6	1	25.5	26.4	14.5	15.1	20.1	20.3	57.0	16.9	”	25.7	337%	”	-0.9	-0.6
	2	24.7	26.7	15.0	16.0	19.4	20.9	29.5	24.8	”	22.3	119%	”	-2.0	-1.0
	3	28.4	26.6	17.9	16.8	22.6	21.6	5.0	21.4	”	25.4	23%	”	1.8	1.1
	4	25.7	27.5	18.1	18.0	21.4	22.8	57.5	39.4	”	22.9	146%	”	-1.8	0.1
	5	29.3	26.9	19.3	19.0	23.5	22.8	35.5	42.6	”	14.4	83%	”	2.4	0.3
	6	25.8	28.1	18.4	20.0	21.3	24.3	55.0	47.7	”	13.7	115%	”	-2.3	-1.6
	平均・計		<b>26.6</b>	<b>27.0</b>	<b>17.2</b>	<b>17.5</b>	<b>21.4</b>	<b>22.1</b>	<b>239.5</b>	<b>192.8</b>	<b>”</b>	<b>124.4</b>	<b>124%</b>	<b>”</b>	<b>-0.4</b>

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定



京都府農林センター(亀岡市余部町)

月	半月	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	26.9	28.5	19.2	20.2	22.4	24.8	54.5	34.1	欠調	14.0	160%	欠調	-1.6	-1.0
	2	27.8	29.7	20.9	21.1	23.8	25.2	26.0	25.4	"	11.2	102%	"	-1.9	-0.2
	3	33.2	29.8	23.1	22.0	28.1	25.8	0.0	46.8	"	14.2	0%	"	3.4	1.1
	4	30.5	30.4	22.1	21.9	25.7	25.6	221.0	43.6	"	20.9	507%	"	0.1	0.2
	5	30.1	31.9	22.3	22.4	26.1	27.0	33.0	19.3	"	31.8	171%	"	-1.8	-0.1
	6	33.9	32.4	23.8	22.7	27.7	27.0	16.0	24.0	"	30.7	67%	"	1.5	1.1
	平均・計		30.5	30.5	22.0	21.7	25.7	25.9	350.5	193.1	"	122.9	181%	"	0.0
8	1	36.7	32.9	23.7	22.8	29.6	27.8	0.0	20.9	"	37.2	0%	"	3.8	0.9
	2	36.4	32.6	23.3	22.5	28.3	27.4	0.0	17.2	"	35.1	0%	"	3.8	0.8
	3	32.4	32.2	21.9	22.5	26.5	27.0	25.5	24.2	"	31.3	105%	"	0.2	-0.6
	4	30.4	32.0	21.4	22.3	25.1	27.1	92.0	18.2	"	40.3	504%	"	-1.6	-0.9
	5	30.1	31.6	21.6	21.6	25.3	26.0	50.0	14.5	"	33.4	345%	"	-1.5	0.0
	6	29.7	31.6	20.9	21.5	24.6	25.7	39.5	30.7	"	31.6	129%	"	-1.9	-0.6
	平均・計		32.5	32.1	22.1	22.2	26.5	26.8	207.0	125.7	"	208.8	165%	"	0.4
9	1	28.4	31.1	20.0	20.8	23.2	25.1	86.0	16.5	"	33.9	522%	"	-2.7	-0.8
	2	24.5	29.4	19.1	19.8	21.4	24.3	96.0	28.6	"	30.0	335%	"	-4.9	-0.7
	3	27.0	28.3	14.7	19.1	20.3	23.5	4.5	31.7	"	27.7	14%	"	-1.3	-4.4
	4	24.2	27.6	16.0	18.3	19.7	22.9	25.5	25.5	"	31.3	100%	"	-3.4	-2.3
	5	26.1	26.2	16.4	16.9	20.6	21.3	32.5	31.6	"	29.7	103%	"	-0.1	-0.5
	6	26.1	24.7	15.4	15.3	19.7	19.8	0.5	34.6	"	24.8	1%	"	1.4	0.1
	平均・計		26.1	27.9	16.9	18.4	20.8	22.8	245.0	168.4	"	177.4	145%	"	-1.8
10	1	24.8	24.6	11.4	14.6	24.8	19.3	29.0	21.9	"	21.0	132%	"	0.2	-3.2
	2	23.2	23.1	10.0	13.1	23.2	17.8	0.0	27.8	"	25.2	0%	"	0.1	-3.1
	3	22.8	23.3	9.0	12.5	22.8	17.6	0.0	11.4	"	29.9	0%	"	-0.5	-3.5
	4	25.6	21.2	9.6	10.5	16.1	15.8	0.0	24.6	"	32.1	0%	"	4.4	-0.9
	5	23.0	20.8	9.7	9.1	15.7	15.0	0.0	11.7	"	21.4	0%	"	2.2	0.6
	6	20.8	19.5	5.8	8.3	13.0	13.7	11.5	15.7	"	27.8	73%	"	1.3	-2.5
	平均・計		23.3	22.0	9.1	11.3	19.1	16.4	40.5	113.1	"	157.4	36%	"	1.3
11	1	19.0	18.8	6.8	7.0	12.1	12.3	16.5	15.5	"	26.3	106%	"	0.2	-0.2
	2	20.2	18.5	13.2	7.2	16.4	12.1	46.0	9.1	"	24.1	503%	"	1.7	6.0
	3	18.0	16.5	9.0	6.2	13.1	11.5	44.0	13.2	"	19.2	333%	"	1.5	2.8
	4	18.7	15.4	11.6	4.2	14.6	9.1	61.5	8.7	"	20.9	709%	"	3.3	7.4
	5	16.5	14.5	8.2	3.1	11.7	8.1	2.5	9.9	"	19.2	25%	"	2.0	5.1
	6	13.4	13.3	1.3	3.0	6.5	8.3	1.0	15.8	"	19.1	6%	"	0.1	-1.7
	平均・計		17.6	16.2	8.4	5.1	12.4	10.2	171.5	72.3	"	128.7	237%	"	1.4
12	1	13.0	12.9	1.9	1.8	7.6	7.1	14.5	10.9	"	21.3	133%	"	0.1	0.1
	2	13.8	11.7	1.1	1.1	7.0	5.7	7.0	8.0	"	22.8	88%	"	2.1	0.0
	3	16.9	10.8	5.8	0.8	10.3	5.4	58.5	6.8	"	14.0	857%	"	6.1	5.0
	4	10.8	9.9	0.3	-0.1	5.1	4.5	0.0	7.4	"	24.6	0%	"	0.9	0.4
	5	12.2	9.9	4.2	-0.1	7.7	4.1	20.5	6.5	"	17.1	316%	"	2.3	4.3
	6	9.3	9.3	-1.1	-0.6	3.3	3.6	0.0	10.2	"	22.6	0%	"	0.0	-0.5
	平均・計		12.6	10.7	1.9	0.4	6.7	5.0	100.5	49.8	"	122.4	202%	"	1.9
年平均・計		20.6	19.9	10.0	9.5	15.1	14.5	1914.0	1393.1	"	1785.1	137%	"	0.7	0.5



# 平成27(2015)年半旬別気象集計表・グラフ

平 年 値 最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

〃 平均気温 …1981～2010年の平均値

京都府丹後農業研究所(京丹後市弥栄町) 〃 日照時間 …1981～2010年の平均値

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	1.7	8.0	-1.3	0.6	1.7	4.2	50.5	35.6	8.0	8.0	142%	100%	-6.3	-1.8
	2	4.5	8.2	1.9	0.0	4.5	4.0	60.5	40.4	2.2	9.0	150%	24%	-3.7	1.9
	3	4.2	7.2	0.4	0.1	4.2	3.6	39.0	46.6	2.8	6.8	84%	41%	-3.0	0.3
	4	4.3	7.7	-0.4	-0.3	4.3	3.7	29.5	38.2	3.2	9.6	77%	33%	-3.4	-0.1
	5	5.5	6.6	1.5	-1.1	5.5	2.7	30.5	38.7	5.7	8.2	79%	69%	-1.1	2.6
	6	4.2	7.0	0.7	-1.1	4.2	2.9	43.0	49.4	1.0	11.9	87%	8%	-2.7	1.8
	平均・計	4.1	7.4	0.5	-0.3	4.1	3.5	253.0	248.9	22.9	53.5	102%	43%	-3.3	0.8
2	1	6.8	6.3	1.1	-1.2	3.9	2.5	8.0	31.2	3.6	8.2	26%	44%	0.4	2.4
	2	6.4	7.8	-1.2	-1.0	2.9	3.4	6.0	29.2	10.7	12.5	21%	85%	-1.4	-0.2
	3	8.4	8.3	-0.4	-0.2	3.6	4.0	3.0	27.8	10.5	12.7	11%	83%	0.0	-0.2
	4	8.6	7.9	0.4	-0.4	4.6	3.7	12.5	29.6	12.6	11.2	42%	113%	0.6	0.8
	5	12.8	8.4	2.9	-0.1	8.0	4.2	2.5	33.4	26.7	14.5	7%	184%	4.4	3.0
	6	9.6	9.1	2.4	-0.2	5.8	4.4	0.5	16.5	6.4	9.8	3%	66%	0.6	2.6
	平均・計	8.7	7.9	0.8	-0.5	4.7	3.7	32.5	167.6	70.5	68.8	19%	102%	0.8	1.3
3	1	8.9	9.5	1.3	0.3	5.3	5.0	23.5	23.2	6.8	14.7	101%	46%	-0.6	1.0
	2	9.3	10.0	0.2	0.4	4.7	5.2	33.0	20.9	1.6	17.3	158%	9%	-0.7	-0.3
	3	10.3	11.6	-2.1	0.8	4.3	6.3	11.5	20.1	17.9	19.7	57%	91%	-1.3	-2.9
	4	17.3	12.2	4.0	1.9	10.5	7.0	27.5	21.3	22.4	19.9	129%	113%	5.1	2.1
	5	13.0	12.7	1.8	2.3	7.1	7.5	4.5	26.0	26.7	18.6	17%	144%	0.3	-0.6
	6	18.4	13.3	1.6	2.5	9.6	7.9	0.0	23.2	53.8	25.1	0%	214%	5.1	-0.9
	平均・計	13.1	11.6	1.1	1.4	7.0	6.5	100.0	134.7	129.2	115.2	74%	112%	1.5	-0.3
4	1	19.2	15.0	9.8	3.0	14.4	9.0	28.5	17.8	10.5	26.2	161%	40%	4.1	6.8
	2	11.3	17.1	5.4	4.7	8.4	10.9	0.0	21.4	4.9	25.6	0%	19%	-5.8	0.7
	3	15.2	16.9	6.0	5.3	10.7	11.1	23.0	21.6	13.1	23.8	106%	55%	-1.7	0.7
	4	20.6	18.8	5.4	6.2	13.7	12.5	39.5	17.7	26.3	29.6	223%	89%	1.8	-0.8
	5	19.6	19.3	4.5	7.2	12.1	13.3	0.5	17.8	44.6	26.9	3%	166%	0.3	-2.7
	6	27.5	21.2	8.7	7.3	17.4	14.2	0.0	12.0	49.4	32.6	0%	152%	6.4	1.5
	平均・計	18.9	18.0	6.6	5.6	12.8	11.8	91.5	108.4	148.8	164.7	84%	90%	0.9	1.0
5	1	24.7	21.6	9.6	9.1	17.3	15.4	3.0	18.4	39.4	28.2	16%	140%	3.1	0.4
	2	23.1	22.8	9.2	9.9	15.9	16.3	1.0	22.9	39.3	29.3	4%	134%	0.3	-0.7
	3	26.5	21.5	10.9	10.6	19.0	16.1	43.0	34.5	35.7	25.5	125%	140%	5.0	0.3
	4	23.4	22.4	11.3	11.3	17.0	16.9	29.5	25.4	23.9	26.3	116%	91%	1.0	0.1
	5	25.3	23.2	10.7	12.1	17.8	17.7	0.0	18.0	43.8	28.7	0%	152%	2.2	-1.4
	6	27.8	24.0	12.4	12.6	20.0	18.3	1.0	17.3	48.3	33.3	6%	145%	3.8	-0.2
	平均・計	25.2	22.6	10.7	11.0	17.9	16.8	77.5	136.6	230.4	171.3	57%	134%	2.6	-0.3
6	1	24.5	24.9	13.2	13.5	19.1	19.1	18.5	14.7	21.7	29.6	126%	73%	-0.4	-0.3
	2	23.7	25.1	14.4	14.6	19.2	19.8	21.5	16.5	19.2	24.1	130%	80%	-1.4	-0.2
	3	29.6	25.6	16.9	15.4	22.6	20.5	14.0	19.8	24.6	23.3	71%	106%	4.0	1.4
	4	24.5	26.4	18.8	16.7	21.2	21.5	12.5	26.3	7.4	22.0	48%	34%	-1.9	2.2
	5	27.0	26.1	17.4	17.6	22.1	21.8	17.0	41.1	27.1	15.5	41%	175%	0.9	-0.2
	6	24.8	26.8	18.0	18.5	21.0	22.6	41.0	40.4	9.1	15.5	101%	59%	-2.0	-0.5
	平均・計	25.7	25.8	16.5	16.0	20.9	20.9	124.5	158.9	109.1	130.0	78%	84%	-0.1	0.5

京都府丹後農業研究所(京丹後市弥栄町)

月	半月	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	25.0	27.5	17.4	19.3	21.2	23.3	20.0	35.8	16.4	17.3	56%	95%	-2.4	-1.8
	2	25.7	28.6	19.6	19.8	22.2	24.1	30.0	31.0	6.4	20.0	97%	32%	-2.9	-0.2
	3	32.3	28.9	22.6	20.8	27.5	24.8	0.0	45.4	28.9	14.8	0%	196%	3.4	1.8
	4	29.4	29.4	21.7	20.7	25.3	25.0	32.0	40.0	15.1	23.3	80%	65%	-0.0	1.0
	5	31.9	30.8	23.7	21.3	27.2	26.0	22.5	23.9	26.8	30.2	94%	89%	1.0	2.4
	6	32.0	31.2	22.9	21.8	26.9	26.4	2.5	19.7	36.7	36.3	13%	101%	0.8	1.1
	平均・計		29.5	29.5	21.4	20.7	25.1	25.0	107.0	195.8	130.3	141.8	55%	92%	0.0
8	1	33.4	31.6	22.5	21.9	27.3	26.7	0.0	21.6	50.3	35.0	0%	144%	1.8	0.6
	2	32.9	32.1	21.8	21.9	26.8	26.9	0.0	15.8	53.8	33.5	0%	160%	0.8	-0.1
	3	29.9	31.5	21.0	21.9	24.9	26.7	22.0	17.2	22.2	29.8	128%	75%	-1.6	-0.9
	4	30.5	31.4	20.8	21.6	24.8	26.4	19.0	21.1	23.2	31.3	90%	74%	-0.9	-0.9
	5	29.0	30.8	21.6	21.0	24.8	25.8	9.0	31.4	15.1	28.1	29%	54%	-1.8	0.6
	6	28.1	30.5	19.6	20.7	23.3	25.6	26.0	24.2	28.5	35.5	107%	80%	-2.5	-1.1
	平均・計		30.5	31.3	21.2	21.5	25.2	26.3	76.0	131.2	193.1	193.2	58%	100%	-0.8
9	1	27.2	29.5	19.7	20.0	22.7	24.7	32.5	27.7	19.2	28.5	117%	67%	-2.3	-0.3
	2	23.1	28.0	19.7	18.9	21.0	23.4	107.5	34.8	1.0	20.2	309%	5%	-4.9	0.8
	3	25.4	27.2	13.9	18.2	19.5	22.6	0.0	38.1	32.2	20.3	0%	159%	-1.8	-4.3
	4	23.2	26.9	16.1	17.4	19.3	22.1	50.0	37.5	11.7	22.3	133%	52%	-3.6	-1.3
	5	24.8	25.5	16.1	16.0	19.9	20.7	25.5	36.4	20.0	18.4	70%	109%	-0.7	0.2
	6	24.4	23.9	14.3	14.5	18.7	19.2	0.0	35.6	37.0	17.9	0%	207%	0.6	-0.2
	平均・計		24.7	26.8	16.6	17.5	20.2	22.1	215.5	210.1	121.1	127.6	103%	95%	-2.1
10	1	23.3	23.9	10.5	14.0	16.8	18.9	35.5	24.9	25.3	19.4	143%	131%	-0.6	-3.6
	2	22.1	22.5	10.2	12.4	15.9	17.4	0.0	29.2	22.7	20.1	0%	113%	-0.4	-2.2
	3	21.8	22.5	8.1	11.8	14.8	17.1	0.0	25.2	20.5	21.9	0%	93%	-0.7	-3.7
	4	22.5	20.8	8.1	10.1	14.4	15.3	0.0	32.8	41.7	22.3	0%	187%	1.7	-2.0
	5	21.2	20.1	9.1	8.6	15.4	14.3	0.0	18.7	35.1	21.9	0%	160%	1.1	0.5
	6	18.2	19.3	7.7	8.2	13.2	13.7	9.0	30.1	18.8	24.0	30%	78%	-1.1	-0.5
	平均・計		21.4	21.4	8.9	10.8	15.0	16.0	44.5	160.9	164.1	129.6	28%	127%	0.0
11	1	19.4	18.3	7.0	7.2	12.3	12.7	25.5	29.4	25.1	18.7	87%	134%	1.1	-0.2
	2	19.8	18.0	12.8	7.6	16.6	12.4	41.5	25.1	7.5	18.6	166%	40%	1.8	5.3
	3	17.9	16.3	9.0	6.7	13.2	11.1	31.0	28.1	13.7	13.8	110%	99%	1.6	2.4
	4	17.9	14.7	11.5	5.3	14.5	10.0	40.5	29.4	10.4	13.6	138%	76%	3.2	6.1
	5	16.3	14.4	8.1	4.0	11.8	9.1	8.5	28.7	13.1	14.4	30%	91%	1.8	4.2
	6	12.1	13.0	2.4	4.4	7.4	8.7	22.5	41.0	14.3	10.8	55%	132%	-0.9	-2.0
	平均・計		17.2	15.8	8.5	5.9	12.6	10.7	169.5	181.6	84.1	90.0	93%	93%	1.4
12	1	12.7	13.0	2.0	2.8	8.5	7.8	44.5	36.1	11.8	13.4	123%	88%	-0.3	-0.9
	2	13.8	12.0	2.0	2.4	7.8	7.1	4.5	35.7	18.3	12.7	13%	144%	1.9	-0.4
	3	15.3	10.8	4.8	1.9	10.3	6.4	66.5	44.9	8.5	9.9	148%	86%	4.5	2.9
	4	9.4	9.9	1.0	1.1	5.8	5.4	37.5	35.1	10.8	10.4	107%	104%	-0.4	-0.2
	5	12.8	9.9	4.3	1.1	8.2	5.5	61.5	32.3	5.8	9.6	190%	61%	2.9	3.2
	6	9.2	9.4	0.6	0.6	4.4	5.0	58.0	46.2	11.9	11.3	125%	105%	-0.2	-0.0
	平均・計		12.1	10.8	2.4	1.6	7.4	6.2	272.5	230.4	67.1	67.4	118%	100%	1.3
年平均・計		19.3	19.1	9.6	9.3	14.4	14.2	1564.0	2065.1	1470.7	1453.1	76%	101%	0.2	0.3

